

久 次 遺 跡

林 田 地 区

新改西部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2004.12

土佐山田町教育委員会



林田地区の空撮（北から）



林田地区出土遗物（青磁·白磁·染付他）



林田地区出土遗物（青磁他）

例　　言

1. 本書は新改西部地区県営圃場整備事業に伴う、久次遺跡林田地区の発掘調査報告書である。
2. 久次遺跡の所在地は、高知県香美郡土佐山田町久次字林田である。
3. 調査期間ならびに発掘調査面積は次のとおりである。

(調査期間)	(調査面積)
平成5年10月1日～同年12月11日	約4,100m ²
4. 発掘調査及び整理作業は、土佐山田町教育委員会が財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターの協力のもと、これを実施した。調査体制は以下のとおりである。

調査事務	中山泰弘（土佐山田町教育委員会）
同	小林麻美（　　同上　　）
調査員	藤方正治（財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター・調査員）
5. 本書の編集・執筆は藤方が行った。
6. 遺構等の名称については、SB（掘立柱建物跡）、ST（竪穴住居跡及び竪穴状遺構）、SK（土坑）、SD（溝状遺構）、SX（性格不明遺構）、P（柱穴及びピット状遺構）等の略号を使用する。
7. 遺物実測図の縮尺は土器・土製品、石器・石製品が1／2と1／3である。遺物番号は通し番号であり、挿図及び写真図版中の番号と遺物番号は一致している。
8. 出土遺物の色調については『新版標準土色帖1996年版』の名称を使用した。
9. 遺跡の測量は、任意の座標系に則っておこなった。挿図中の北は原則として磁北である。また、挿図中の標高は海拔高を示す。
10. 発掘調査に際しては、地元土佐山田町久次をはじめとした町内にお住まいの方々と隣接する南国市在住の方々の全面的な御理解と御協力、ならびに温かい御支援を賜り、調査を円滑に進めることができました。記して衷心より謝意を表します。
11. 発掘調査に際しては、中山泰弘（土佐山田町教育委員会）、出原恵三（財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター）の両氏をはじめ、高知県南国耕地事務所の御協力を得た。また、発掘調査及び報告書作成に際しては、土佐山田町教育委員会、高知県立歴史民俗資料館、高知県教育委員会、財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センターの諸氏から御助言・御協力を得た。衷心より謝意を表します。
12. 発掘調査にかかる掘削作業では有限会社井上工務店に御尽力頂き、調査を完遂することができた。記して衷心より謝意を表します。

13. 発掘調査に伴う測量基準点設置、航空写真撮影ならびに航空写真測量は、株式会社アイシーに委託して実施した。

14. 整理作業に際しては、次の方々に御尽力頂いた。御芳名を記して衷心より謝意を表します。

矢野 雅 宮本幸子 前田玲子 高橋千代 元吉ゆみ子 入野三千子
橋田美紀 井上博恵

15. 遺跡の略号は下記のとおりとし、出土遺物の注記にはこれを使用した。

93-29YHH

16. 出土遺物は土佐山田町教育委員会で保管している。

本文目次

第Ⅰ章 調査の成果

1. 調査区の概要	1
2. 基本層準	2
3. 調査の経過	2
4. 調査の方法	2
5. 遺構と遺物	9

挿図目次

Fig. 1	久次遺跡林田地区の位置 (S : 1 / 25,000)	1
Fig. 2	林田地区遺構全体図（西部）(S : 1 / 200)	3 ~ 6
Fig. 3	林田地区遺構全体図（東部）(S : 1 / 200)	7 ~ 8
Fig. 4	林田地区SB 1 平・断面図 (S : 1 / 60)	9
Fig. 5	林田地区ST 1 断面図 (S : 1 / 40)	10
Fig. 6	林田地区ST 1 平面図 (S : 1 / 40)	11 ~ 12
Fig. 7	林田地区ST 1 出土遺物 1 (S : 1 / 3)	13
Fig. 8	林田地区ST 1 出土遺物 2 (S : 1 / 3)	14
Fig. 9	林田地区ST 1 出土遺物 3 (S : 1 / 3)	15
Fig. 10	林田地区ST 1 出土遺物 4 (S : 1 / 3)	16
Fig. 11	林田地区ST 1 出土遺物 5 (S : 1 / 3)	17
Fig. 12	林田地区ST 1 出土遺物 6 (S : 1 / 3)	18
Fig. 13	林田地区ST 1 出土遺物 7 (S : 1 / 3)	19
Fig. 14	林田地区ST 1 出土遺物 8 (S : 1 / 3)	20
Fig. 15	林田地区ST 1 出土遺物 9 (S : 1 / 3)	21
Fig. 16	林田地区ST 2 平・断面図 (S : 1 / 40)	22
Fig. 17	林田地区ST 2 出土遺物 (S : 1 / 3)	23
Fig. 18	林田地区ST 3 平・断面図 (S : 1 / 40)	24
Fig. 19	林田地区ST 4 平・断面図 (S : 1 / 40)	25 ~ 26
Fig. 20	林田地区ST 3 出土遺物 (S : 1 / 3)	27
Fig. 21	林田地区ST 4 出土遺物 1 (S : 1 / 3)	28
Fig. 22	林田地区ST 4 出土遺物 2 (S : 1 / 3)	29
Fig. 23	林田地区ST 4 出土遺物 3 (S : 1 / 3)	30
Fig. 24	林田地区ST 5 平・断面図 (S : 1 / 40)	31
Fig. 25	林田地区ST 5 出土遺物 1 (S : 1 / 3)	32
Fig. 26	林田地区ST 5 出土遺物 2 (S : 1 / 3)	33
Fig. 27	林田地区ST 5 出土遺物 3 (S : 1 / 3)	34
Fig. 28	林田地区ST 5 出土遺物 4 (S : 1 / 3)	35
Fig. 29	林田地区SK 1 平・断面図 (S : 1 / 20)	36
Fig. 30	林田地区SK 2 平・断面図 (S : 1 / 40)	36
Fig. 31	林田地区SK 1・2 出土遺物 (S : 1 / 3)	37
Fig. 32	林田地区A 墓地平・断面図 (S : 1 / 40)	38
Fig. 33	林田地区SX 7 平・断面図 (S : 1 / 40)	39
Fig. 34	林田地区SD-N 平・断面図 (S : 1 / 80, 1 / 40)	40
Fig. 35	林田地区SX 7 ~ 9・11~13, SD-N 出土遺物 (S : 1 / 3)	41
Fig. 36	林田地区SD-N、SD 3 ~ 6・9、SD-W 出土遺物 (S : 1 / 3)	42
Fig. 37	林田地区Pit 出土遺物 1 (S : 1 / 3)	43
Fig. 38	林田地区Pit 出土遺物 2 (S : 1 / 3)	44
Fig. 39	林田地区包含層出土遺物 (S : 1 / 3)	44
Fig. 40	林田地区ST 1、SD-N 包含層出土遺物 (S : 1 / 2, 1 / 1)	45
Fig. 41	林田地区ST 4 出土遺物 (S : 1 / 2)	46

表 目 次

表1 SB1ピット計測表.....	9
表2 林田地区SD計測表	48
表3 林田地区ピット計測表1	49
表4 林田地区ピット計測表2	50
表5 林田地区ピット計測表3	51
表6 林田地区遺物観察表1	52
表7 林田地区遺物観察表2	53
表8 林田地区遺物観察表3	54
表9 林田地区遺物観察表4	55
表10 林田地区遺物観察表5	56
表11 林田地区遺物観察表6	57
表12 林田地区遺物観察表7	58
表13 林田地区遺物観察表8	59
表14 林田地区遺物観察表9	60
表15 林田地区遺物観察表10.....	61
表16 林田地区遺物観察表11.....	62
表17 林田地区遺物観察表12.....	63
表18 林田地区遺物観察表13.....	64
表19 林田地区遺物観察表14.....	65
表20 林田地区遺物観察表15.....	66

写真図版目次

- 巻頭図版 1 林田地区の空撮（北から）
- 巻頭図版 2 上：林田地区出土遺物（青磁、白磁、染付他）
下：林田地区出土遺物（青磁他）
- PL. 1 上：調査区東方（西から）
下：調査区南方（北から）
- PL. 2 上：SB 1 検出状態（南東から）
下：同 完掘状態（東から）
- PL. 3 上：ST 1 検出状態（南から）
下：同 検出状態（西から）
- PL. 4 上：ST 2 検出状態（東から）
下：同 完掘状態（東から）
- PL. 5 上：ST 3 半截状態（北から）
下：SB 1 P 3 半截状態（南から）
- PL. 6 上：ST 4 半截状態（東から）
下：同 完掘状態（東から）
- PL. 7 上：ST 5 半截状態（南から）
下：同 完掘状態（西から）
- PL. 8 上：ST 1 遺物出土状態
下：SK 1 遺物出土状態（東から）
- PL. 9 上：A 墓地 検出状態（東から）
下：同 半截状態（西から）
- PL. 10 上：SD-N 東壁セクション（西から）
下：SD-Nと久次土居城跡（南西から）
- PL. 11 林田地区出土遺物 1
～14, 49, 53, 83, 80, 88, 113～
- PL. 12 林田地区出土遺物 2
～128, 133, 136, 138, 150, 162, 163, 177～
- PL. 13 林田地区出土遺物 3
～193, 200, 209, 211, 212, 225, 226, 227～
- PL. 14 林田地区出土遺物 4
～228, 230, 241, 273, 277, 281, 293, 296～
- PL. 15 上：林田地区出土遺物 5 (112, 175, 176)
下：林田地区出土遺物 6 (280, 246, 247)
- PL. 16 上：林田地区出土遺物 7 (323)

第Ⅰ章 調査の成果

1. 調査区の概要

久次遺跡は北方に存在する山間部から流れ出る国分川支流の新改川が形成した扇状地上に立地している。林田地区は久次遺跡の北西端に位置しており、調査区の北東には久次土居城跡が隣接して存在する。

林田地区的調査開始は西側から耕作土下の床土等を除去することから行った。比較的浅い状態で遺構が多く検出されたことから、遺構の分布密度が高い北側に就いて調査範囲を東側に拡大して行った。発見された遺構は、大きく古代末から中近世と弥生後期末から古墳時代前期に分けられる。中近世出自の遺構群は灰色系の埋土を有しており、比較的検出が容易であった。調査区の北側を中心に高い密度での分布が見られる。調査区内で検出された遺構の中には、平面形が円形から楕円形に近似する遺構群が存在している。A墓地とした遺構では墓石として利用されていたと考えられる平石と円錐の集積が見られており、これに接して浅いくぼみに炭化物と焼土が検出されている。

調査区内には部分的に扇状地形成當時の影響が顕著であり、遺構検出面のうち軟弱な部分では後世の耕作に伴う杭跡や足跡なども残されていたようだ。ピットとしたものの中には規模が小さく、浅いものが多く存在している。また、分布密度には濃淡が存在しており、現在でも集落の中心が調査区の北側にあることからも、嘗ては新改川の影響が調査区以南では一層強かったものと考えられる。先述した調査区の北東に存在する久次土居城に係わる溝（SD-N）が発見されていることから、当時の民家や耕作地で存在したと考えられ、それらが調査区北半を中心にして幾つかの擁まりをもって分布していたとしても離隔は無いであろう。

堅穴住居跡はST1からST5を検出した。時期は弥生時代の後期末から古墳時代前期初頭に位置づけられる。この時期の遺構は主に遺構埋土の黒色土（黒ボク土）を手掛かりとして捉えた。ST1は検出面では平面形態が複雑なもの良好に検出された大型の方形住居であり、東側に出入り口と考えられる張出し部を持つ。ST2は長方形の小型住居であり、検出面からは浅く一部は後世の遺構により破壊されていた。ST3は調査区

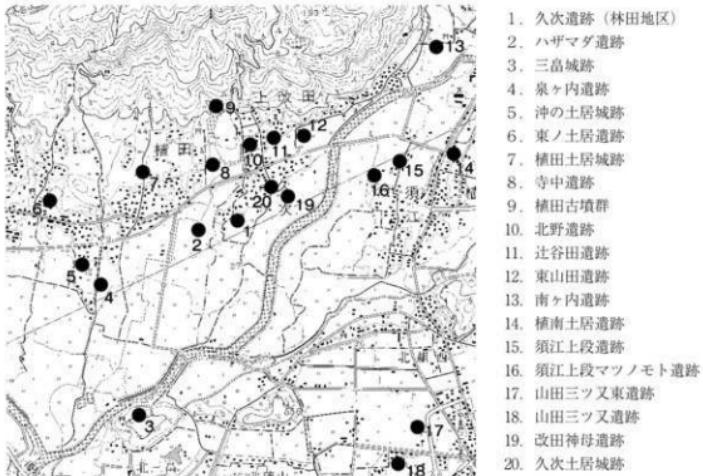


Fig. 1 久次遺跡林田地区の位置 (S : 1 / 25,000)

の西端で一部を調査したものである。ST 4 は円形の住居跡であり、比較的高く残された扇状地形成の疊層に掘削されて存在した。ST 5 は ST 1 と同様、平面形態は方形であり、規模は小さいものの良好に残されていた。これらの堅穴住居が同時に存在していたとは考えられない。しかし、ある程度継続的に調査区周辺で人間の生活が営まれていたと考えられる。また、SB 1 は出土遺物僅少で機能した時期を明確にし難いが、先述の堅穴住居群の何れかが機能していた時期と重複するものであろう。

2. 基本層準

調査区は多くの場合後世における削平が顕著であり、表土下数十cmの茶褐色土層上面で、弥生後期から中近世における遺構を検出することができる。標準的な層準は

- I. 表土（耕作土）：灰色土 II. 暗灰褐色土 III. 黒色土 IV. 茶褐色土

であるが、II・III層は削平を受けている場合が多く、残存されている場合でも層厚は薄い。遺構検出面であるIV層は扇状地の構成土層である灰褐色砂礫層と河道最終充填土または二次的に発達した明褐色土層で形成されている。

3. 調査の経過

調査は表土の掘削・除去を平成5年10月1日から開始した。しかし、開発原因が圃場整備であることから掘削の開始時点には既に耕作土は工事側の責任に於いて遺構や包含層への影響を及ぼさない程度で移動を終了していた。耕作土下の床土等を表土として重機により掘削したところ、この段階で部分的に浅深はあるものの扇状地を形成していた当時の構成層があらわれて遺構の存在が確認されている。北部では各時代の遺構が同一の検出面で確認されていた。しかし、南部では溝等の比較的新しい遺構が浅く検出されている。10月5日には検出面迄の機械掘削を終了し、ST 1 を始めとする堅穴住居跡やSB 1 等の遺構群を検出した。10月6日からは調査区の北西端より遺構の精査を開始した。11月中旬に主な遺構の調査を終え、12月7日には調査区全体の完掘状態をラジコンヘリにより写真撮影した。平成5年12月11日には林田地区に於けるすべての調査を終了した。

4. 調査の方法

包含層の残存が非常に悪いことから、調査の主体を遺構の検出と精査に絞って行った。遺構のうち規模の比較的大きなものは検出、半裁、完掘の状態を適宜写真と図面に記録している。また、調査区の全体図については航空測量に委ねた。遺構測量には始め調査区の北西端部を原点とする任意の座標系を設置して行った。主に光波距離計で遺構の位置や遺物の出土地点を座標で記録した。また、ST 1 やその他の遺構の幾つかには独自の測量軸を用意して、取上げや測図に用いた。調査の半ばからは工事区座標に引った幾つかの杭を調査区内に設置して、光波距離計や平板を用いて行った。遺物の出土状態や埋積状態は堅穴住居と幾つかの土坑に就いて写真と図面に記録した。ただし、調査時の遺物取上げに使用した層位と各遺構の主にベルト断面における精査の結果がやや齟齬を来たした可能性は否めない。遺構番号は林田地区での通し番号とした。ピットについては当初、保存が良好なものと遺物の出土が見られたものに番号を付していたが、後には遺物出土のものに就いて番号を付することで統一した。



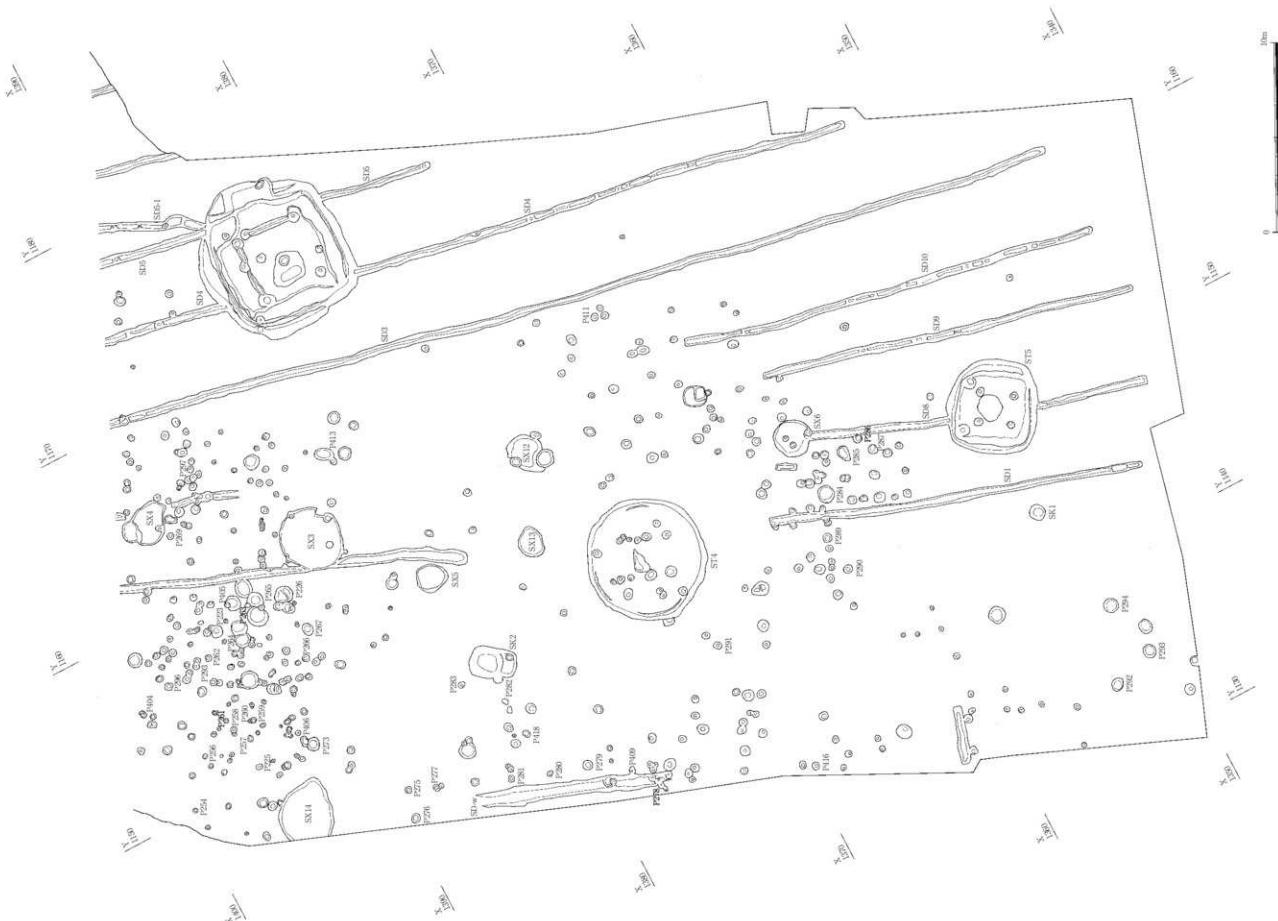


Fig. 2 林田地区遺構全体図（西部）(S : 1 / 200)

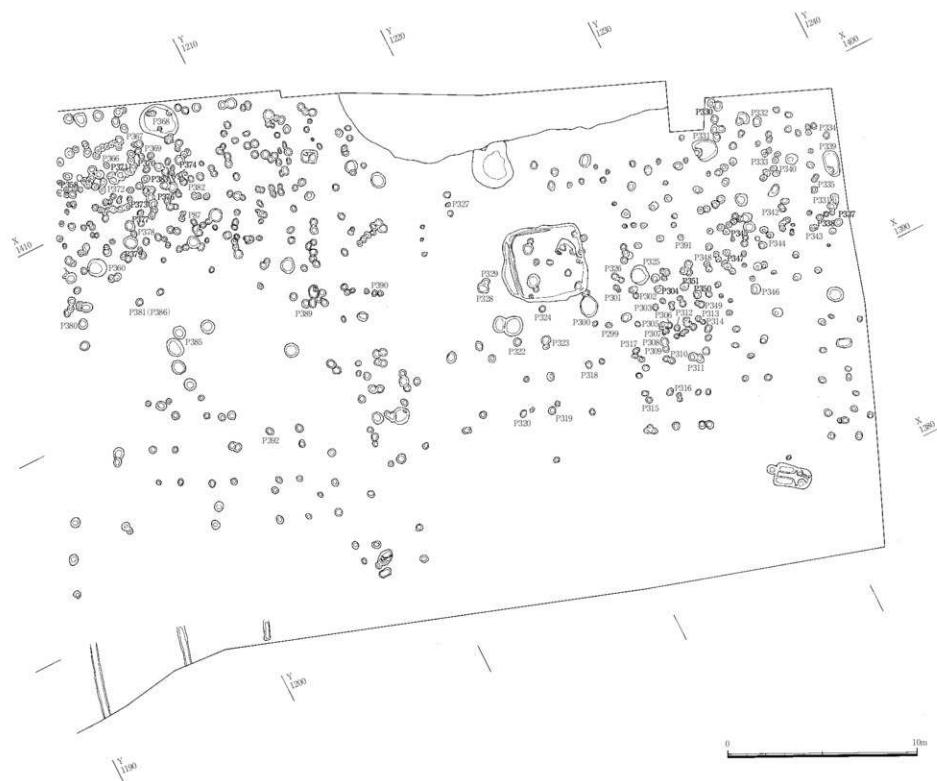


Fig. 3 林田地区遺構全体図（東部）（S : 1 / 200）

5. 遺構と遺物

SB1 (Fig. 4)

調査区の北部に位置する2間×3間の掘立柱建物跡である。棟方向はN-88°-Eであり、ほぼ東西方向である。規模は梁間3.80m、桁行5.40mを測る。柱穴の平面形はやや隅丸の方形から長方形を呈しているものの、形態的な規格性はやや乏しい。規模については計測表を参照されたい。遺構深度にはばらつきが見られることから、本来の深さを止めず後世における削平が考えられる。SB1検出部分は中世出自と考えられるピット群が多く存在する場所であり、上位ではこれらのピットや溝によって部分的に影響を受けている。柱穴の埋土は多くの場合明褐色土が少量混入する黒色土であり、柱痕（または柱の抜き跡や補修）に係わる部分には明褐色砂が埋積している。

出土遺物は僅少であり、弥生後期から古墳前期の土器破片・細片である。林田地区で中世以降の遺構群に見られる埋土が灰色系の土であることからするとSB1の機能時期はこれら以前であり、堅穴住居等古い時期の遺構群を構成するものと考えられる。倉庫的な建物か。

表1 SB1 ピット計測表

ピットNo.	断面(cm)	検出面からの深さ(cm)
P1	62×72	37.2
P2	60×70	47.8
P3	66×76	44.4
P4	70×78	38.1
P5	74×64	41.8
P6	60×70	46.2
P7	66×72	43.4
P8	68×72	56.5
P9	62×(64)	50.2
P10	68×64	45.7

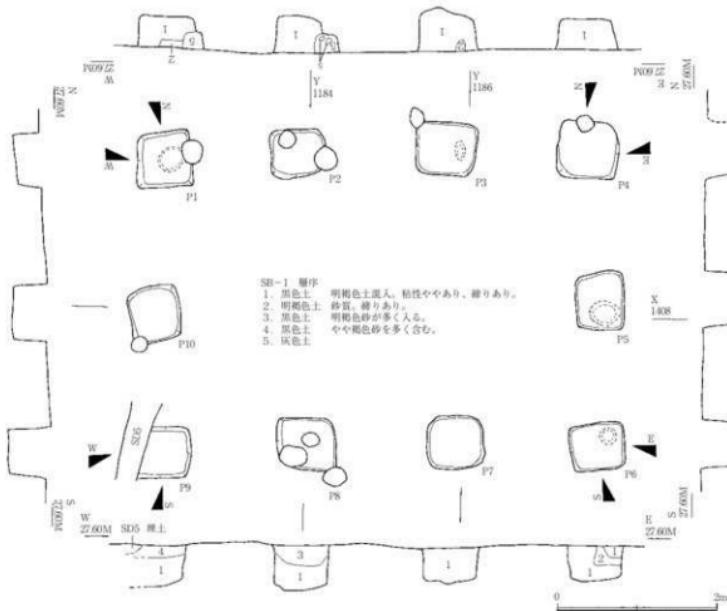


Fig. 4 林田地区SB1平・断面図 (S : 1 / 60)

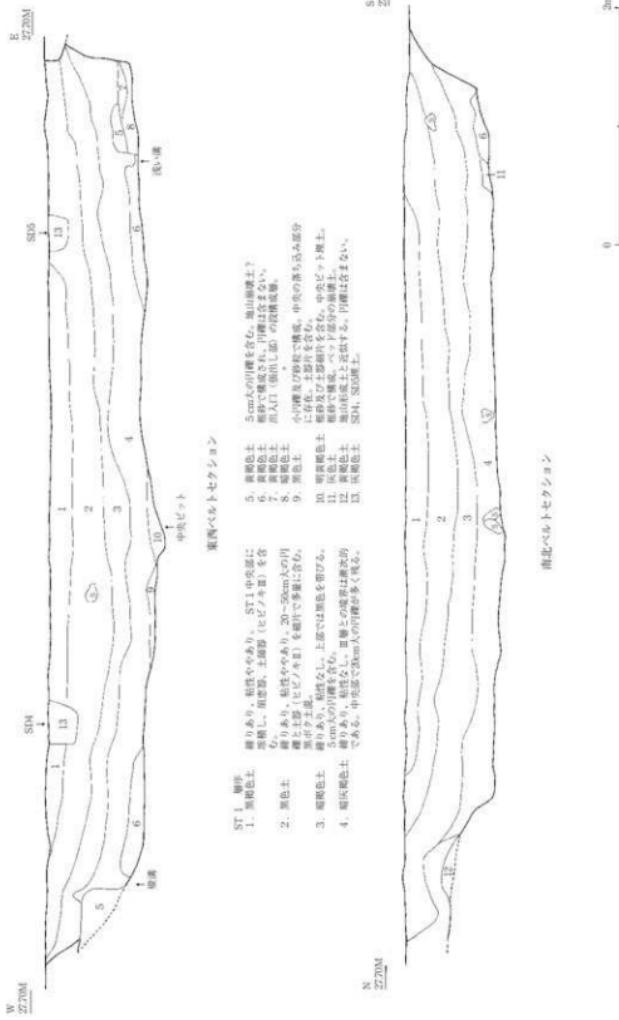
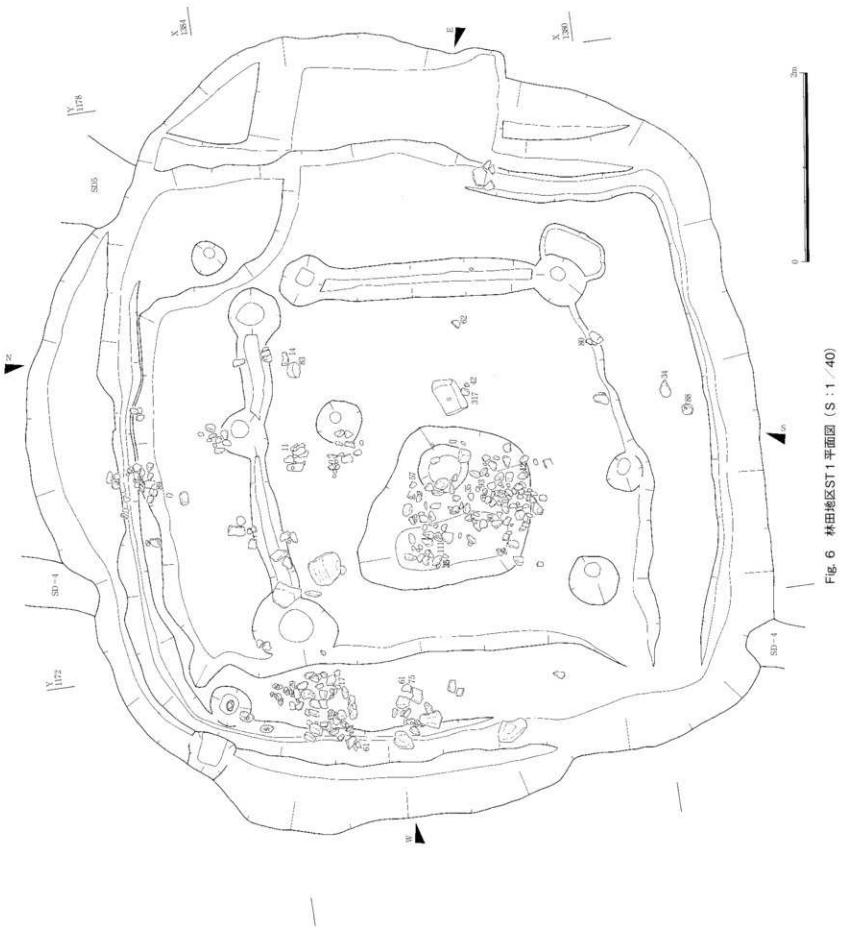


Fig. 5 林田地区ST1断面图 (S : 1 / 40)



琴穴住居跡

ST 1 (Fig. 5·6 / 7~15)

調査区の中央部で検出された住居跡である。検出面では中近世出自の溝状構造SD4とSD5に上位の一部を被破されていた。また、検出面では平面形態が不明瞭であり、ただ黒褐色から暗茶褐色を呈する部分が調査区の中央部分で不整形圓に観察されていたものである。後に精査を行って住居跡の平面形態は本來隅丸房型であった事が明らかとなる。上位の埋土が充填する段階で住居の東側幅約2／3の壁が崩壊して方形と円形が重なった状態にならったのか、また床面から50cm程度の高さで段部または緩傾斜を造成する目的を持つた構造的な形態と考えられる。ただし、調査の過程では前者を積極的に示すような痕跡は認められない。規模は内方の方形部分で東西60.0m（東の張出し部分を加えると7.70m）、南北6.80mであり、検出面から住居床面までの深さは80cmを越えるものであった。

住居内には北側と西側に壇壁が顕著である。特に北壁下では溝が壁を掘込む様に設置されており、壇は上位で住居址側へ張出している。また、溝底は床面よりも十数cm高く設定されている。つまり、北壇面が部分覆い被されるような形で設置されている。高床部は全周回するものと考えられるが、北から東にかけてはやや不明瞭であった。高床部は主に土盛による形態と考えられ、東南部では高床構造が土盛であることから固結が弱く感じられた。住居東側の高床部内側には主に床面に幅約40cmの住居内溝が存在している。住居の東側には出入り口と考えられる方形の張出し部分が存在する。出入り口の住居内側には壇構に沿う住居内溝が掘られており、調査時には既に沿う部分に円礫が置かれていた。張出し部分の床面は二層からなる盛土構造であり、高床部等住居内よりも幾分高くなる様に設定されている。張出し部の東北は急な壇に立て、東側への開口部はやや緩慢な傾斜（階段状）は認められなかった）であった。

出土遺物の多くは破片で発見されており、復元完形に近似するものはあるものの、同時に遺跡に見受けられる完形遺物を残した状態で廃棄するような状態は見られなかつた。また北陸縦貫から祭祀遺物と考えられる小型の遺物が数点見つかつてゐる。埋土の最下層から出土してゐる。遺物は全部陶器で、形状は丸いつばの深鉢形や筒形などである。

出土遺物は5099点である。銅生器は壺1頭部341点・底部114点、壺口部90點、底部5点、鉢口縁41点・底部2点、胴部416点。高环坏部7点・脚6点、支脚1点、土器製円盤1点。須恵器は壺5点、胴部53点、土器質土器鍋1点、皿1点、壺22点である。このうち示したのは1から117である。1から48は壺であり、初期段階の壺は4層から出土した壺は1から16の口頭部と3から42の底部である。3・5・8・13の頭部は外・外面ともに届曲がやや急である。外側の調整はタキ目を残し殆どハケは施しない。6・7・9は内面に口縁と崩部の認識の異なる明らかな後退を留め、外側は概ね彌疎である。2・4の頭部は外・外面とも緩やかに彌疎しており、崩部は残されていないが、肩部の張出しは認められない。14から16は祭祀遺物と考えられる土器群であり、精緻な造り。何れも平底の底部を留めている。底部は概ね平底を有しており、調整は概ねタキ目を残すかのちハケを施す。39は外側にナデが見られる。34は大きく張出した頭部を持つ。17から33と39から48は4層以外の上位層出土の遺物である。49から58は壺と崩部を持つ。老練である。

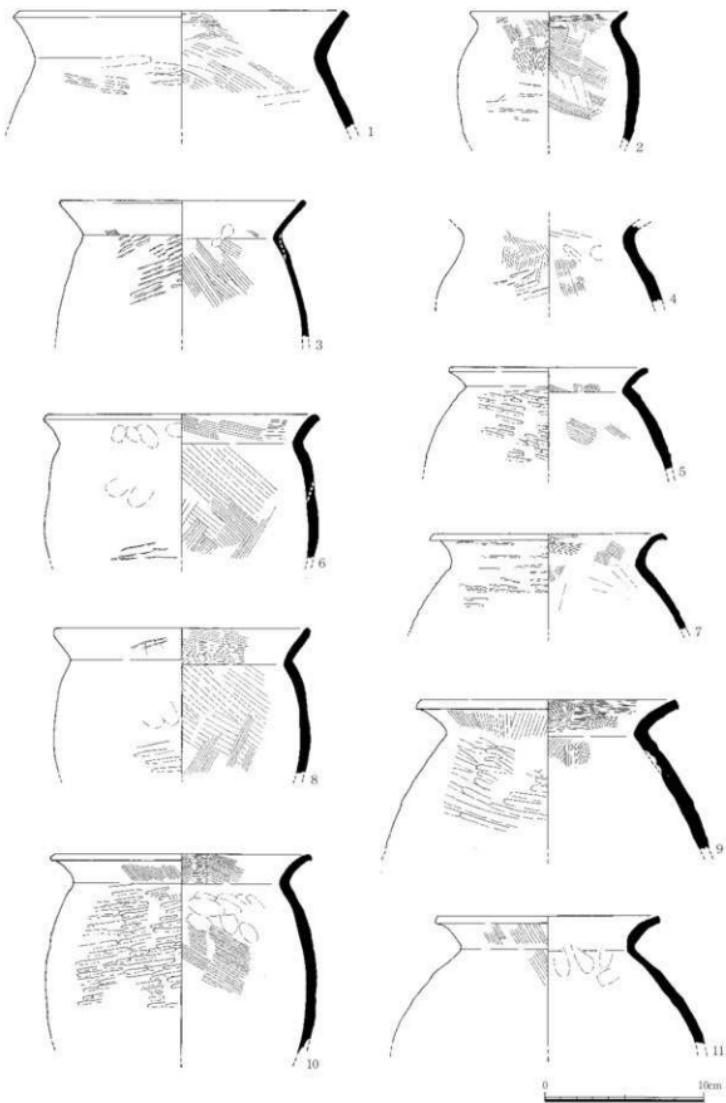


Fig. 7 林田地区ST1出土遺物1 (S : 1 / 3)

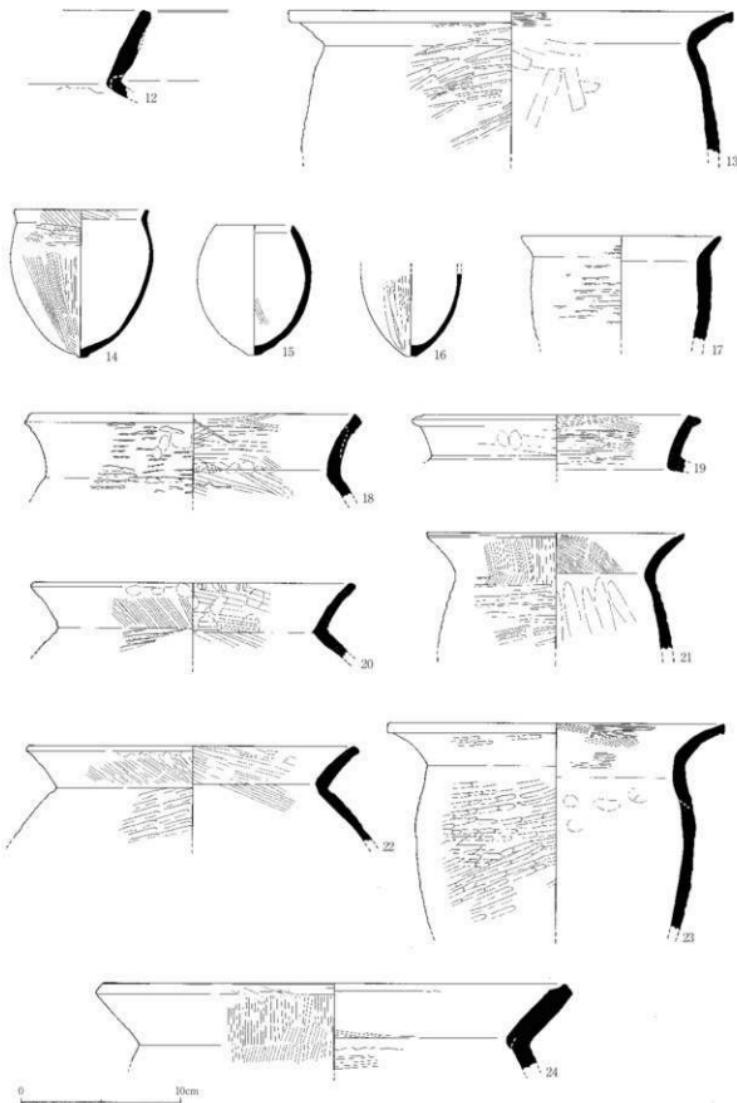


Fig. 8 林田地区ST 1出土遺物2 (S :1 / 3)

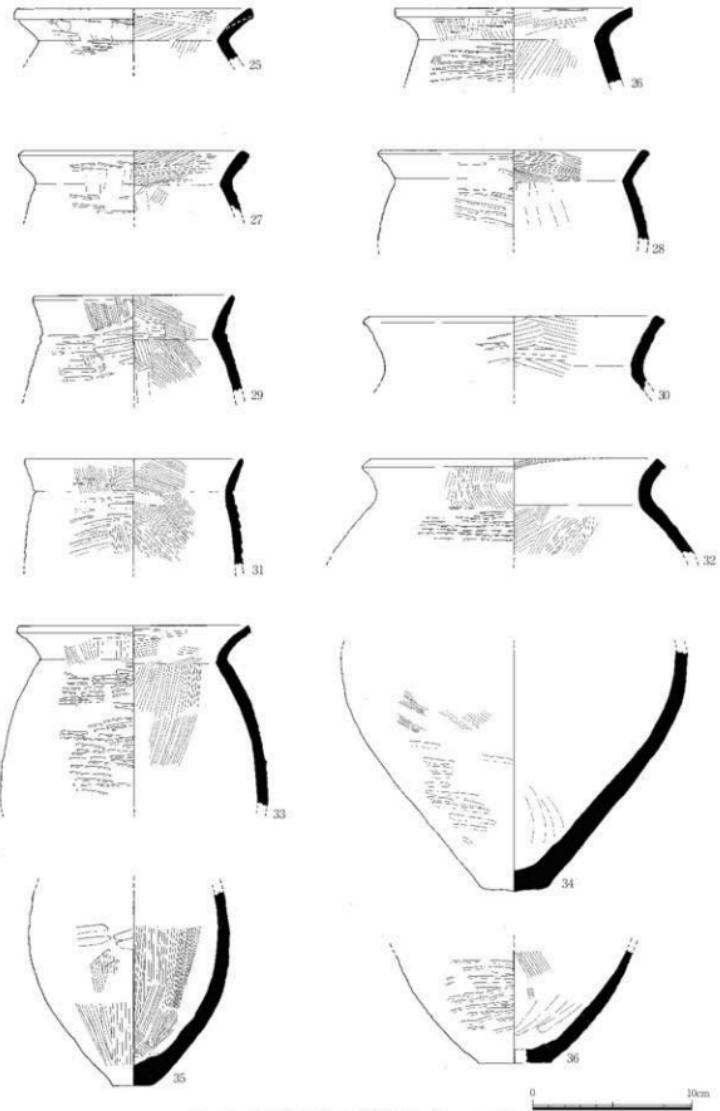


Fig. 9 林田地区ST 1出土遺物3 (S : 1 / 3)

0 10cm

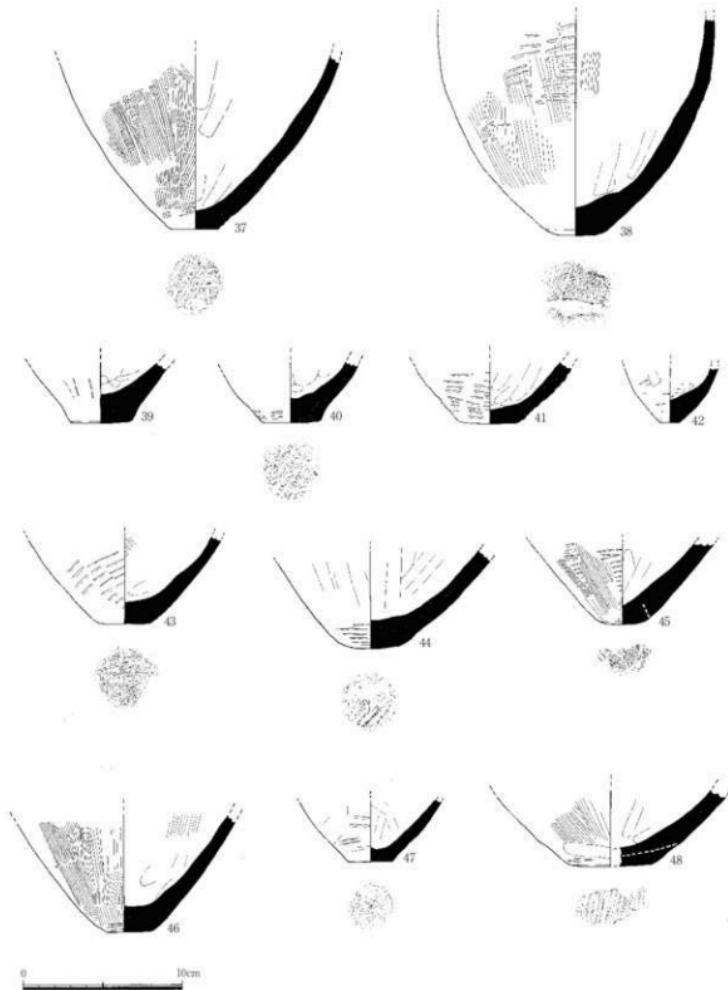


Fig. 10 林田地区ST 1出土遺物4 (S : 1 / 3)

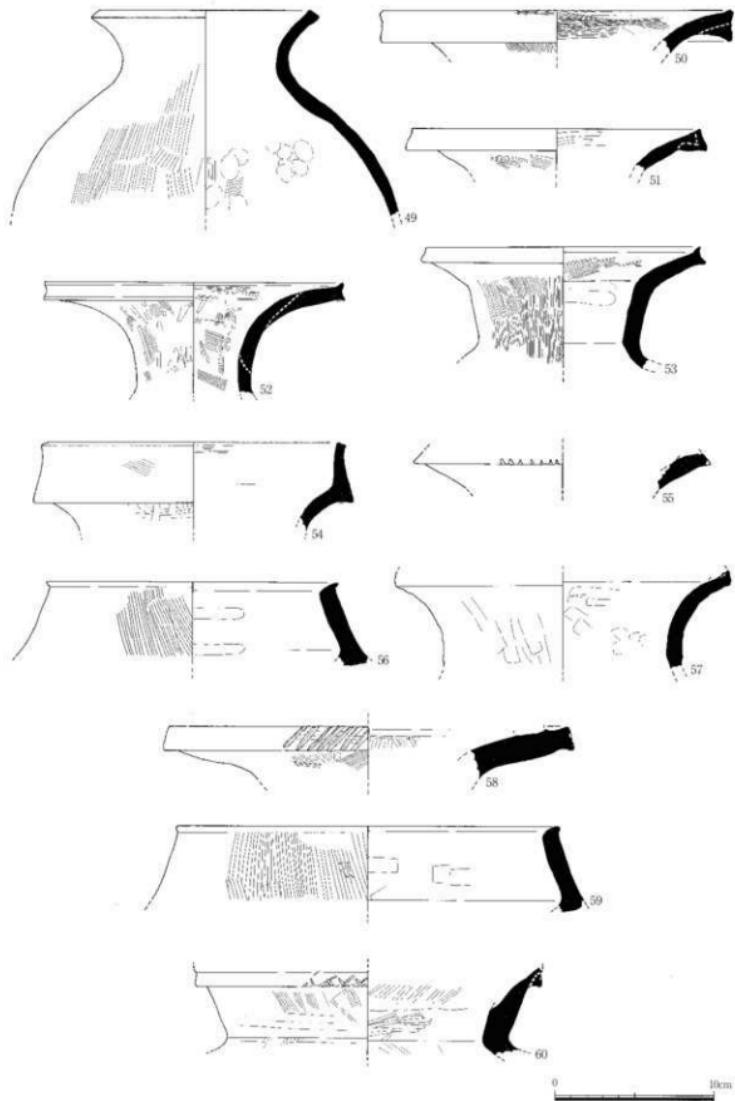


Fig. 11 林田地区ST 1出土遺物5 (S : 1 / 3)

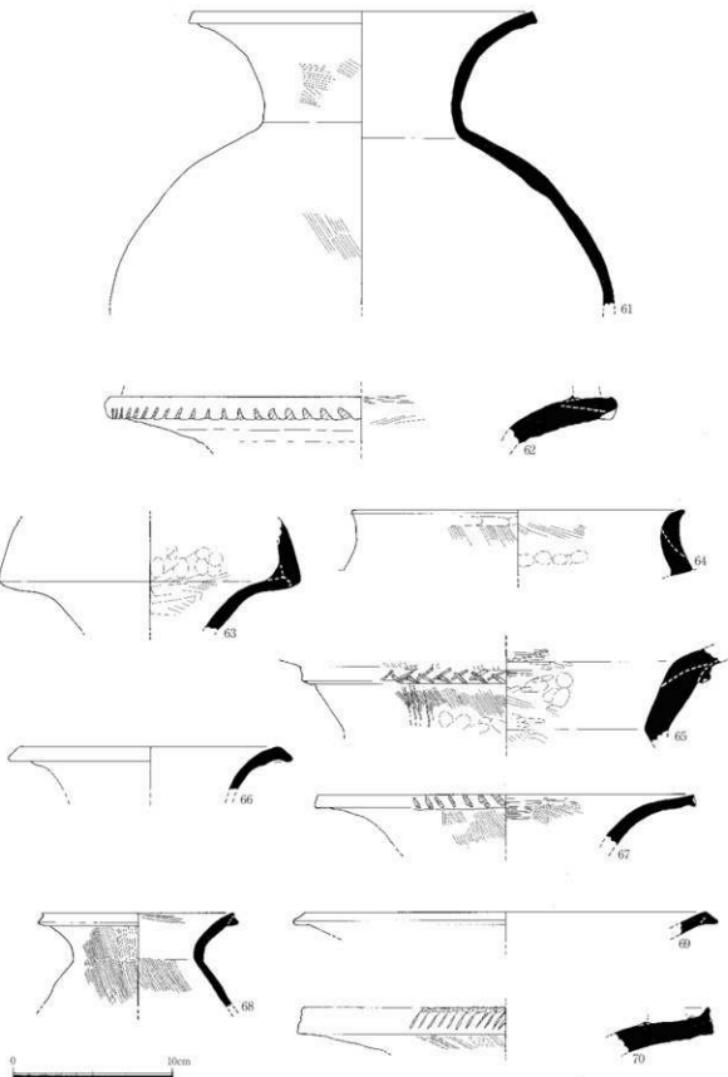


Fig. 12 林田地区ST 1出土遺物 6 (S : 1 / 3)

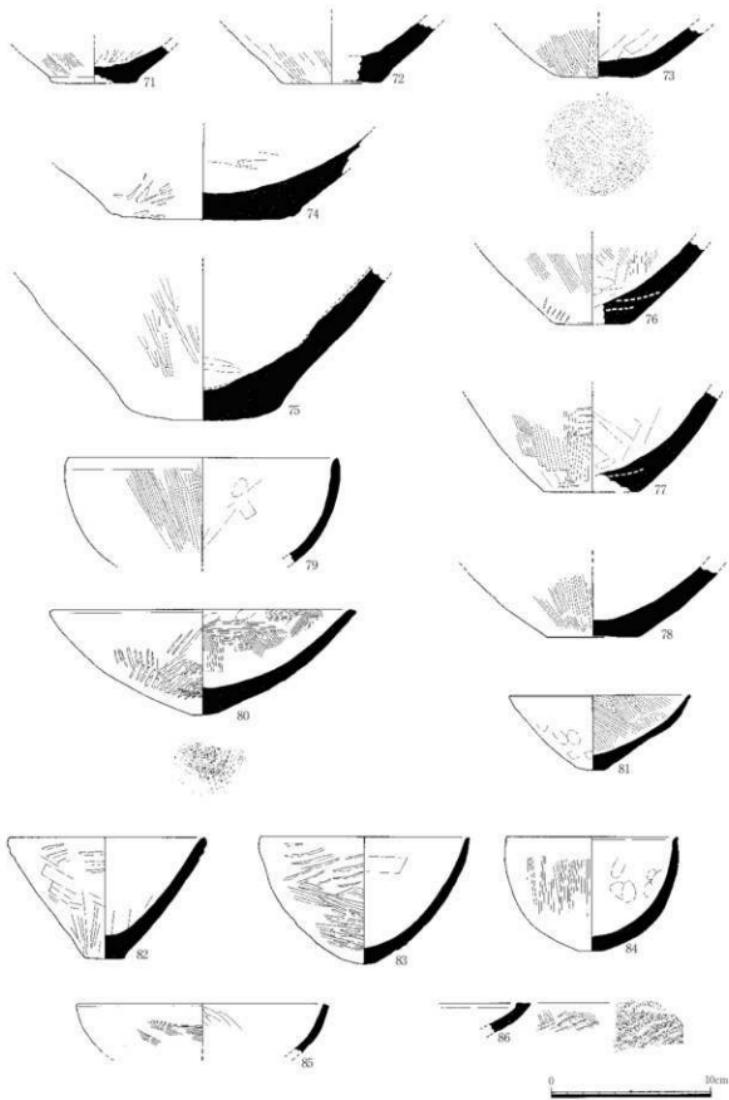


Fig. 13 林田地区ST 1出土遺物7 (S : 1 / 3)

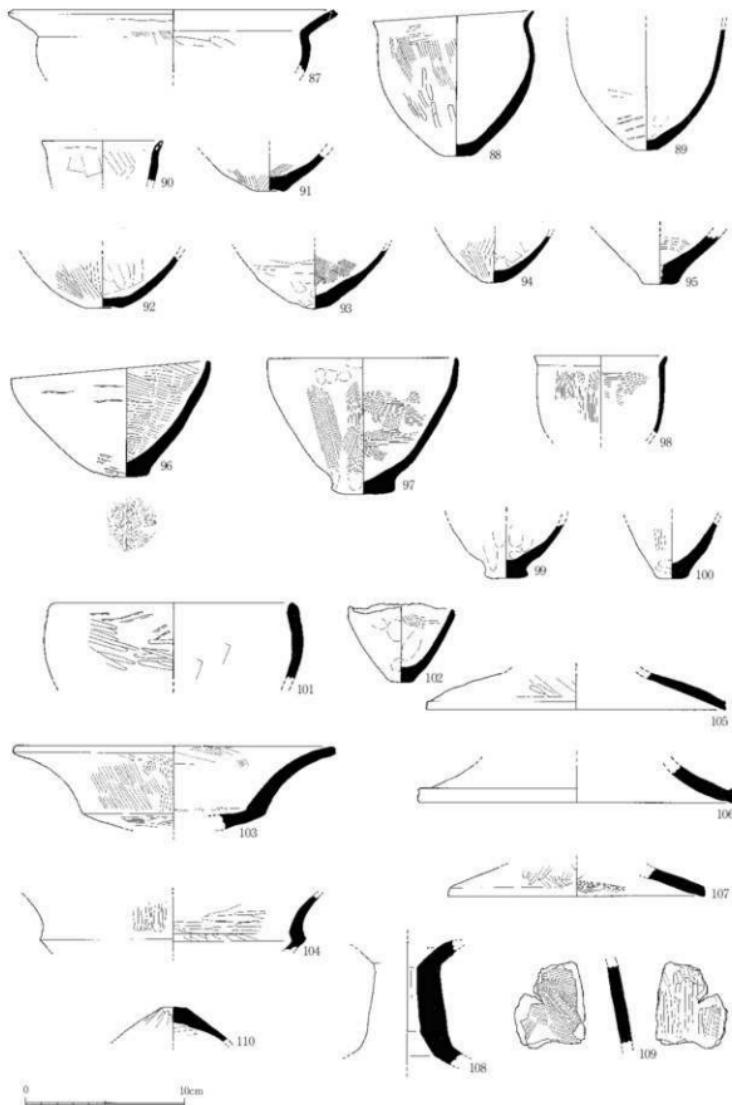


Fig. 14 林田地区ST 1出土遺物8 (S : 1 / 3)

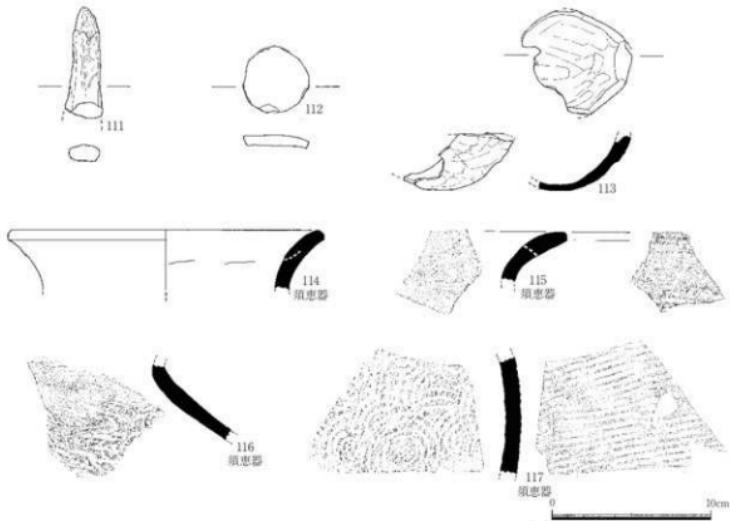
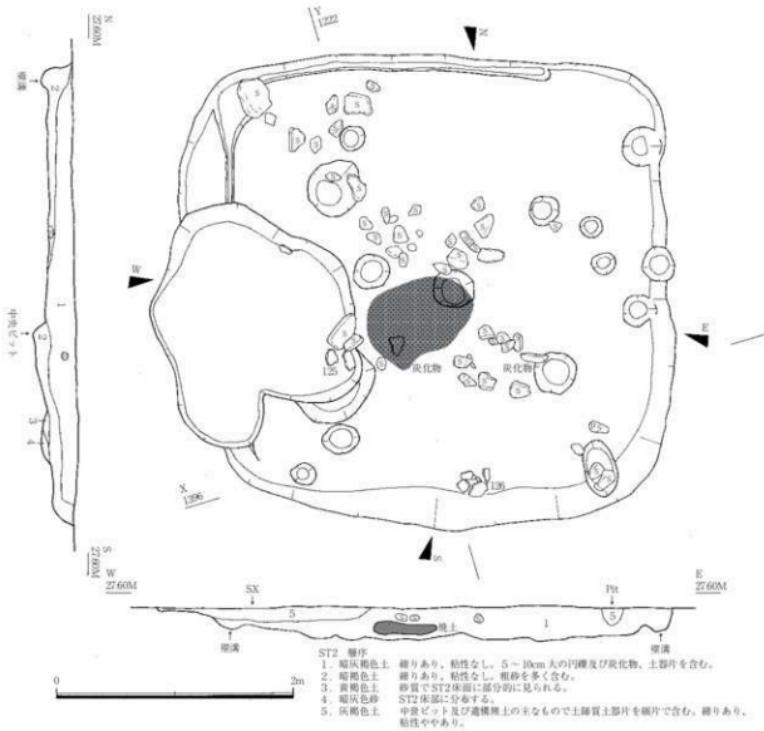


Fig. 15 林田地区ST 1 出土遺物9 (S : 1 / 3)

このうち、49から60と71から75は最下層からの出土である。49は口頭部が短く開く。50・51は広口壺であり、口縁は外側に肥厚する。52・53は頭部がやや発達する。54から59は二重口縁である。54は外反して開く一次側口縁に二次側はやや内傾して立ち上がる。55・57は開いた一次側口縁の端部に内傾する二次側が付く。55は一次側端部の屈曲部に刻みを施す。56・59は直線的に内傾する二次側の口縁である。58は大きく広がる一次側の口縁であり、端面に斜位の刻みを施す。二次側口縁は端部からやや間際をおいて付く。60は単口縁か。口縁外面に断面三角形の突帯が付き斜格子の刻みが施される。71から74の底部は概ね安定した平底であり、75の底面はやや凸面を成し端部は不明瞭である。61から70と76から78は上位層からの出土である。61は球形指向の胴部にやや頭部が発達する。62から64と70は二重口縁である。62は大きく開いた一次側口縁下端に刻みを施す。63の二次側はやや内傾して立ち上がる。70は大きく開いた一次側口縁端部に65はやや発達した頭部上位に断面三角形の刻み突帯を施す。頭部外面には乾燥時に引っ搔き傷跡が残る。66と69は広口壺である。端部は外傾する面を成し、外側に肥厚する。67は端面をヘラ小口で斜位に刻む。68は時期がやや先行するか。79から102は鉢である。80から96が最下層からの出土である。80・81は器高の低い碗形。82から84はやや深めの碗形。87・88と90は飼状に口縁が開く鉢である。102は手捏ね成形によるミニチュア土器である。恐らくST 1 の機能時期からは後出するであろう。103から109は高坏である。110は蓋とした。111は支脚の支部。112は土製円盤。113は土製の杓子であろう。基は厚みを持ち、先端に向かって器壁が次第に薄く作られる。柄の部分は欠損する。114から117は最上層から出土した須恵器である。ミニチュア土器と同様にST 1 の機能した時期と係わりは無いであろう。



ST2 (Fig. 16 / 17)

調査区の東部で発見された住居跡である。平面形態は隅丸長方形であり、長軸方向はN-74°-Eである。規模は長辺4.20m、短辺4.00mであり、検出面からの深さは約25cmを測る。主な埋土は黒色土であり、西側の上位を大きく灰褐色土を埋土とする土坑（中世出自？）によって切られる。小型で方形から長方形を呈する。住居の東壁より床面に掘込まれた施設が存在しており、ここには住居跡の上位埋土と異なる黄褐色粗砂が見られる。また、中央部西寄りには炭化物と焼土の集中部分を検出している。この下層からは中央ピットと考えられる浅い掘込みが確認されており、北側は急に、南側は緩やかな傾斜をもって立ち上がる。住居内には壁溝北壁から西壁にかけてが良好に残存しており、東壁でもベルトの精査から存在を確認することができた。高床部は不明瞭ではあったが、西側で中央床面よりも5cm程度高く地山削出しにより存在したものと考えられる。また、東側から北側にかけてもJ字状に存在した可能性がある。

出土遺物は96点である。弥生土器は壺口縁13点・底部5点、壺口頭部2点、鉢口縁5点、胴体部56点、須恵

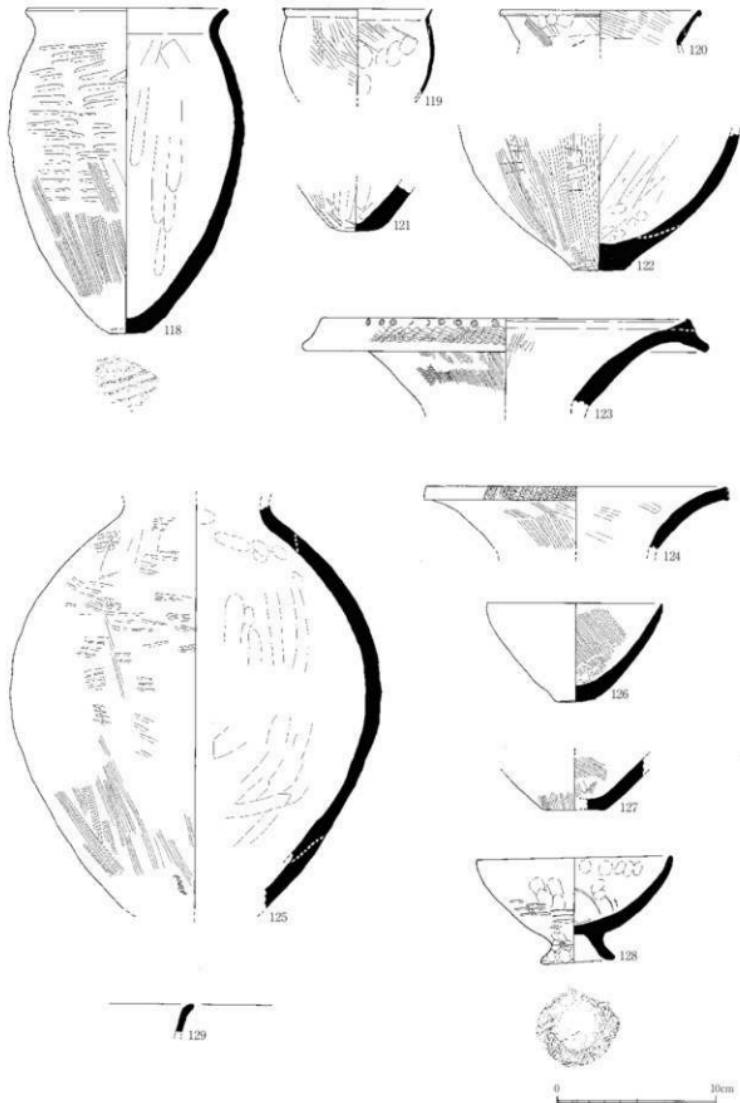


Fig. 17 林田地区ST 2出土遺物 (S :1 / 3)

器は高壺1点、土師質土器は12点、陶器は1点である。出土遺物のうち図示したものは118から128の11点である。118から122は壺である。118頭部外面は彎曲し、底部は平底を留める。119は口縁が短く立ち上がるるものであり、鉢とすべきか。122は球形の胴部？に狭い平底が付く。123から125は壺である。123は大きく開く広口形の口縁で口唇は上下に肥厚する。124は平らな面を成す口唇に擬繩文を施す。125は胴部の破片である。本来は球形を呈するものであり、胴部の張出しが強く成る可能性が高い。126・127は鉢である。128はやや浅い鉢に低い台部が付く。この他に埋土上位から出土した石には赤色顔料の付着が見られた。

ST3 (Fig. 18/20)

調査区の西端で発見された堅穴状遺構であり、住居跡の一部と考えられる。遺構内の北側約2/3は南側の床面よりも18cm程度高く、基盤層を掘削した後に盛土により形成された高床部分と考えられる（高床構成層は暗褐色土と明褐色土による）。ここには埋土中に20cm程度の円窪を含んだ稍円形？のピットが高床面から深さ24cmをもって検出されており、住居に係わる柱穴と考えられる。

出土遺物は弥生土器16点である。このうち図示したものは130から132の3点である。130は壺の頸部であり、頭部の屈曲はやや急。131は鉗状に開く口縁を持つ鉢であり、口縁はやや長く外反する。丁寧な成形による。132はこの底部で同一個体か。

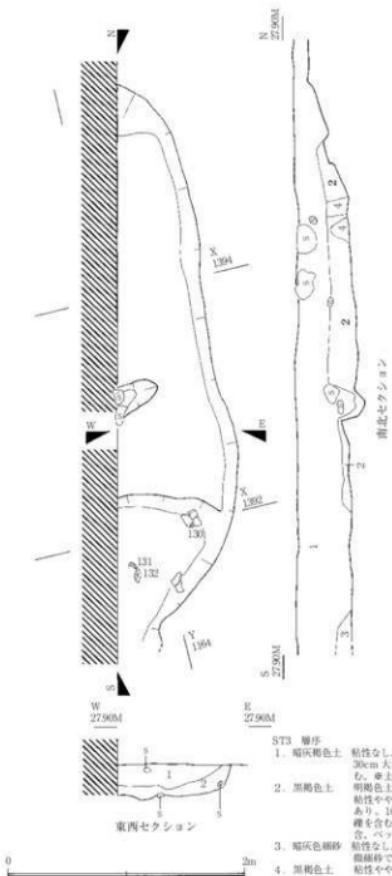


Fig. 18 林田地区ST3平・断面図 (S : 1/40)

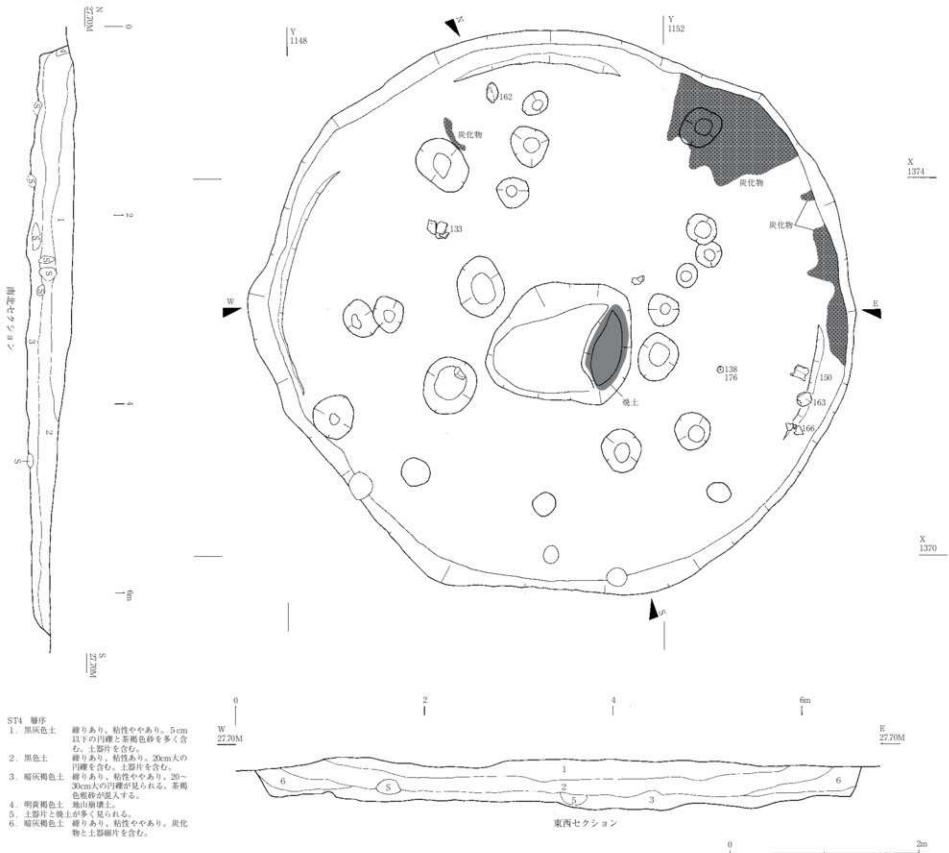


Fig. 19 林田地区ST4平・断面図 (S : 1 / 40)

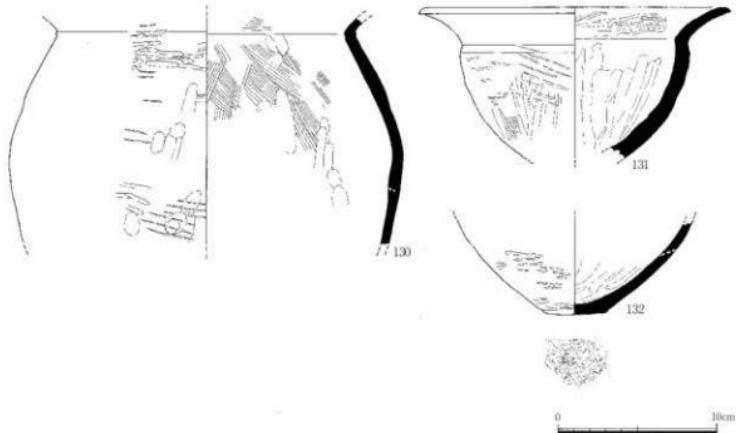


Fig. 20 林田地区ST 3出土遺物 (S : 1 / 3)

ST 5 (Fig. 24/25~28)

調査区の南部に位置する。ST 1と同様、検出面から十分な深さを持っており、残存は良好であった。平面形態は隅丸方形である。規模は一辺約5mであり、検出面からの深さは70cmを測る。上位はSD 8やピットによって一部破壊されている。住居の各壁は床面から高さ30cm程度の所で屈曲部や段を有している。このうち東壁は傾斜が緩やかで広い段部が形成されていることから、出入り口が存在した可能性が高い。また、住居跡の中央部には浅い皿状の落ち込みが存在し、一部には焼土が残されていた。この他に住居内構や高床部は認められないが、柱穴は床面中央に4個と北の壁際に2個存在している。住居プランから南にやや離れて2個の小規模なピットを検出したが、住居に伴うものかは不明である。調査時、住居内には多くの大小円碟が土器遺物と共に出土した。これらの多くはやや埋積が進んでから投棄された可能性が強い。

出土遺物は673点であり、弥生土器の壺口頸部40点・底部18点、壺口頸部19点・底部6点、鉢口縁33点・底部7点、胴体部550点である。このうち図示したものは177から222の56点である。177から196は壺である。177から180などのように頸部に屈曲部を残すものも存在する。181・183は頸部が弯曲して仕上げられ、182は口縁外面にナデによる段が形成される。184・186は口頸部が緩やかに曲がる。底部は192・193のような丸底または190・191等に見られる不明瞭な平底である。179から208は壺である。197・200・201は広口形。198・199は二重口縁風に緩やかに屈曲し上方へ立ち上がる。202・203は直口気味に口縁は緩やかに外反して立ち上がり口唇で肥厚する。206から208の底部は平底を呈す。209から221は鉢である。209から211は小容量の椀形、212は浅い皿形を呈す。217・218は口縁が短く鈎状に開く。221は底部に穿孔する。222は注口部が明確ではないが、口縁部の様相が異なることから片口と判断した。成形は粗製の小鉢に近似する。

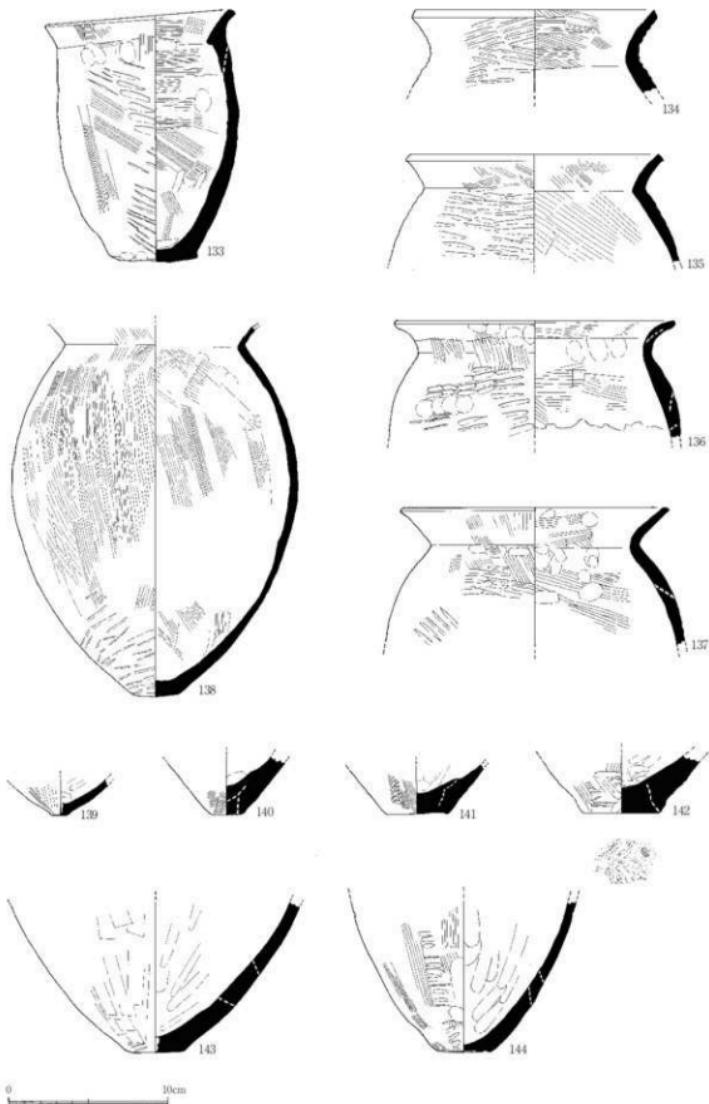


Fig. 21 林田地区ST 4 出土遗物 1 (S : 1 / 3)

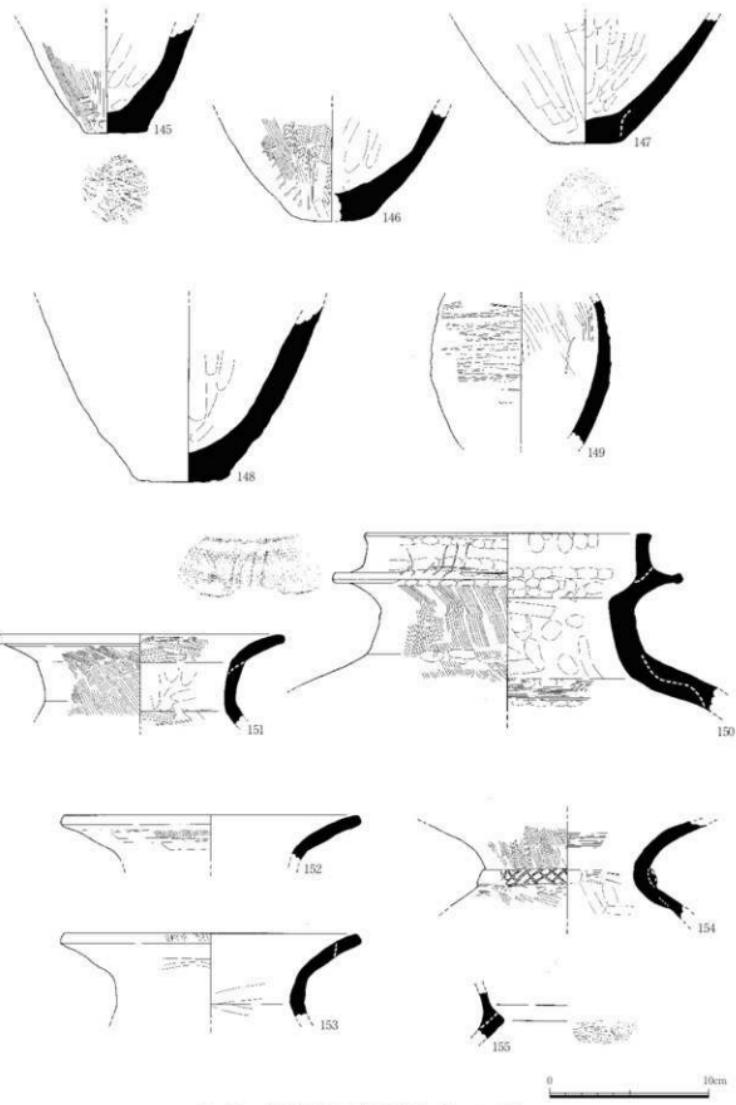


Fig. 22 林田地区ST 4出土遺物2 (S : 1 / 3)

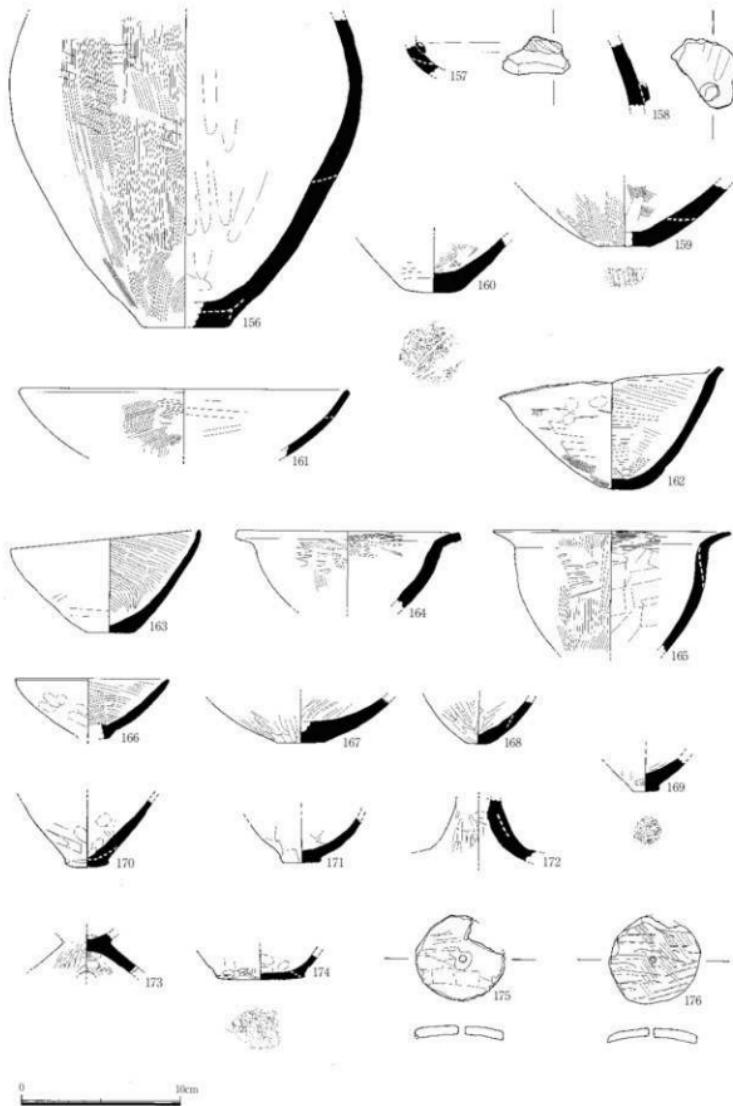


Fig. 23 林田地区ST 4 出土遺物3 (S : 1 / 3)

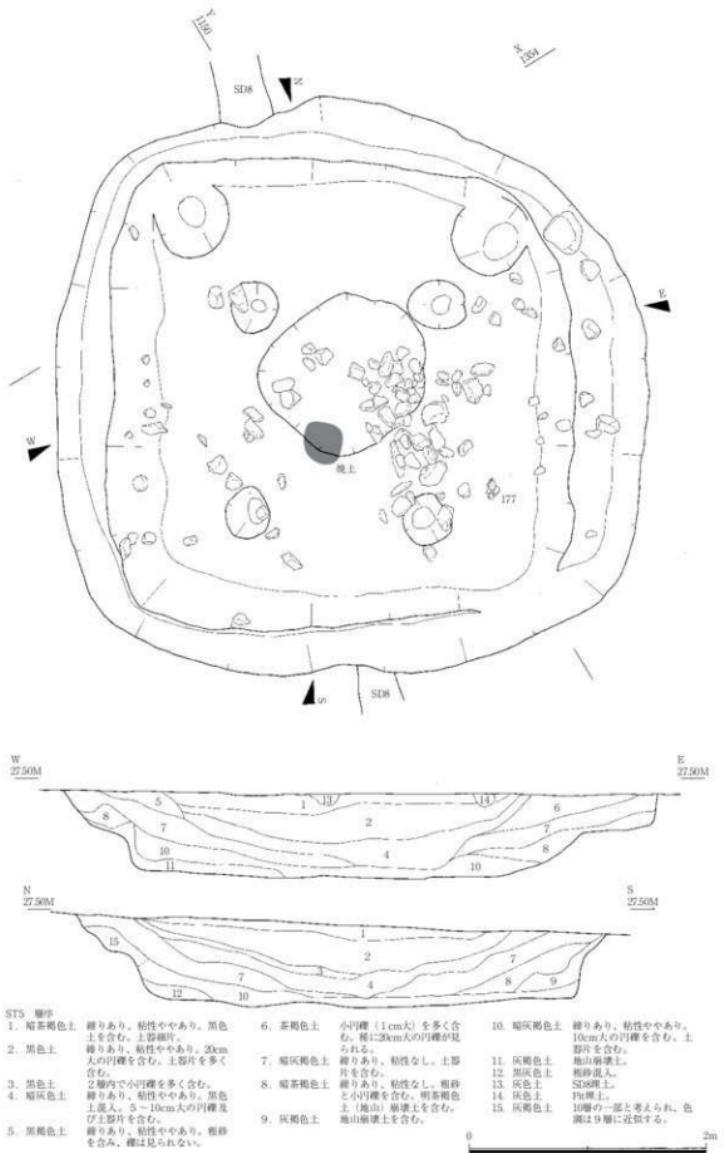


Fig. 24 林田地区ST5平・断面図 (S : 1 / 40)

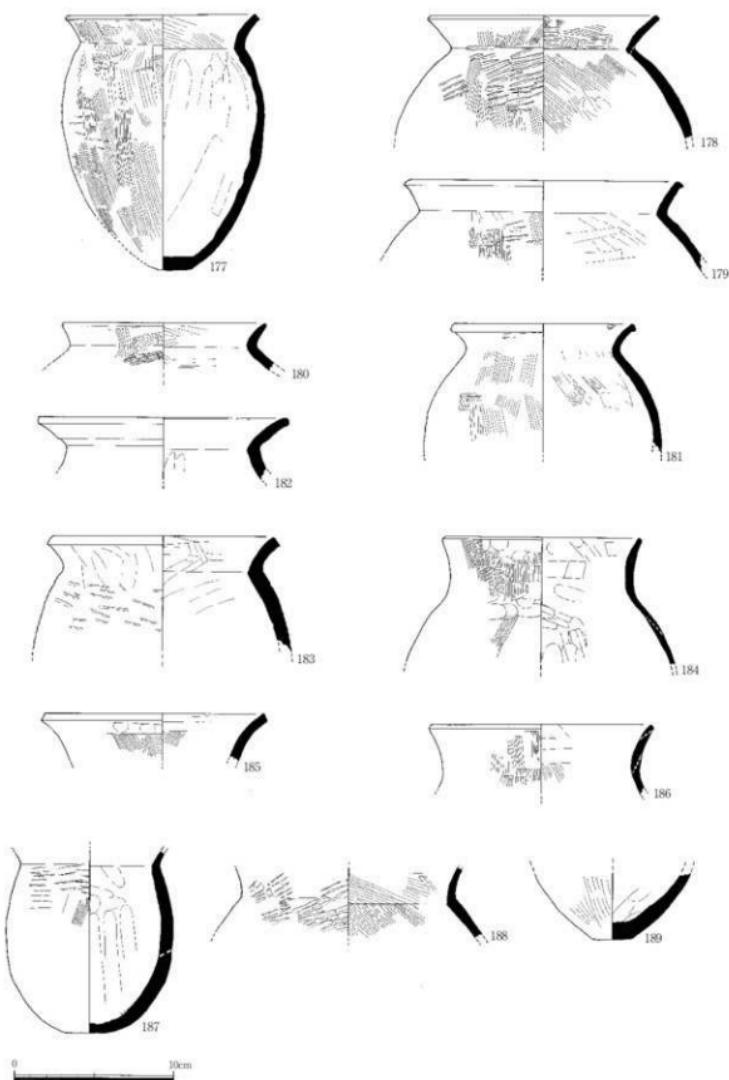


Fig. 25 林田地区ST5出土遗物1 (S : 1 / 3)

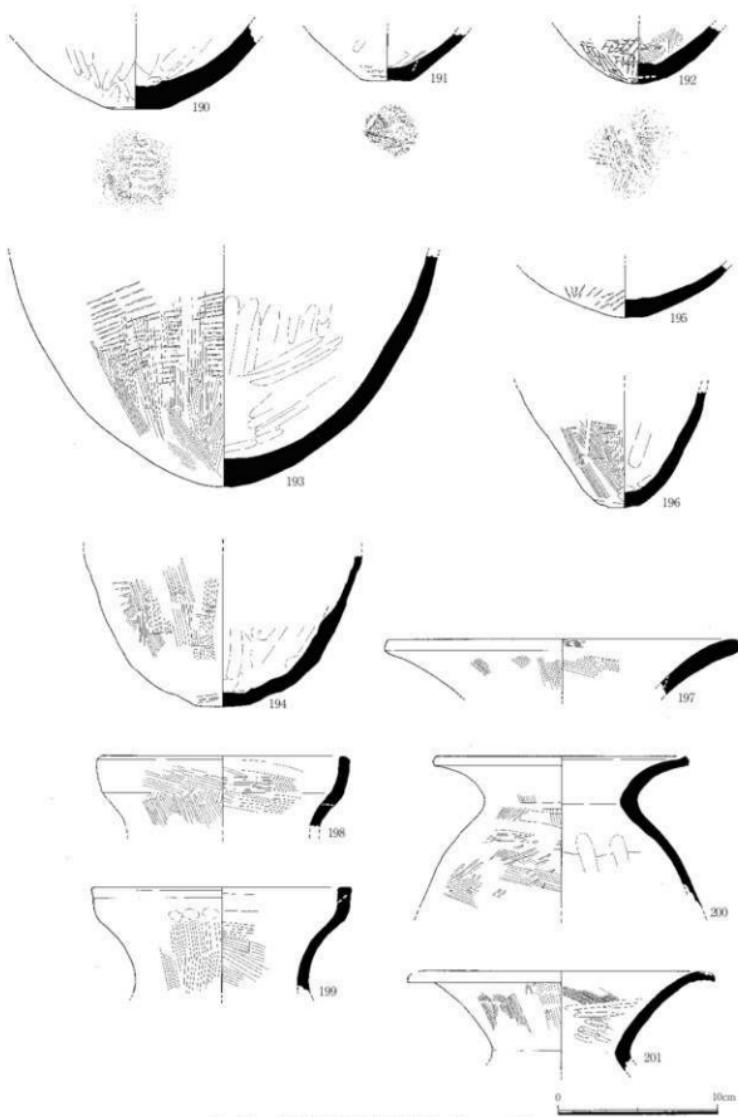


Fig. 26 林田地区ST 5出土遺物2 (S : 1 / 3)

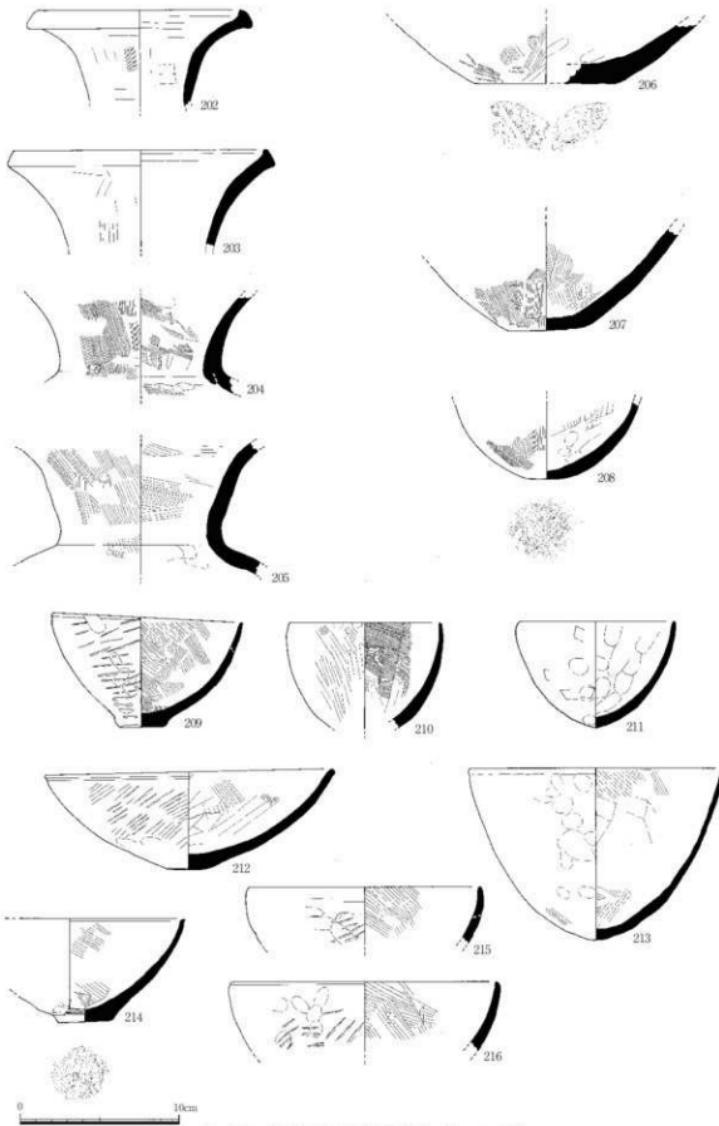


Fig. 27 林田地区ST 5出土遺物3 (S : 1 / 3)

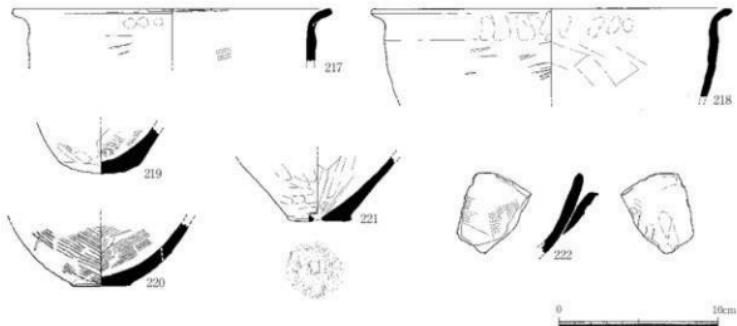


Fig. 28 林田地区ST 5出土遗物4 (S : 1 / 3)

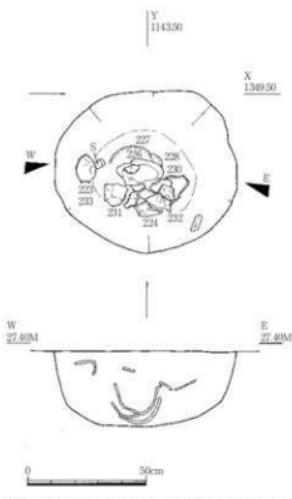


Fig. 29 林田地区SK 1 平・断面図 (S : 1 / 20)

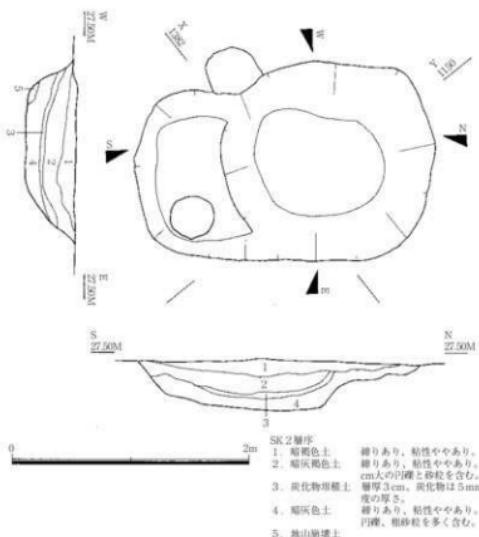


Fig. 30 林田地区SK 2 平・断面図 (S : 1 / 40)

土坑状構造

SK 1 (Fig. 29 / 31)

調査区の南部でST 5の西方に位置する。平面形態は梢円形であり、規模は80×70cm。検出面からの深さは33cmを測る。鍋底状の底部からやや急に壁は立ち上がる。出土遺物の多くは弥生土器の甕と鉢である。やや容量のある鉢は、傾きを持って重なって出土した。小型の楕円形の鉢は転がった状態で、また甕は位置を留めるものの破片の状態で出土を見た。これらの遺物は意図的な破壊や破棄と云うよりは、完形または完形に近い状態で埋められた可能性が高い。地鎮祭祀的な埋納が行われたものであろう。

出土遺物は弥生土器であり、破片を含めて35点である。このうち223から233の11点を図示した。223・224は甕であり、223は頭部内面に明瞭な稜を残し口唇は面を成す。外側のタタキのちハケが顕著に残る。224は頸部が彎曲し、口唇は面を成す。外側はタタキである。225から232は鉢である。225は小鉢であり、底部は平底。226は楕円形で内・外側にミガキを施す。底部は丸底である。227・228は口縁の開いた鉢であり、229も同様の形態を示すであろう。230は容量の大きな鉢で鉢状に開く口縁を持つ。

SK 2 (Fig. 30 / 31)

調査区の西部に位置する。平面形態は隅丸長方形を呈し、主軸方向はN-38°-Eである。規模は長辺2.54m、短辺1.66mであり、検出面からの深さは42cmを測る。南側には段状を成したやや浅い部分が存在する。北と東西の各壁はやや急に立ち上がる。造構埋土は主に1. 暗褐色土、2. 暗灰褐色土、3. 炭化物、4. 暗灰褐色土の4つの層である。3層は幅2~4cm程度の黒色土(炭化物)層であり、南側の浅い部分には存在しない。葬送に係わる造構であろう。

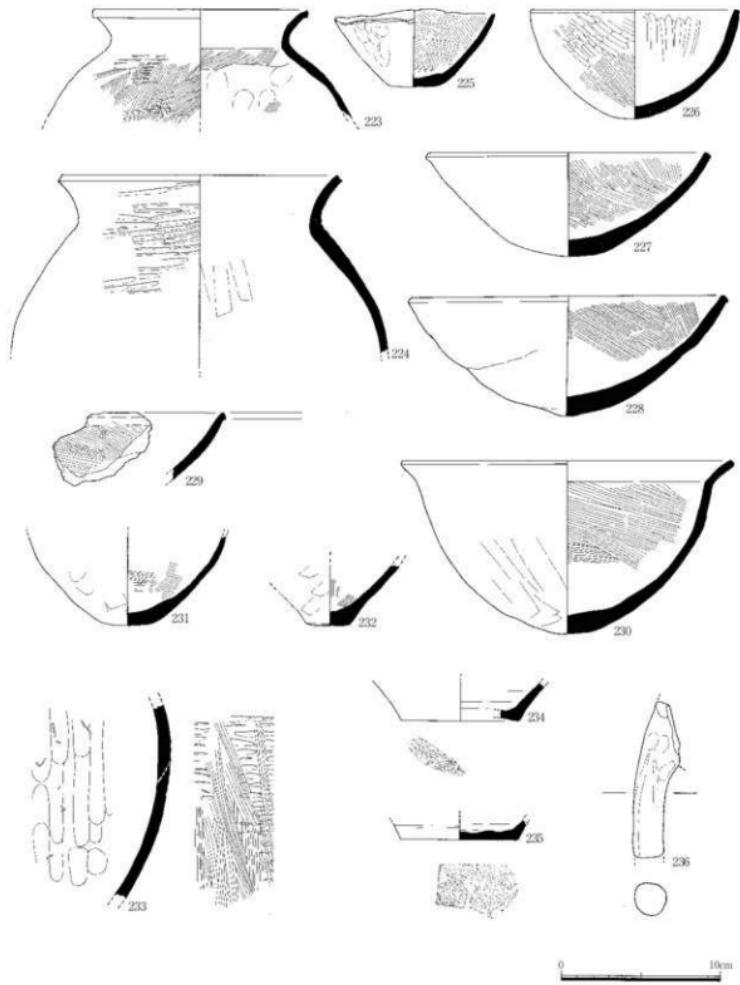


Fig. 31 林田地区SK 1・2出土遺物 (S : 1 / 3)

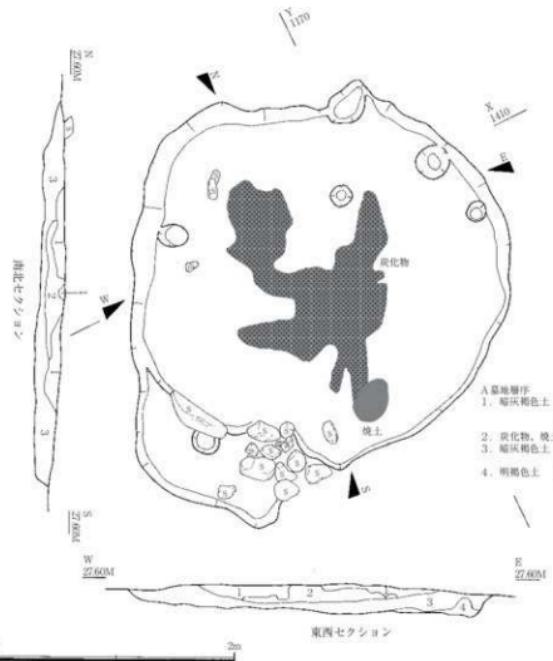


Fig. 32 林田地区 A 墓地平・断面図 (S : 1 / 40)

か。また、4層からは三足鍋の足部(236)が出土している。

出土遺物は破片細片を含めて28点である。このうち図示したのは234から236の3点である。234・235は土師質土器の壺底部であり、外底面には糸切り痕が残る。

A墓地 (Fig. 32)

調査区の北西部に位置する。平面形態は主体部が直径約3.20mの不整円形を呈し、南西側に張出し部分が存在する。この張出し部分には人頭大の円窪と角窪、一辺40cmの平石が立った状態で検出された。遺構の中央部分に炭化物が厚さ最大で約15cmで集中して検出される。この炭化物層は遺構の最終的な充填土(1. 暗灰褐色土)がなされる直前、または埋積の最初の段階で成されたものと考えられる。SK 2の様相と共に下層の2層には炭化物の混入は見られない。

出土遺物には図示できるものは無い。土師器の壺底部が1点、瓦質の鍋が6点、土師質土器の壺口縁3点、底部2点、体部12点が出土している。

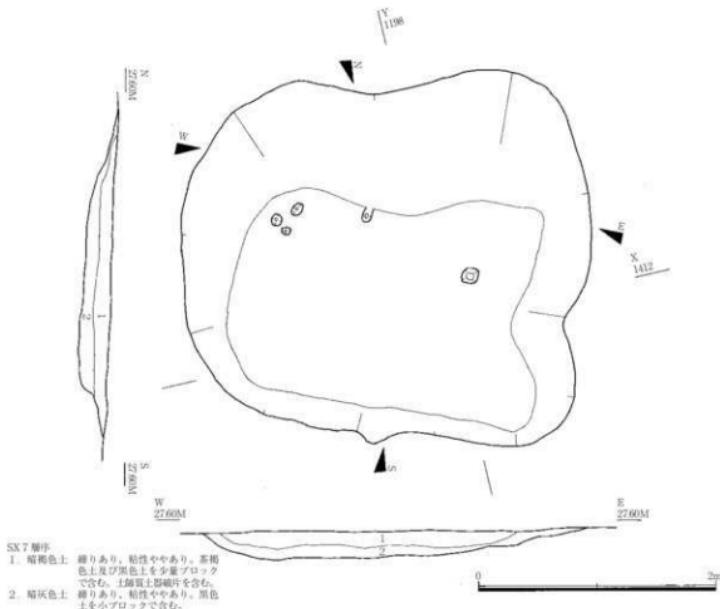


Fig. 33 林田地区SX7平・断面図 (S : 1 / 40)

性格不明土坑

SX1 (Fig. 2)

調査区の中央部北寄りに位置する。平面形態は不整椭円形である。規模は長径204m、短径17.3mであり、検出面からの深さは11cmを測る。SD 3を切って存在する。出土遺物は須恵器の壺胴部1点、土師質土器の环口縁6点・底部2点であり、図示できるものは無い。

SX2 (Fig. 2)

調査区の中央部に位置する。平面形態は概ね円形である。規模は直径3.20mであり、検出面からの深さは18cmである。造構埋土は暗褐色土の単純一層であり、直径30cmの円礫を含んでいる。SX 2は西側でP245、東側ではSD 3を切っている。出土遺物は須恵器胴部2点、土師質土器の坏底部1点・体部8点、磁器の碗底部1点であり、図示できるものは無い。

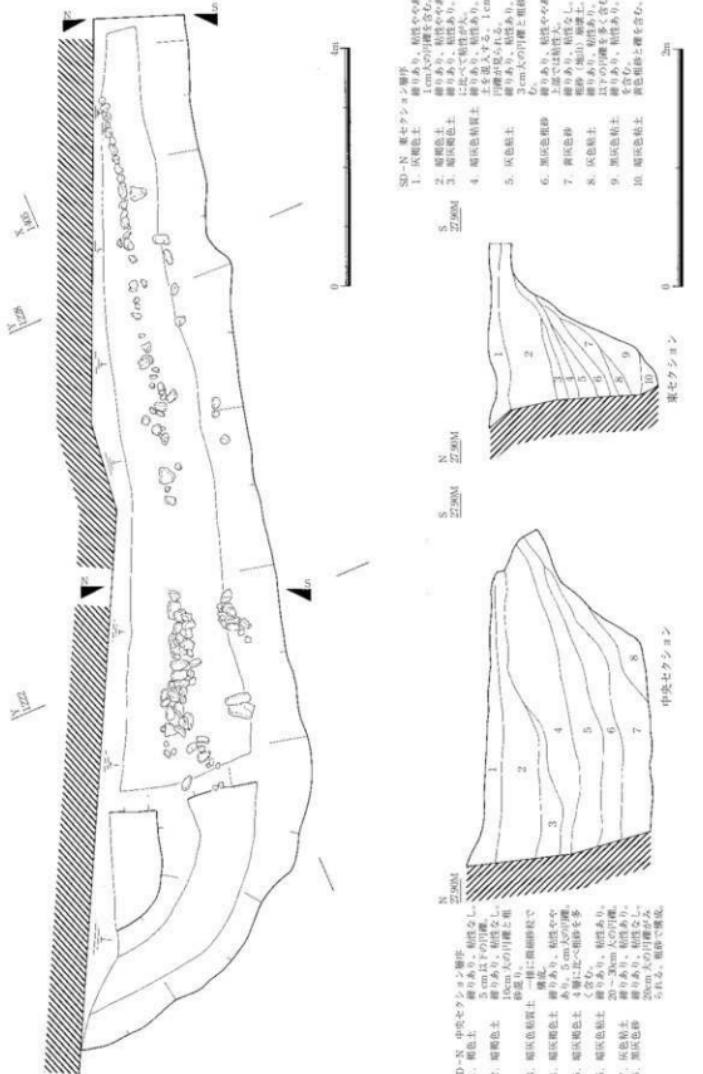


Fig. 34 林田地区SD-N平・断面図 (S : 1 / 80, 1 / 40)

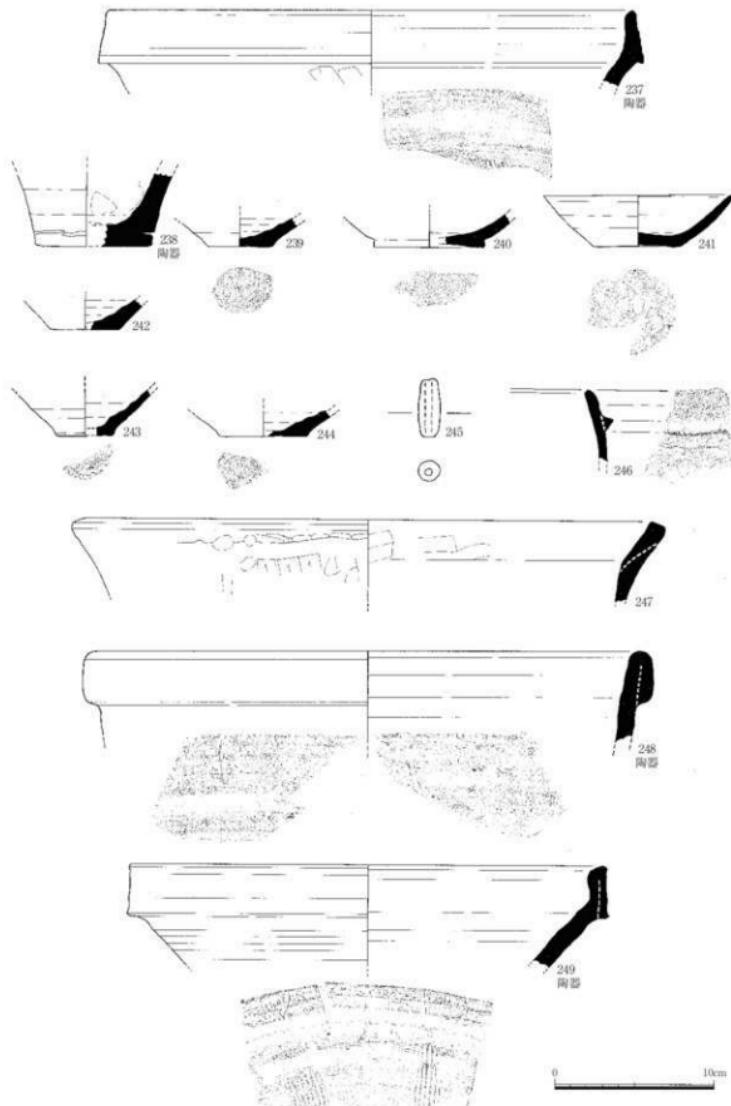


Fig. 35 林田地区SX 7~9・11~13、SD-N出土遺物 (S : 1 / 3)

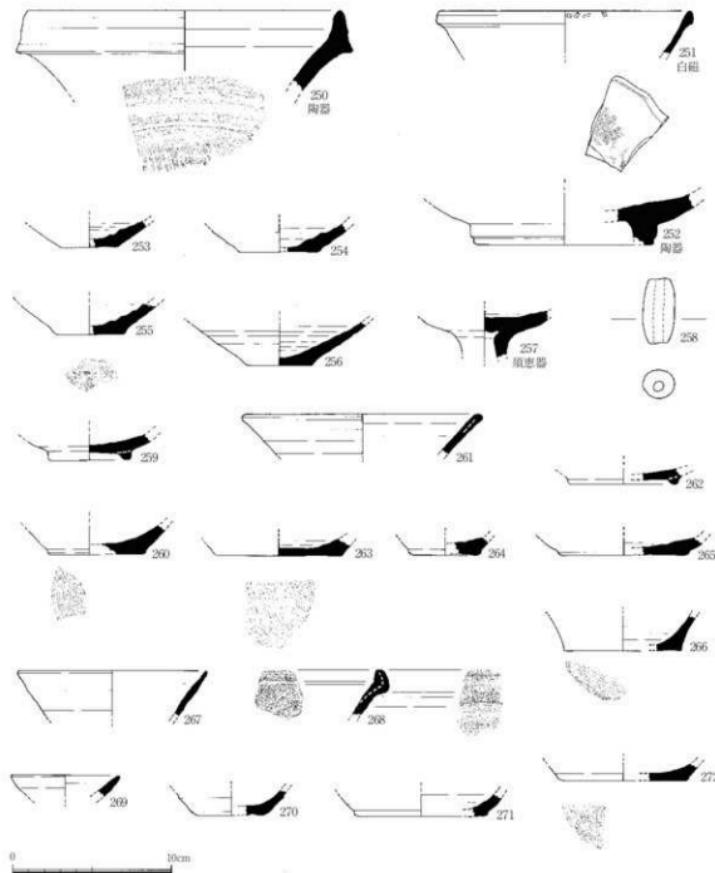


Fig. 36 林田地区SD-N、SD3~6・9、SD-W出土遺物 (S : 1 / 3)

SX3 (Fig. 2)

調査区の中央部西寄りに位置する。平面形態は円形であり、床面は平らである。規模は直径3.36mであり、検出面からの深さは15cmである。造構埋土は暗灰褐色土の単純一層である。SX 3は西側でSD 1を切って存在し、また床面からは前代の柱穴群を確認した。出土遺物は土師器2点、土師質土器の坏体部5点があり、図示できるものは無い。

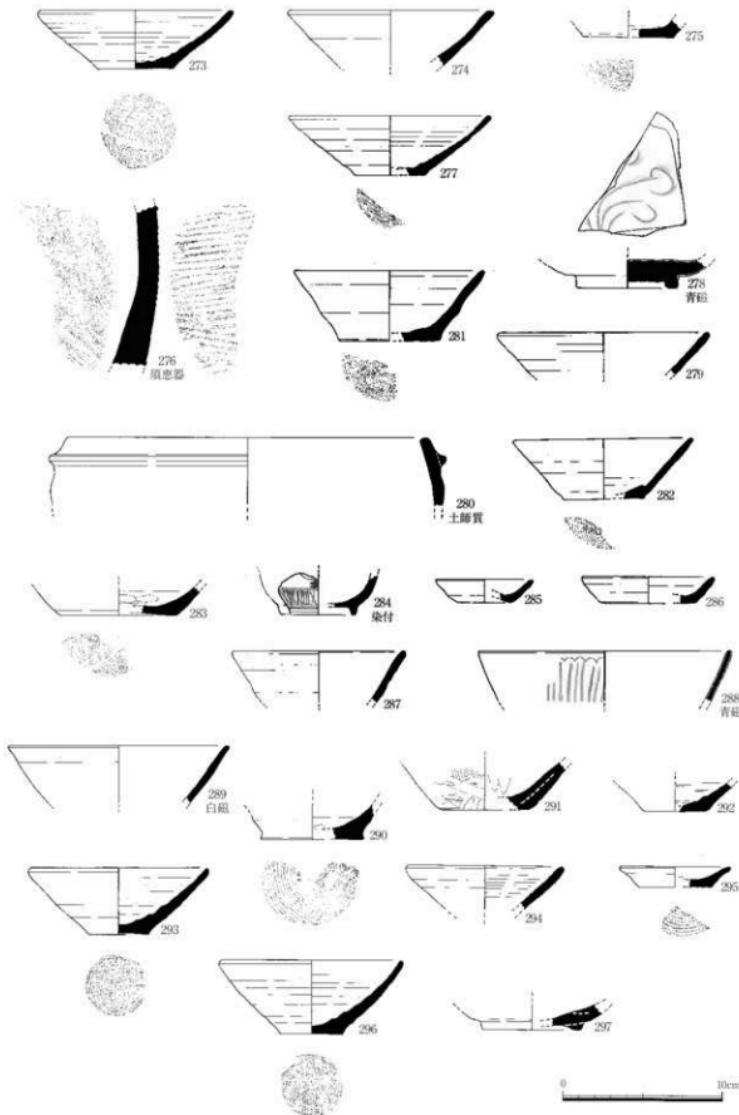


Fig. 37 林田地区Pit出土遺物 1 (S : 1 / 3)

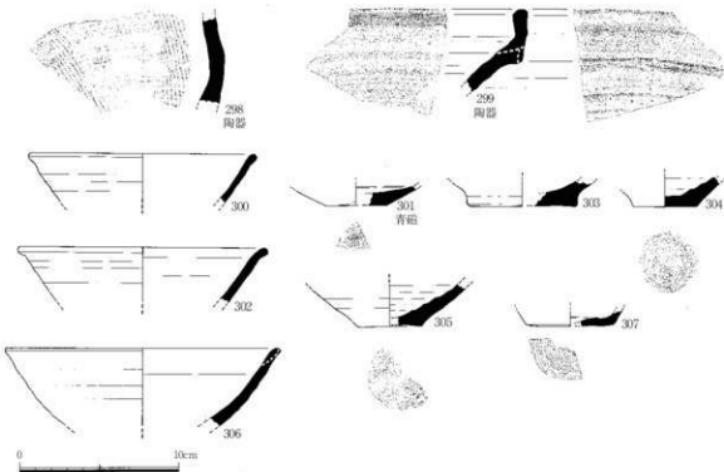


Fig. 38 林田地区Pit出土遗物2 (S :1 / 3)

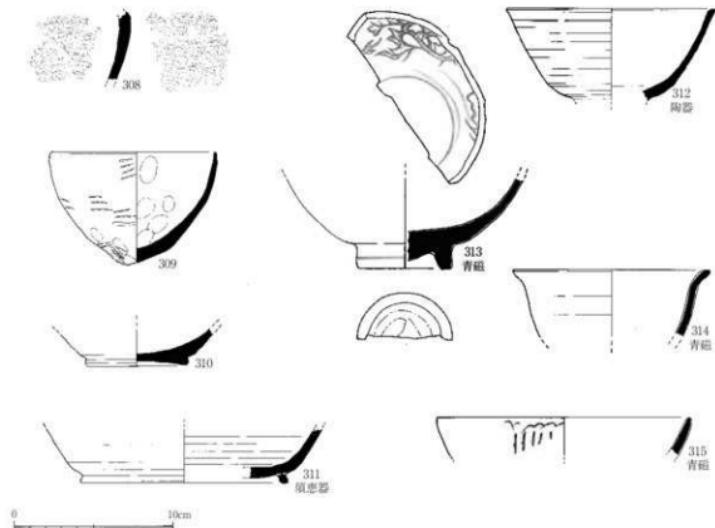


Fig. 39 林田地区包含层出土遗物 (S :1 / 3)

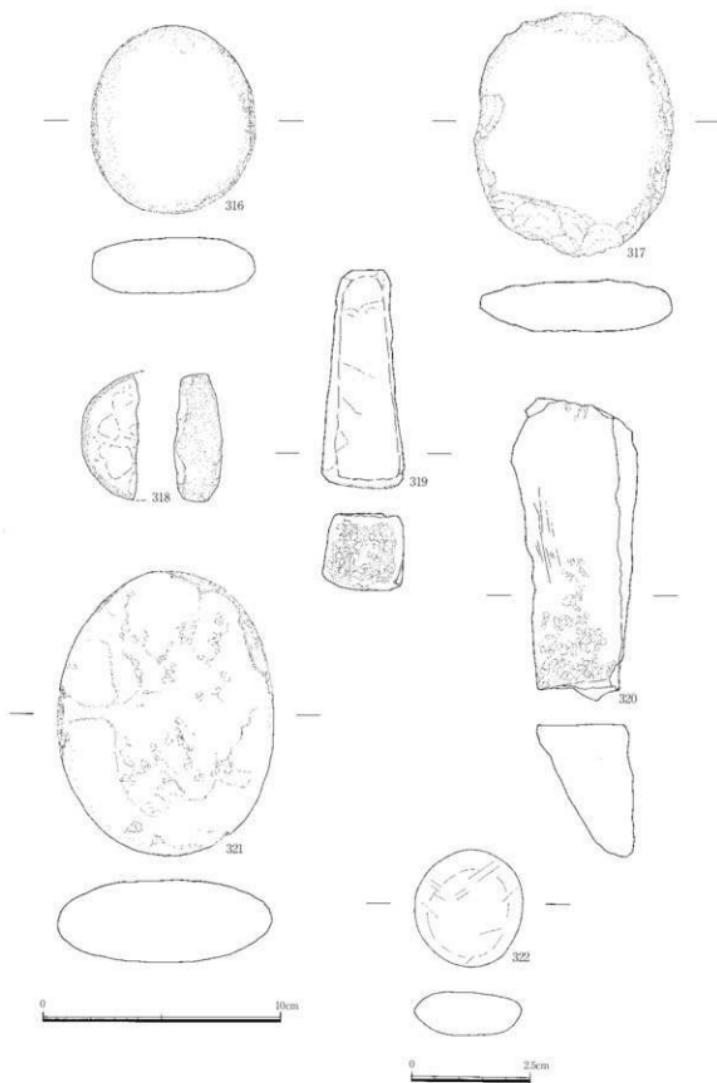


Fig. 40 林田地区ST 1、SD-N包含層出土遺物 (S : 1/2、1/1)

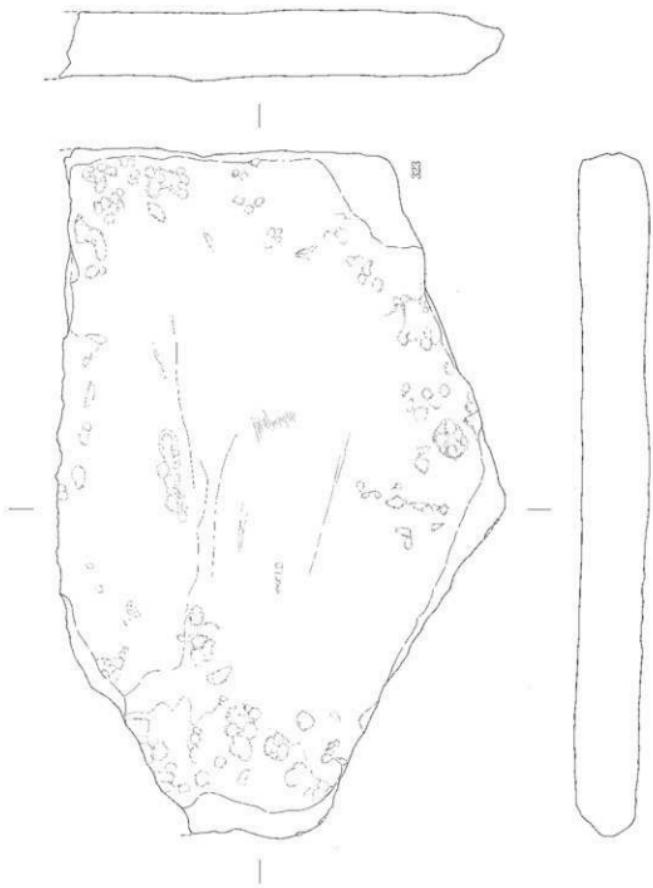


Fig. 41 林田地区ST 4出土遺物 (S : 1 / 2)

SX4 (Fig. 2)

調査区の中央部に位置する。平面形態は不整円形である。規模は長径2.80m、短径1.90mであり、検出面からの深さは4～8cmを測る。極浅い遺構である。遺構埋土は暗灰褐色土の単純一層である。痕跡は僅かであったがSX 4はSD 2に切られるものと判断した。出土遺物は土師器の胴部1点であり、図示できるものでは無い。

SX5 (Fig. 2)

調査区の中央部に位置する。平面形態は梢円形である。規模は長径1.74m、短径1.45mであり、検出面からの深さは12cmを測る。遺構埋土は暗灰褐色土であり、遺構壁は直立する。出土遺物は無い。

SX6 (Fig. 2)

調査区の南部に位置する。平面形態は円形である。規模は直径1.96mであり、検出面からの深さは24cmを測る。遺構埋土は灰褐色土である。SX 6はSD 8に切られる。出土遺物は無い。

SX7 (Fig. 33)

調査区の北部東寄りに位置する。平面形態は隅丸長方形である。規模は長辺3.44m、短辺3.16mであり、検出面からの深さは27cmを測る。遺構埋土は1. 暗褐色土、2. 暗灰色土の2層である。SX 7の各壁は緩やかな傾斜を有して皿状を成す。出土遺物は土師器5点、須恵器3点、土師質土器34点、瓦質土器3点、白磁1点、陶器1点の47点である。このうち図示したものは237から240の4点である。

SX8 (Fig. 2)

調査区の東端に位置する。平面形態は隅丸長方形である。規模は長辺1.96m、短辺1.10mであり、検出面からの深さは37cmを測る。西端で中世出自と考えられるピットと重複するが、新旧は明らかにすることができない。出土遺物のうち図示したものは土師質土器の壺1点(241)であり、他に坏体部4点がみられる。

SX9 (Fig. 2)

調査区の東部北端に位置する。平面形態は梢円形である。規模は長径2.10m、短径1.64mであり、検出面からの深さは17cmを測る。P368を含む数個のピットを切って存在する。出土遺物は土師質土器の壺底部1点、胴体部2点と床面で検出したピットから出土した坏体部3点である。この中に図示したものは342の壺底部1点である。

SX10 (Fig. 2)

調査区の北部に位置する。平面形態は梢円形を呈する。規模は長径2.54m、短径1.87mであり、検出面からの深さは20cmを測る。遺構埋土は暗灰褐色土である。出土遺物は土師器の壺胴部1点、土師質土器の胴体部3点・壺口縁1点・底部1点、細片5点である。

SX11 (Fig. 2)

調査区の東部に位置する。平面形態は不整形である。規模は長軸(南北)2.04m、短軸(東西)1.75mであり、検出面からの深さは15cmを測る。遺構埋土は中世出自のピット埋土と共通する灰褐色土である。尚、SX11はST 2の西側上位を破壊している。出土遺物として図示したものは土師質土器の壺底部2点(243・244)である。この他に土師質土器の胴体部2点と弥生土器の壺胴部1点が出土している。

SX12・13 (Fig. 2)

調査区の中央部に位置する。平面形態はSX12が不整方形であり、SX13が梢円形である。規模はSX12が一辺1.82m、検出面からの深さは29cmを測り、SX13が長径1.60m、短径1.30m、検出面からの深さが9cmを測る。SX12はその南北で中世出自とされるピットに切られる。出土遺物はSX12が須恵器の壺胴部1点、土師質土器の坏口縁1点・底部2点・細片2点、土錘1点であり、SX13は瓦質土器の鍋口縁1点・胴部3点、土師質土器の胴部4点、弥生土器の壺胴部1点である。このうち図示したものはSX12の土錘1点(245)とSX13の鍋口縁(246)である。

SX14 (Fig. 2)

調査区の西端に位置する。平面形態は梢円形であり、一部は調査区西壁に画される。規模は長径3.20m、短径2.90mであり、検出面からの深さは19cmを測る。出土遺物は土師質土器の坏底部1点・体部1点・細片12点、弥生土器の壺胴部1点であり、このうち図示できるものはない。

SD-N (Fig. 34)

調査区の東部北端に位置する。調査区の北側に存在したとされる久次土居城跡に係わる濠の可能性が高い。確認延長185mである。溝の南壁は急な傾斜を持ち、北側は調査区北壁に画されて溝の形態と本来の幅を明らかにすることはできなかった。溝は西端で大きく円弧を成して北側に向かうものと考えられる。濠の南西隅角部分と考えられ、底は浅く平らに仕上げられている。溝の堆積状況は水成によるものであり、停滯の環境が強い。溝内壁に沿って一部で石列が残されており、溝内からは多くの円礫が一列に並んだ状態で出土した。のことから、元々内壁に数段の石積みが施されており、溝の廃棄または機能縮小に伴って溝内へ石積みの円礫を落とし込んだか崩落したものであろう。

出土遺物は土師器2点、土師質土器25点、陶器17点、須恵器2点、白磁1点、磁器2点、土錘1点、叩石1点、砥石1点である。このうち図示したものは247から258の12点である。

表2 林田地区SD計測表

遺構 No.	規 模			出土遺物	備 考
	確認延長(m)	幅(cm)	深さ(cm)		
SD 1	54.3	42	15~5	土師質土器細片8点。弥生上器壺胴部2点	耕作に伴うものか部分的に深く掘削されている。
SD 2	14.3	42	15		
SD 3	66.7	45	24~15	弥生土器壺胴部1点・細片6点、土器器底底部1点(259)、須恵器壺胴部1点、土師質土器片割部1点	部分的に深く掘削される。
SD 4	57.9	44	23~16	弥生土器壺底部61点、須恵器胴体部2点、土師質土器底部1点(260)・体部1点	部分的に深く掘削される。
SD 5	34.8	43	17	弥生上器胴体部5点、土器器底底部1点(262)、土師質土器口縁1点(263)・底部4点(263・264)・側部2点	
SD 5-1	6.4	48	16	弥生土器器底12点、鐵製品釘1点	
SD 6	21.4	44	13	土師質上器底部1点(265)・側部3点	
SD 7	11.8	47	10	弥生土器壺胴部1点、土師質土器片1点	
SD 8	18.2	33	16		
SD 9	30.1	42	10	弥生土器壺胴部10点、須恵器口縁1点(268)・胴体部4点、土器器底部1点、土師質土器口縁2点(267)・底部(266)・側体部5点	堆土:暗灰褐色土
SD10	22.4	42	33~27		部分的に深く掘削される。
SD-W	10.5	108	8	土師質土器口縁7点(269)・底部(272・274・275)・側体部1点、瓦質土器胴体部4点	堆土:暗灰褐色土

表3 林田地区ピット計測表1

遺構 No.	規 模	平面形態	出土遺物	備 考	
				幅(㎝)	深 5 (㎝)
P13	54×54	26	不整方形	土師質土器杯体部1点	縦土；褐色土
P18	直径28	10	不整円形	土師質土器口縁1点	縦土；褐色土
P20	直徑34	16	不整円形	土師質土器杯体部1点・繩片2点	縦土；褐色土
P96	直徑33	12	円形	土師器壺底部1点	縦土；褐色土
P100	直徑23	11	円形	土師質土器口縁1点(273)・底底部1点・繩片5点・青磁焼体部1点	縦土；褐色土
P101	35×25	14	椭円形	土師質土器杯体部2点	縦土；褐色土
P105	直徑30	17	円形	土師質土器口縁1点	縦土；褐色土
P106	直徑15	8	円形	土師質土器繩片1点	縦土；深褐色土または黒色土
P136	直徑30	-	円形	土師質土器口縁1点(274)・底底部1点・土師器側部1点	縦土；深褐色土または黒色土
P137	直徑21	-	円形	土師質土器口縁1点	縦土；深褐色土
P139	直徑30	-	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；深褐色土
P141	直徑25	17	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；深褐色土
P142	直徑26	32	円形	土師質土器口縁底部1点(275)・底部1点	縦土；深褐色土
P144	直徑35	33	円形	土師質土器口縁1点2枚・底部2点	縦土；深褐色土(黄色砂を含む)
P147	直徑30	21	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；深褐色土
P149	直徑32	21	円形	土師質土器底部1点	縦土；深褐色土
P155	直徑30	35	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；深褐色土(円窓を含む)
P156	直徑36	-	円形	土師器壺底部1点	縦土；深褐色土または黒色土
P163	直徑35	31	円形	土師質土器底部2点・繩片3点	縦土；赤褐色土
P166	直徑29	21	円形	土師質土器底部1点・底部8点	縦土；赤褐色土
P182	43×36	19	椭円形	粘土器側部1点(276)	縦土；赤褐色土
P186	直徑26	16	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；赤褐色土
P190	直徑30	-	円形	土師質土器底部1点・底部1点	縦土；赤褐色土
P194	直徑23	16	円形	土師質土器繩片1点	縦土；深褐色土
P196	直徑36	-	円形	土師質土器杯体部1点	縦土；深褐色土
P197	直徑26	21	円形	土師質土器繩片4点	縦土；褐色土
P198	直徑31	20	円形	土師質土器口縁1点4枚・底部3点	縦土；赤褐色土
P199	直徑30	18	円形	土師質土器底部1点・底部1点	縦土；深褐色土
P201	直徑30	14	円形	土師器壺底部1点	縦土；深褐色土
P204	49×34	15	椭円形	土師質土器口縁1点	縦土；深褐色土
P221	直徑63	-	椭円形	土師質土器口縁1点2枚	縦土；赤褐色土
P222	44×41	26	不整方形	鉄製品	
P223	直徑36	9	円形	土師質土器口1点(277)	
P225	直徑32	21	円形	青磁碗底部1点(278)・土師質土器口縁1点(279)・底部1点・繩片2点	
P226	直徑28	23	円形	土師質土器口縁1点(280)・口縁1点・底部2点	底部のうち1点は蘆元気味の燒度を受ける。
P227	直徑32	20	円形	土師質土器口1点	
P228	直徑24	15	円形	瓦質土器底部1点	複形?
P229	45×35	20	椭円形	土師質土器繩片1点	
P231	直徑30	19	円形	土師質土器杯体部1点・繩片4点	
P232	直徑22	15	円形	土師質土器杯体部1点	
P233	直徑27	16	円形	土師質土器繩片1点	
P236	直徑22	15	円形	土師質土器杯体部1点	
P237	直徑26	21	円形	土師質土器口縁1点(281)・土師器繩片1点	
P239	直徑23	19	円形	土師質土器杯体部1点	
P240	42×33	-	椭円形	土師質土器口縁1点(282)・口縁1点・底部3点	
P241	直徑33	21	円形	土師質土器口1点・底部1点	
P242	直徑21	20	円形	土師質土器繩片2点	
P243	直徑28	17	円形	土師器壺底部1点・口縁1点	
P244	直徑22	18	円形	土師器壺部1点	
P245	105×65	11	椭円形	土師質土器杯体部1点・底部1点・繩片1点	
P246	73×60	13	椭円形	土師質土器口縁3点・底部2点・繩片2点	
P247	直徑25	16	円形	土師質土器杯体部1点・土師器側部1点	
P248	70×50	31	椭円形	土師質土器底部1点・繩片3点・土師器側部1点	
P249	45×30	22	椭円形	生土土器側部1点・鉢底部1点	
P250	直徑57	20	円形	土師器壺底部1点	P268出土遺物と複合
P251	直徑23	-	円形	生土土器側部1点	縦土；深褐色土または黒色土
P252	75×60	16	椭円形	土師質土器底部1点・底部2点	
P253	77×67	45	椭円形	土師質土器底部1点(283)・鉢体部2点・底部2点	
P254	直徑25	14	円形	土師質土器口縁1点・底部2点	
P255	直徑25	12	円形	土師質土器杯体部1点・鉄製品1点	
P256	直徑28	18	円形	土師質土器繩片4点	
P257	直徑32	15	円形	土師質土器繩片1点	
P258	直徑30	14	円形	磁器壺内側底部1点(284)・土師質土器繩片3点	
P259	直徑28	13	円形	土師質土器小皿2点(285・286)・口縁1点・口縁1点・底底部1点	縦土；深褐色土または黒色土
P260	直徑23	9	円形	土師器壺底部1点	縦土；深褐色土
P261	直徑24	16	円形	土師質土器杯体部1点・鉢石1点	
P262	直徑24	24	円形	鉄製品	
P263	直徑20	28	円形	土師質土器口縁1点・底部4点・鉢底1点・土師器側部1点	縦土；深褐色土
P264	直徑65	32	円形	土師質土器杯体部1点・底底部2点	縦土；深褐色土または黒色土
P265	直徑100	28	円形	土師器側部1点・土師質土器杯体部1点	

表4 林田地区ピット計測表2

造積 No.	風 横			出土遺物	備 考
	幅幅(cm)	深さ(cm)	平面形態		
P266	直幅28	21	円形	土師質土器环口縁1点(287)・外輪3点・环体部9点	
P268	直幅32	19	円形	土師質片1点	
P269	直幅39	-	円形	青磁碗口縁1点(288)	
P270	直幅13	-	円形	土師質土器环体部1点	
P271	直幅28	21	円形	土師質土器环体部2点	
P272	直幅25	16	円形	土師質土器环体部2点	
P273	直幅35	11	円形	白磁碗口縁1点(289)・土師質土器环底部1点・土師質片1点	
P274	直幅35	20	円形	土師質土器环体部1点	
P275	直幅27	16	円形	土師質土器环体部1点	
P276	直幅37	18	円形	土師質土器环底部1点	
P277	直幅27	-	円形	土師質土器环底部1点(290)・口縁1点・繩片2点	
P278	30×24	9	不整圓形	土師質土器环口縁1点	
P279	直幅30	14	円形	土師質土器環片1点	
P280	直幅30	15	不整圓形	土師質土器体部1点	
P281	33×30	15	椭円形	土師質壺底部1点・繩片1点・土師質土器体部2点	
P282	直幅44	19	円形	土師質土器環片1点	
P283	直幅32	19	不整圓形	土師質土器环口縁1点・体部1点	
P284	直幅32	23	円形	生牛土器環片1点・土師質土器环底部1点	
P285	88×60	28	不整圓形	生牛土器環底部1点(291)・側部1点	
P286	36	-	円形	生牛土器環底部2点・鉢底1点	
P287	直幅47	30	円形	土師質土器环体部1点	
P289	48×36	26	不整圓形	土師質土器体部1点・土師質土器环口縁1点	
P290	直幅44	19	円形	土師質土器環片2点	
P291	44×40	16	不整圓形	生牛土器環片1点	
P292	70×60	19	不整圓形	土師質土器環片2点	
P293	70×66	21	不整圓形	生牛土器環底部1点	
P294	直幅26	27	円形	生牛土器環底部2点	
P295	40×36	14	椭円形	土師質土器环口縁1点	
P296	42×40	20	不整圓形	土師質土器環底部1点	
P297	直幅34	16	円形	土師質土器环底部1点(292)	
P298	直幅32	-	不整圓形	土師質土器環片1点	
P300	116×94	8	椭円形	土師質土器環片1点	
P301	38×31	-	椭円形	土師質土器環片1点(293)	
P302	直幅36	-	不整圓形	土師質土器環片1点	
P303	36×29	-	椭円形	土師質土器環片1点	
P304	直幅45	13	椭円形	土師質土器環片1点	
P305	直幅35	-	円形	土師質土器環片6点	
P306	35×31	-	椭円形	土師質土器環片1点	
P307	直幅25	-	円形	土師質土器环底部1点・繩片1点	
P308	直幅44	13	円形	土師質土器环口縁1点	
P309	42×34	-	椭円形	生牛土器環片1点	
P310	36×33	-	椭円形	生牛土器環底部1点	
P311	直幅43	-	円形	生牛土器環底部1点	
P312	38×35	-	不整圓形	生牛土器環片2点	
P313	32×30	-	不整圓形	土師質土器環片1点	
P314	31×27	-	椭円形	土師質土器环口縁2点	
P315	直幅32	-	不整圓形	生牛土器環底部1点	
P316	直幅40	-	円形	土師質土器环体部2点	
P317	直幅32	-	円形	土師質土器環片3点・生牛土器環底部1点	
P318	40×33	-	不整圓形	土師質片1点	
P319	43×40	-	不整圓形	土師質土器環片3点	
P320	38×33	-	椭円形	土師質土器環片5点・石調片(チャード)	
P322	直幅39	-	円形	生牛土器環片1点・土師質土器环底部1点・石調片(泥岩)	
P323	45×40	16	不整圓形	土師質土器環底部2点	
P324	直幅34	11	不整圓形	土師質土器環片2点	
P325	95×92	14	不整圓形	土师質土器环体部1点・瓶底1点	
P326	直幅40	-	円形	土师質土器环底部1点・繩片3点	
P327	直幅28	-	不整圓形	土师質土器环口縁1点・瓶底1点	
P328	65×49	-	椭円形	灰化物	
P329	36×36	-	不整圓形	土师質土器环口縁1点(294)・体部1点・瓶底1点	
P330	39×36	-	椭円形	土师質土器环口縁1点	
P331	119×117	11	不整圓形	石調片	
P332	直幅30	-	円形	土师質土器環部3点	
P333	直幅41	-	不整圓形	土师質土器環部1点	
P334	直幅37	-	不整圓形	土师質土器环口縁2点	
P335	30×25	-	椭円形	土师質土器環底部1点	
P336	44×32	-	椭円形	土师質土器小皿1点(295)	
P337	直幅41	-	不整圓形	土师質土器環片1点・体部2点・铁製品1点	
P338	直幅23	-	円形	土师質土器環部1点	
P339	134×180	27	不整圓形	土师質土器環部1点	

表5 林田地区ピット計測表3

遺構 No.	規 模		出土遺物	備 考
	幅幅(cm)	深さ(cm)		
P340	34×28	-	梢円形	土師質土器環口縁1点
P342	直径23	-	不整円形	土師質土器底部1点
P343	32×27	-	梢円形	土師質土器底1縁2点、底部3点、繩片2点
P344	直径37	-	円形	土師質土器底部1点、炭化物
P345	直径32	-	円形	土師1点
P346	55×49	26	不整梢円形	土師質土器底1縁1点、底部1点
P347	直径36	-	不整円形	土師質土器底1縁1点、底部1点
P348	直径34	-	不整円形	土師質土器底部1点
P349	28×21	-	梢円形	土師質土器底1点 (296)
P350	43×41	-	不整円形	陶器要解1点
P351	直径41	16	円形	土師質土器縁1点
P352	44×40	14	不整円形	土師質土器底部1点
P353	43×43	20	不整方形	再生土器底1点、土師質土器底部1点
P354	直徑37	20	円形	土師質底部1点 (297)
P355	40×30	18	梢円形	土師質1縁1点
P356	直徑38	16	不整円形	土師質土器底片1点
P357	直徑34	15	梢円形	石調片(砂岩)
P358	直徑27	-	円形	土師質土器底部1点
P359	48×44	16	梢円形	土師質土器底部1点
P360	直徑193	45	不整円形	土師質土器底部1点
P361	直徑36	16	梢円形	土師質土器底1縁1点
P362	直徑32	10	円形	土師質底部1点
P363	直徑42	30	円形	土師質土器底1縁1点
P365	直徑38	20	円形	土師質土器底部1点、底部1点
P367	45×38	-	梢円形	再生土器底部1点
P368	39×34	-	梢円形	土師質土器底片2点、陶器片1点(堅厚L或底)
P369	37×31	-	梢円形	土師質土器底部1点
P370	43×39	-	梢円形	陶器底片1縁1点 (299)・底部1点 (298)
P371	54×36	-	不整方形	土師質土器底1縁1点 (300)・1縁2点、底部5点
P372	39×24	-	梢円形	土師質底部1点
P373	直徑38	-	不整円形	土師質土器底部1点
P374	直徑33	-	不整円形	土師質土器底1縁1点
P375	57×41	-	梢円形	青磁底片1点 (301)
P376	直徑36	-	円形	鉄製品1点
P377	直徑35	-	円形	鉄製品1点
P378	直徑37	-	円形	土師質土器底部1点、繩片2点
P379	74×70	32	不整方形	土師質土器底1縁1点、底部2点
P380	34×30	-	梢円形	土師質土器底1縁1点 (302)
P381	直徑40	-	梢円形	石調片(チャート)・土師質土器底1点 (303)
P382	30×25	-	梢円形	土師質土器底1縁1点、底部1点、底部1点
P383	53×43	-	梢円形	陶器底片1点
P385	74×65	14	梢円形	円錐
P387	29×25	-	梢円形	土師質土器底1縁2点、底部1点
P388	直徑34	-	円形	土師質土器底部1点 (304)・土師質底1点
P389	直徑40	-	不整円形	土師質土器底部1点 (305)
P390	34×28	-	梢円形	土師質土器底部1点
P391	32×28	-	不整梢円形	土師質土器底部1点
P392	直徑36	-	円形	土師質土器底部1点
P393	42×34	-	不整円形	再生土器底1点、土師質土器底1縁1点
P394	50×40	12	梢円形	土師質土器底部1点
P395	50×47	26	不整円形	土師質土器底部1点、鉄製品先端
P396	直徑33	17	不整円形	土師質底部1点、土師質土器底1縁1点、底部9点
P397	41×34	16	梢円形	土師質底部1点
P398	直徑15	7	円形?	土師質1縁1点 (306)・土師質土器底部1点 (307)
P399	直徑42	22	円形	土師質土器底片6点
P400	直徑23	13	円形	土師質土器底1縁1点、底部2点、底部1点
P401	35×32	22	梢円形	土師質土器底部1点
P402	43×36	20	梢円形	土師質底部1点
P403	直徑30	11	円形	土師質土器底部1点
P404	28×16	7	円形?	炭化物
P405	直徑30	19	円形	土師質土器底部2点
P406	53×42	16	円形	炭化物
P407	直徑32	18	円形	土師質土器底部1点、底部1点、繩片2点
P408	直徑38	17	円形	炭化物
P409	(38)×32	15	梢円形	土師質土器底部2点
P410	直徑40	16	円形	土師質土器底1縁1点、繩片2点
P411	直徑40	21	円形	再生土器底1点、土師質土器底1縁1点
P412	直徑36	17	円形	土師質土器底1縁2点、繩片2点
P413	98×67	20	梢円形	土師質1点

表6 林田地区遺物観察表1

Fig No.	遺物 No.	出土地点 通構 地 番	形種 形形	部位	法量 (cm)	内面 (縦高 横幅 剥離)	等 価	色 調			備考
								内面	外面	底土	
7 1	ST 1	4	共生土器	變	口頭部	204	75	-	-	7SYR6-6	7SYR6-6 に赤い黄 2SY6/3
7 2	ST 1	4	共生土器	變	口頭側部	109	82	114	-	10YR7/4 に赤い黄 7SYR7/4	7SYR7/4 に赤い黄 5YS-1 側部中位外面 に塗付有
7 3	ST 1	4	共生土器	變	口頭部	154	86	-	-	10YR6-3 に赤い黄 10YR7/4	10YR6-3 に赤い黄 7SYR7/4 暗灰 ND/
7 4	ST 1	4	共生土器	變	頭部	-	48	-	-	明赤褐色 5YR5-6	明赤褐色 10YR5/4 に赤い黄
7 5	ST 1	4	共生土器	變	口縁	126	66	-	-	7SYR7/6	7SYR7/6 灰 5YS-1
7 6	ST 1	3,4	共生土器	變	口頭部	174	91	173	-	7SYR6-4 に赤い黄 10YR5/4	7SYR6-4 に赤い黄 10YR5/4 外側頭部中上 位に塗付有
7 7	ST 1	3,4	共生土器	變	口頭部	144	61	-	-	10YR7/4 に赤い黄 10YR7/4	10YR7/4 に赤い黄 5YS-1
7 8	ST 1	4	共生土器	變	口頭部	162	92	-	-	7SYR7/6	7SYR7/6 に赤い黄 10YR7/4 側部中位外面 に塗付有
7 9	ST 1	2,3,4	共生土器	變	口頭部	166	95	-	-	7SYR6-4 に赤い黄 10YR6-4	7SYR6-4 に赤い黄 5YS-4
7 10	ST 1	4	共生土器	變	口頭側部	164	131	171	-	10YR7/4 に赤い黄 10YR7/4	10YR7/4 に赤い黄 5YS-1 側部外面の一 部に塗付有
7 11	ST 1	4	共生土器	變	口頭部	149	82	-	-	7SYR7/4 に赤い黄 7SYR7/4	7SYR7/4 に赤い黄 5Y4/1
8 12	ST 1	4	共生土器	變	口縁	-	56	-	-	7SYR6-6 に赤い黄 7SYR6-6	7SYR6-6 灰 5VS-1
8 13	ST 1	4	共生土器	變	口頭部	280	90	-	-	2SYR6-6 に赤い黄 2SYR6-6	2SYR6-6 に赤い黄 2SY6/4
8 14	ST 1	4	共生土器	變	-	86	93	99	07	5YR6-6 に赤い黄 5YR6-6	5YR6-6 に赤い黄 10YR6/4
8 15	ST 1	4	共生土器	變	-	49	82	72	-	10YR6-4 に赤い黄 7SYR7/6	10YR6-4 オーリーブ 10Y3/1
8 16	ST 1	4	共生土器	變	底部	-	52	-	06	7SYR6-4 に赤い黄 7SYR6-4	7SYR6-4 灰 5VS-1
8 17	ST 1	3	共生土器	變	口頭部	124	66	113	-	5YR6-8 に赤い黄 5YR6-8	5YR6-8 に赤い黄 10YR6/4

表7 林田地区遺物觀察表2

表8 林田地区遺物觀察表3

番号	遺物 No.	出土地点 遺跡地名	形種	形態	部位	法長 (cm)	幅高 側厚	底径	特徴		色調	備考	
									内面	外面			
10	38	ST1	2,3,4	喬生土器	甕	底部	-	136	-	40	内面(側)ハケの内側へ凹面(側)タキのちハケ↓下段ではハケが卓立する。(底)タキ底部は底盤は低い平底で、側部に内縁で外上方に立上る。	に赤い黄澄 10YR6/4	白 5SY5/1
10	39	ST1	4	喬生土器	甕	底部	-	38	-	28	内面ナガ・押付痕・外面ヘラナデ 底部は少し使い底。側部は外上方に立上がる。	に赤い橙 10YR6/4	に赤い黄澄 10YR6/3 2SYR5/1
10	40	ST1	4	喬生土器	甕	底部	-	38	-	37	内面ナガ・押付痕・外面タキのちハケ↑(底) タキ底部は底盤は低い平底、側部に内縁で外上方に立上る。	に赤い橙 10YR6/4	に赤い水素 7SYR6/4 10YR5/1
10	41	ST1	4	喬生土器	甕	底部	-	39	-	37	内面(底)ナガ・押付痕・外面(側)上上がりタキ 底部は低い平底。	に赤い黄澄 10YR7/4	黒灰 7SYR3/1 2SY4/1 外面部に偏
10	42	ST1	4	喬生土器	甕?	底部	-	35	-	12	内面(底)押付痕・外面(側)タキのちナガ:丁寧に仕上げる。 側部は内縁で立上がる。	黒灰 5SYR5/1	灰黒 7SYR5/2 灰黒 10YR4/2
10	43	ST1	3	喬生土器	甕	底部	-	55	-	28	内面(底)ハケの内側へ凹面(側)上上がり ナガタキ(底)→往復痕 底部は低い平底。側部には不明跡。	に赤い橙 7SYR6/4	に赤い黄澄 7SYR6/4 10YR7/4
10	44	ST1	2,3	喬生土器	甕	底部	-	62	-	28	内面(底)ハケの内側へ凹面(側)上上がりナガタキのちハケ?	橙 7SYR6/6	橙 5SYR5/2
10	45	ST1	2,3	喬生土器	甕	底部	-	51	-	28	底部は低い平底で凸面を成す。側部は直線的に外上方に立上がる。	に赤い橙 7SYR5/4	に赤い水素 7SYR5/4 10YR5/4
10	46	ST1	3	喬生土器	甕	底部	-	74	-	31	内面(側)ハケの内側指痕ナガタキ? 底部は低い平底で凸面を成す。側部は内縫に外上方に立上がる。	黄灰 2SY4/1	に赤い橙 7SYR7/4 灰 5SY5/1
10	47	ST1	2	喬生土器	甕	底部	-	39	-	28	内面(底)ナガタキ・外面(側)ハラナデ・ヘラナデ(底)ナガタキ 底部は低い平底で凸面を成す。側部は内縫に外上方に立上がる。	に赤い黄澄 10YR7/4	に赤い黄澄 10YR6/4 灰 5SY5/1
10	48	ST1	2	喬生土器	甕	底部	-	48	-	28	内面(底)ナガタキ・外面(側)リキのちハケ(底) タキ 底部は低い平底で凸面を成す。側部は内縫に外上方に立上がる。	に赤い橙 7SYR6/4	に赤い水素 2SY5/2
II	49	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	144	130	-	14	内面(1)ヨコナガ・左にヨコナガ(ハラ)ナガタキ 押付痕・外縁(側)上上がりタキ 側部の左から1段目は直線的に外反する。口唇は外縫で左から右縫で右に開き、内縫で右縫で左に開き。	に赤い橙 7SYR5/4	に赤い水素 5SYR5/4 10YR5/2
II	50	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	218	27	-	14	口縁は左反しで斜面上に立上がる。口唇は断続三角形の船型上唇で外縫に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	明赤褐 5SYR5/6	橙 5SYR6/6 2SY5/3
II	51	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	182	26	-	14	内面(1)ヨコナガ・外縫(1)ヨコナガ(1)ハラ 内縫(1)ヨコナガ・特有の縫合(側)上上がりタキ 口縫は左反しで斜面上に立上がる。口唇は船型の舟形上唇で外縫に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	橙 5SYR7/6	に赤い橙 5SYR7/4 10YR6/1
II	52	ST1	3,4	喬生土器	甕	口縁部	188	70	-	14	内面(1)ヨコナガ(1)ハケの内側ミガキ 外縫(1)ヨコナガ(1)ナガタキ(1)テラハケのちハセミガキ 内縫は直縫で外上方に立上がる。側・筋縫の後1段目はやや反しで斜面上に立上がる。11唇は各所に斜めの凹溝を成す。底口唇。	明赤褐 5SYR5/6	に赤い水素 5SYR5/4 灰黒 10YR5/2
II	53	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	174	77	-	14	内面(1)ハケの内側ミガキ 外縫(1)ヨコナガ(1)ハラナデ 内縫(1)ヨコナガ(1)テラハケのちハセミガキ 内縫は直縫で外上方に立上がる。側・筋縫の後1段目はやや反しで斜面上に立上がる。11唇は各所に斜めの凹溝を成す。底口唇。	橙 5SYR6/6	に赤い橙 7SYR7/3 オリーブ墨 5SY5/2
II	54	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	212	56	-	14	内面(1)ハラナデ・外縫(1)ヨコナガ(1)ナガタキ 内縫は直縫で外上方に立上がる。11唇は外縫するを成す。外縫で左から右に開く。口唇は横に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	橙 5SYR6/6	橙 7SYR6/6 2SY5/6
II	55	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	187	23	-	14	内面(1)ナガタキ 外縫(1)ヨコナガ(1)ナガタキ 内縫は直縫で外上方に立上がる。11唇は外縫するを成す。外縫で左から右に開く。口唇は横に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	灰 5Y4/1	橙 7SYR7/6 黄灰 2SY5/1
II	56	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	182	50	-	14	内面(1)ヨコナガナデ・外縫(1)ヨコナガ・テラハラナデヘラナデ 内縫は直縫で外上方に立上がる。11唇は内縫するを成す。外縫で左から右に開く。11唇は外縫するを成す。外縫で左から右に開く。口唇は横に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	に赤い橙 7SYR7/4	に赤い橙 5SYR6/4 灰 5SY6/1
II	57	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	[209]	60	-	14	内面(1)ヨコナガナデ 外縫(1)ヨコナガ(1)タカハナケ 内縫は直縫で外上方に立上がる。一次底盤部は外縫で左から右に開く。口唇は横に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	橙 5SYR7/6	橙 5SYR7/6 10YR7/4
II	58	ST1	4	喬生土器	甕	口縁部	252	33	-	14	内面(1)ヨコナガナデ 外縫(1)ヨコナガ(1)タカハナケ 内縫は直縫で外上方に立上がる。一次底盤部は外縫で左から右に開く。口唇は横に斜めに立ち高く肥厚する。底盤は直角内凹の直立する面を成す。底口唇。	に赤い橙 5SYR6/4	橙 5SYR6/6 灰 7SY5/1

表9 林田地区遺物観察表4

遺物 No.	出土点 遺構	地層	器種	形態	部位	法長 (cm) 口径 高さ 側径 底径	特徴	特徴		色調			備考	
								内面	外面	底土				
II 59	ST1	4	佛生土器	壺	口縁	238	50	-	-	内面(II)ヨコナギ 外面(II)タケナハ 口縁は二次側で直彎的に打ち上方に立上がる。 II部は内面を直すを成す。側部は断面直角形状 である。	に赤+黄橙 10YR6/4	褐灰 7.5YR5/1	灰黄 2.5Y5/1	輸入品?
II 60	ST1	4	佛生土器	壺	口縁	-	53	-	-	内面(II)ハラミキ、接着部は右上よりのハ ク(裏上)ハク。外面(II)ハラミキヨコナギ、ハ ク状工具による波状の凹紋(膜上)タケナケのち ヨコナギ。 内面は直すを成す。口縁下端部は三形の突起を有す。斜板 状折子状は内装工具舟口4つを用いて斜面に刻む。 底盤系。	褐 7.5YR7/6	褐 2.5YR7/6	黄灰 2.5Y6/1	
II 61	ST1	2,3	佛生土器	壺	口縁	214	185	-	-	内面(II)ハラミキ、接着部は右上よりのハ ク(裏上)ハク。外面(II)ハラミキヨコナギ、ハ ク状工具による波状の凹紋(膜上)タケナケのち ヨコナギ。	に赤+黄橙 10YR7/4	褐 7.5YR7/6	灰 5Y5/1	表面の剥落が 激しい。
II 62	ST1	3	佛生土器	壺	口縁	323	31	-	-	内面(II)ヨコハラミキのちヨコナギ、二次側との 接着部に難ナギ。外面(II)ヨコナギ。 II部は外側で大口幅、側部は丸い形を有す。 内面は内面を直すを成す。外側は外側を削る 面を成す。外側に肥厚する。底盤系。	に赤+棕 2.5Y9/4	に赤+棕 2.5Y9/4	黄灰 2.5Y5/1	
II 63	ST1	3	佛生土器	壺	口縁	-	70	-	-	内面(II)ヨコハラミキのちヨコナギ、二次側との 接着部に難ナギ。 II部は外側で反して大きめく、底盤は丸 い形を有す。内面は二次側底部から内側へ立上 がる。結合口縁部。二共撫の接着部分にハサ 状の鋸刃。	に赤+黄橙 10YR7/4	褐 7.5YR6/6	灰黄褐 10YR6/2	
II 64	ST1	3	佛生土器	壺	口縁	209	38	-	-	内面ハラミキのちヨコナギ。外縁左上からハサ のちヨコナギ。 II部は外側で反し左方に立上がる。II部は外側 は内面を削る面を成す。外側でやや肥厚する。 結合口縁。	に赤+黄橙 10YR7/4	褐 3YR7/6	に赤+黄橙 10YR7/3	
II 65	ST1	3	佛生土器	壺	口縁部	-	60	-	-	内面(II)ヨコヘリタキ。浅い凹面(裏上) ハク。外面(II)上口テクテクハケ(II)左上がり縁(ハ ケ)。のち一部ヨコナギ。 II部は外側の上方に立上り削除して広がる が、底盤部の外側に断面直角の突起を貼付し てII部と小口より内側に刻む。	に赤+黄橙 10YR7/4	に赤+棕 2.5YR7/4	灰黄褐 10YR5/2	
II 66	ST1	2	佛生土器	壺	口縁	162	27	-	-	内面(II)ヨコナギ。外面(II)ヨコナギ(II)タケナハ (II)タケナ。	に赤+棕 2.5Y9/4	に赤+棕 2.5Y9/4	灰 5Y4/1	
II 67	ST1	2	佛生土器	壺	口縁	240	32	-	-	内面(II)ヨコナギ。外面(II)ヨコナギ。 II部は外側で反して斜面上方に立上がる。II 部は内側を削る面を成す。外側でやや肥厚する。 底盤系。	に赤+棕 2.5YR7/4	に赤+黄橙 10YR7/4	黄灰 2.5YR6/1	
II 68	ST1	2	佛生土器	壺	口縁部	120	59	-	-	内面(II)左上がりハケ(左上がりハケ) 外面 (II)タケナハ(左上テクテクハケ)のちヨ コナギ。 頭部は直しで縁は外反して外側に立上 がる。II部は外側に断面直角の突起を貼付 して肥厚する。底盤部は外側に削除する を成す。	褐 5YR6/6	褐 5YR6/6	黄褐 2.5Y5/3	
II 69	ST1	2	佛生土器	壺	口縁	252	14	-	-	内面(II)ヨコナギ。外面(II)ヨコナギ(II)タ ケナ。	に赤+棕 2.5YR6/4	に赤+棕 2.5YR6/4	灰 5Y4/1	始土は比較的 暗め
II 70	ST1	2	佛生土器	壺	口縁	255	38	-	-	内面(II)ヨコナギ(II)タケナハ 外面(II)ヨコ ナギ(II)タケナ。	に赤+黄橙 10YR6/3	褐 3YR6/6	灰 2.5Y5/1	
II 71	ST1	4	佛生土器	壺	底部	-	24	-	5.5	内面(II)ナギ。外面(II)ハケ 底盤はやや突出し広い底盤を成す(傾いた底)。 頭部は上方に立上がる。	褐 7.5YR6/5	褐 3YR6/6	褐 7.5YR6/6	
II 72	ST1	4	佛生土器	壺	底部	-	38	-	6.2	内面(II)ナギ。外面(II)ハケ(ナギ)タ ケ。底盤はやや広い底盤。頭部は外上方に立上がる。	に赤+棕 2.5YR6/4	に赤+棕 2.5YR6/4	暗灰黄 2.5Y5/2	
II 73	ST1	4	佛生土器	壺	底部	-	32	-	6.5	内面(II)ナギ。直柱直。外面(II)タケナハ (II)ハケ。 底盤はやや広い底盤。頭部はやや丸味を持つ。頭部 は外斜方に開く。	明赤褐色 5YR5/6	明赤褐色 5YR5/6	1.5Y5/4 1.5Y5/4	
II 74	ST1	2,3,4	佛生土器	壺	底部	-	56	-	10.0	内面(II)ハラミキ(膜上)ナギ。外面(II)タ ケ。 底盤はやや平底。頭部はやや不明瞭。	褐 7.5YR6/6	褐 7.5YR6/6	灰黃 2.5Y6/2	
II 75	ST1	3,4	佛生土器	壺	底部	-	96	-	9.8	内面(II)ハラミキ。外面(II)ヘラミキヤ 底盤は広く瘤やかな凸面を成す。丸孔を備く底 盤。	に赤+黄橙 10YR7/4	褐 7.5YR6/6	灰白 5Y7/1	
II 76	ST1	3	佛生土器	壺	底部	-	53	-	4.8	内面(II)ハラミキのちナギ。外面(II)ハ ク(膜上)ハク。 底盤はやや狭い底盤。頭部は直柱的の外斜上方 に立上がる。	褐 7.5YR6/6	褐 7.5YR6/6	灰 2.5Y6/1	
II 77	ST1	3	佛生土器	壺	底部	-	64	-	6.0	内面(II)ナギ。外面(II)タケナハ 底盤は平らな面を成す。頭部は外斜上方に立上 がる。	に赤+黄橙 10YR7/4	褐 7.5YR6/6	灰 10YR5/1	
II 78	ST1	2	佛生土器	壺	底部	-	45	-	5.8	内面(II)ナギ。外面(II)タケナハ 底盤は内面で外斜上方に立上がる。	明黄褐 10YR7/6	明黄褐 10YR6/4	黄褐 2.5Y5/3	

表10 林田地区遺物觀察表5

Flag No.	遺傳子 No.	出土地点	遺傳者	器形	部品	13種	新高	解説	裏地	量 (cm)		等 離		色 調		備考	
										内面	外面	内面	外面	内面	外面		
13	79	ST1	3,4	出生土器	鉢	口部	17.0	66	-	内面ナデ ⁽¹⁾ 一部は縦文風のミガキ ⁽²⁾ 外面 (1)ヨコナデ ⁽³⁾ 体タキ ⁽⁴⁾ 体部から(1)は縦に斜めで上方に立上がる。13種 は丸く気泡に丸く彫める。	概 10YR6-6	概 7.5YB6-6	灰黄 25Y6-2				
13	80	ST1	3,4	出生土器	鉢	-	19.4	67	-	内面(1)ヨコナデ(横タキ) ⁽⁵⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁶⁾ (体)右上がり縦文風タキ ⁽⁷⁾ 体部は(1)は縦に斜めに 斜めに立上がる。(1)は縦に斜めに立上がる。 外側は丸く彫る。(1)は丸く彫める。体部は丸く彫る。 外側は丸く彫る。各輪筋付近に立上がり。 13種は丸く彫る。	にひい緑 7.5YR7-7	にひい緑 7.5YR7-4	灰 5Y4/1				
13	81	ST1	4	出生土器	鉢	-	11.5	47	-	内面(1)左上から縦線ハケ ⁽⁸⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁹⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出す。体部から(1) は直線的に外方に立ち上がり、13種は丸く彫 る。内側で立上がり。(1)は中央の窓の左だ根ね外 縁を削るを成す。一部では丸く彫める。縦捨さ れた船。手形の模。	概 5YR6-6	概 5YR6-6	灰 5Y5/1				
13	82	ST1	4	出生土器	鉢	-	12.6	77	-	内面ナデ ⁽¹⁰⁾ 外面(1)～(8)タキ ⁽¹¹⁾ のちヘナ ⁽¹²⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出す。体部から(1) は直線的に外方に立ち上がり、13種は丸く彫 る。内側で立上がり。(1)は中央の窓の左だ根ね外 縁を削るを成す。一部では丸く彫める。縦捨さ れた船。手形の模。	にひい緑 7.5YR6-6	にひい緑 7.5YR6-4	灰 5Y4/1				
13	83	ST1	4	出生土器	鉢	-	13.2	80	-	内面(1)ヨコナデ ⁽¹³⁾ 体タキ ⁽¹⁴⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽¹⁵⁾ (体)右上がり縦文風タキ ⁽¹⁶⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出 す。内側で立上がり。(1)は中央の窓の左だ根ね外 縁を削るを成す。一部では丸く彫れる。	にひい緑 7.5YR6-4	にひい緑 7.5YR6-4	青黒 5G2/1	外面上に大きな 黒斑			
13	84	ST1	2,3,4	出生土器	鉢	-	10.7	72	-	内面(底)ヨコナデ ⁽¹⁷⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽¹⁸⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出する。体部から(1) は直線的に外方に立ち上がり、13種は丸く彫 る。13種は内削れの丸底を持った面に成る。 輪乳。	明赤褐 5YR5-6	概 5YR6-6	灰 5Y4/1				
13	85	ST1	4	出生土器	鉢	口縁	8.0	27	-	内面(1)左上がりヘナ ⁽¹⁹⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽²⁰⁾ (体)左上がりヘナ ⁽²¹⁾ 13種は(1)は直線的に外方に立上 る。13種は外削れの平底で、凹面を出す。器壁は薄く、 丁寧に削る。	概 7.5YR7-6	概 7.5YR7-6	灰 7.5Y4/1				
13	86	ST1	4	出生土器	鉢	口縁	-	19	-	内面(1)ヨコナデ ⁽²²⁾ 体タキ ⁽²³⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽²⁴⁾ (体)右上がりヨコナデ ⁽²⁵⁾ 13種は(1)は直線的に外方に立上 る。13種は内削れして立上がる。13種は(1)は平 らな底成形に外すを認める。浅めの舟形。	概 7.5YR6-6	にひい緑 7.5YR6-4	灰 5Y4/1				
14	87	ST1	4	出生土器	鉢	口縁	20	39	-	内面(1)ヨコナデ ⁽²⁶⁾ 体タキ ⁽²⁷⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽²⁸⁾ 体部は内削れで立上がる。13種は(1)は直線でやや急に曲 がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 5YR6-6	概 2.5YR6-6	にひい緑 7.5YR5-4				
14	88	ST1	4	出生土器	鉢	-	10.1	92	99	内面(1)ヨコナデ ⁽²⁹⁾ 体タキ ⁽³⁰⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽³¹⁾ (体)右上がりヘナ ⁽³²⁾ 13種は(1)は直線でやや急に曲 がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	にひい緑 7.5YR7-4	にひい緑 7.5YR7-4	にひい・青黄 10YR7-3	内面に赤色 單色			
14	89	ST1	4	出生土器	鉢	腹底部	-	76	-	内面(1)ヨコナデ ⁽³³⁾ 体タキ ⁽³⁴⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽³⁵⁾ 体部は内削れで立上がる。13種は(1)は直線でやや急に曲 がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	にひい・青黄 10YR6-4	概 5YR6-6	灰オーラブ 5Y6/2	北部の一部に 煤化帯			
14	90	ST1	4	出生土器	鉢	口縁	7.6	26	-	内面(1)ヨコナデ ⁽³⁶⁾ 体タキ ⁽³⁷⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽³⁸⁾ (体)右上がりヘナ ⁽³⁹⁾ 13種は(1)は直線でやや急に曲 がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	にひい・青黄 10YR5-2	概 5YR6-6	灰 7.5Y4/1				
14	91	ST1	4	出生土器	鉢	底部	-	24	-	内面ハケ ⁽⁴⁰⁾ 外面ハケ ⁽⁴¹⁾ 体タキ ⁽⁴²⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁴³⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出する。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 7.5YR6-6	にひい緑 7.5YR6-4	灰黄 25Y5/1				
14	92	ST1	4	出生土器	鉢	底部	-	32	-	内面(1)ヨコナデ ⁽⁴⁴⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁴⁵⁾ 体タキ ⁽⁴⁶⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁴⁷⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出する。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 7.5YR7-6	概 7.5YR7-6	灰 10YR7-4				
14	93	ST1	4	出生土器	鉢	底部	-	28	-	内面(1)ヨコナデ ⁽⁴⁸⁾ 体タキ ⁽⁴⁹⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁵⁰⁾ 体タキ ⁽⁵¹⁾ (体)右上がりヘナ ⁽⁵²⁾ 13種は(1)は直線でやや急に曲 がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 5YR6-6	概 5YR6-6	黄褐 25Y5/3				
14	94	ST1	4	出生土器	鉢	底部	-	30	-	内面(1)ヨコナデ ⁽⁵³⁾ 体タキ ⁽⁵⁴⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁵⁵⁾ 体部は(1)は平底で、凹面を出する。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 5YR6-6	概 5YR6-6	灰 25Y5/1				
14	95	ST1	4	出生土器	鉢	底部	-	31	-	内面(1)ヨコナデ ⁽⁵⁶⁾ 体タキ ⁽⁵⁷⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁵⁸⁾ 体タキ ⁽⁵⁹⁾ 体部は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	にひい・青黄 10YR5-2	概 7.5YR6-6	灰 25Y5/1				
14	96	ST1	2,3	出生土器	鉢	-	12.6	73	-	内面(1)ヨコナデ ⁽⁶⁰⁾ 体タキ ⁽⁶¹⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁶²⁾ 体タキ ⁽⁶³⁾ 体部は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	にひい・青黄 5YR5-4	にひい・青黄 5YR5-4	にひい・青黄 7.5YR6-4				
14	97	ST1	3	出生土器	鉢	-	12.1	86	-	内面(1)～(64)と同様にして(1)ヨコナデは左上よりハ ラ ⁽⁶⁵⁾ ナデ ⁽⁶⁶⁾ 体タキ ⁽⁶⁷⁾ 外面(1)ヨコナデ ⁽⁶⁸⁾ 体タキ ⁽⁶⁹⁾ 13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直線でや や急に曲がる。13種は(1)は直線でやや急に曲がる。13種は(1)は直 線で立上がる。體壁をよく仕上げる。	概 7.5YR7-6	概 7.5YR7-6	灰 5Y5/1				

表11 林田地区遺物觀察表6

登録No.	建物	出土地点	遺物種別	部品	部位	数量 (個)		特徴	色調			備考	
						1個	取扱		内面	外面	基盤		
14	98	ST1	3	出生土器	鉢	口縁	84	49	内面(1)ヨコナダ(刷毛)ハバのちタナダ 底面(1)口部曲面に及ぶヨコゴケ(刷毛)タナケ 腹部は内側気泡に上方に立ち上がり、口縁は縮むかで内側が引き立つ。脚部は立上る。 縦縞は内側に走る。	桜 5YR6/6	桜 5YR6/6	灰 10Y3T/4	に赤い黄青
14	99	ST1	3	出生土器	鉢	底部	-	34	内面(1)ヨコナダ(刷毛)ハバのちタナダ 底部は内側に突出した手平を成し、點々と瘤部に 盛り上がる。	黄灰 2SY4/1	暗灰黄 2SY5/2	暗灰黄 2SY5/2	底部外側に黒斑
14	100	ST1	3	出生土器	鉢	底部	-	36	内面(1)ヨコナダ(刷毛)外縁(側面)テナヘヨナダ 京阪底部はヨコゴケ 腹部は灰(気泡)の狭い腰で横・凸面を成す。 体部は立上りで外方に立上る。縦縞は細い かくら線の広きから腹に走る。	浅黄褐 7SY2B6/6	桜 7SY3T/6	灰 7SY4/1	底部外側に黒斑
14	101	ST1	2	出生土器	鉢	口縁	150	48	内面(1)ヨコナダ(体)左上部にハタケ(刷毛)外縁 (1)ヨコナダ(刷毛)ハバのちタナダ 体部から口縁は斜めに内側に立上がる。口 縫は肥厚した丸く移る。ボウル形。	灰 7SYR6/2	に赤い黒 7SYR6/3	灰 7SYR6/4	に赤い黒
14	102	ST1	2	出生土器	鉢	-	68	50	内面(1)左上部がハバ(体)刷毛ナダ、神奈軸 外縁ナダ、押正軸 腹部は内側に立上る。腰部は直立する。 内面(1)は外側又は直立する面を成す。中央は むちむち。第V式様。	桜 5YR6/6	に赤い桜 7SYJ7/4	に赤い桜 7SYJ6/4	に赤い桜
14	103	ST1	3,4	出生土器	高环	底盤	200	52	内面(1)ヨコナダ(左上部)ハタケ(刷毛)ナダ 内面(1)ヨコナダ(体)タタキナダ(右)ヨコナダ 底盤は外側に立上る。腰部は内側に立上る。 内面(1)は外側又は直立する。	に赤い黄青 10YR6/4	に赤い黄青 10YR6/3	オーリエ灰 2SGY3/3	外側に赤色 料付着する
14	104	ST1	2	出生土器	高环	底盤	-	35	内面(1)ヨコナダ(ハバ)外縁(側面)ヨコナダ 左上部がハバ。内面(1)はタナヘヨナダ 腹部は外側に立上る。腰部は内側に立上る。 内面(1)は外側又は直立する。	に赤い桜 7SYR6/4	灰 7SYR5/2	黄灰 2SY5/1	に赤い桜
14	105	ST1	4	出生土器	高环	脚部	-	23	内面(1)ヨコナダ(刷毛)ヨコナダ 外縁(脚)ナダのち ミガキナダ(ヨコゴケ) 腹部は内側気泡に広がる。腰部は中間の門だん を成す。上方にやや押す。脚部上端。	に赤い黄青 10YR6/4	桜 7SYR6/6	黄灰 2SY4/1	外側に赤色 料付着する
14	106	ST1	2,4	出生土器	高环	脚部	-	24	内面(1)ヨコナダ(刷毛)外縁(脚)ヨコナダ 腹部は内側に立上る。腰部は上端に (新規)三角窓を成す。腰部は内側に立上る。	に赤い桜 7SYR6/4	桜 5YR6/6	黄灰 2SY5/1	に赤い桜
14	107	ST1	2	出生土器	高环	脚部	-	18	内面(1)ハバ 外縁(ハバ)ヨコナダ 腹部は(八)字に大きく開く。腰部は外側す る面を成す。円窓の透け出し窓空きなる。	桜 5YR6/6	桜 5YR6/6	黄灰 2SY4/1	に赤い桜
14	108	ST1	2	出生土器	高环	脚部	-	79	内面(1)ナダ、脚注記は段段が目立る。外縁 はヨコナダ。腰部は内側に立上る。腰部は極 く狭く、腰部は内側に立上る。腰部は極く 狭く、腰部は内側に立上る。腰部は極く 狭く、腰部は内側に立上る。	桜 5YR6/6	に赤い桜 5YR6/6	に赤い桜 7SYR6/4	に赤い桜
14	109	ST1	1	出生土器	高环	脚柱部	-	50	内面(1)ハバ 外縁(脚)タタキナダ 脚柱部は空でやや大きい。底座(?)	桜 5YR6/6	桜 5YR6/6	黄灰 2SY4/1	に赤い桜
14	110	ST1	4	出生土器	蓋	底部	-	21	内面(1)ハバ 外縁(脚)ヨコナダ(左右) 外縁タ ハナヘヨナダ 腹部は内側に立上る。腰部はやや内側 に立上る。腰部は内側に立上る。腰部は内側 に立上る。腰部は内側に立上る。	桜 5YR6/6	桜 5YR6/6	黄灰 2SY4/1	に赤い桜
15	111	ST1	4	出生土器	支脚	全長	70	24	内面 1.0 2.4 3.4 4.0 5.0 6.0 7.0 8.0 9.0 10.0 11.0 12.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.0 18.0 19.0 20.0 21.0 22.0 23.0 24.0 25.0 26.0 27.0 28.0 29.0 30.0 31.0 32.0 33.0 34.0 35.0 36.0 37.0 38.0 39.0 40.0 41.0 42.0 43.0 44.0 45.0 46.0 47.0 48.0 49.0 50.0 51.0 52.0 53.0 54.0 55.0 56.0 57.0 58.0 59.0 60.0 61.0 62.0 63.0 64.0 65.0 66.0 67.0 68.0 69.0 70.0 71.0 72.0 73.0 74.0 75.0 76.0 77.0 78.0 79.0 80.0 81.0 82.0 83.0 84.0 85.0 86.0 87.0 88.0 89.0 90.0 91.0 92.0 93.0 94.0 95.0 96.0 97.0 98.0 99.0 100.0 101.0 102.0 103.0 104.0 105.0 106.0 107.0 108.0 109.0 110.0 111.0 112.0 113.0 114.0 115.0 116.0 117.0 118.0 119.0 120.0 121.0 122.0 123.0 124.0 125.0 126.0 127.0 128.0 129.0 130.0 131.0 132.0 133.0 134.0 135.0 136.0 137.0 138.0 139.0 140.0 141.0 142.0 143.0 144.0 145.0 146.0 147.0 148.0 149.0 150.0 151.0 152.0 153.0 154.0 155.0 156.0 157.0 158.0 159.0 160.0 161.0 162.0 163.0 164.0 165.0 166.0 167.0 168.0 169.0 170.0 171.0 172.0 173.0 174.0 175.0 176.0 177.0 178.0 179.0 180.0 181.0 182.0 183.0 184.0 185.0 186.0 187.0 188.0 189.0 190.0 191.0 192.0 193.0 194.0 195.0 196.0 197.0 198.0 199.0 200.0 201.0 202.0 203.0 204.0 205.0 206.0 207.0 208.0 209.0 210.0 211.0 212.0 213.0 214.0 215.0 216.0 217.0 218.0 219.0 220.0 221.0 222.0 223.0 224.0 225.0 226.0 227.0 228.0 229.0 229.0 230.0 231.0 232.0 233.0 234.0 235.0 236.0 237.0 238.0 239.0 240.0 241.0 242.0 243.0 244.0 245.0 246.0 247.0 248.0 249.0 250.0 251.0 252.0 253.0 254.0 255.0 256.0 257.0 258.0 259.0 260.0 261.0 262.0 263.0 264.0 265.0 266.0 267.0 268.0 269.0 270.0 271.0 272.0 273.0 274.0 275.0 276.0 277.0 278.0 279.0 280.0 281.0 282.0 283.0 284.0 285.0 286.0 287.0 288.0 289.0 290.0 291.0 292.0 293.0 294.0 295.0 296.0 297.0 298.0 299.0 300.0 301.0 302.0 303.0 304.0 305.0 306.0 307.0 308.0 309.0 310.0 311.0 312.0 313.0 314.0 315.0 316.0 317.0 318.0 319.0 320.0 321.0 322.0 323.0 324.0 325.0 326.0 327.0 328.0 329.0 330.0 331.0 332.0 333.0 334.0 335.0 336.0 337.0 338.0 339.0 340.0 341.0 342.0 343.0 344.0 345.0 346.0 347.0 348.0 349.0 350.0 351.0 352.0 353.0 354.0 355.0 356.0 357.0 358.0 359.0 360.0 361.0 362.0 363.0 364.0 365.0 366.0 367.0 368.0 369.0 370.0 371.0 372.0 373.0 374.0 375.0 376.0 377.0 378.0 379.0 380.0 381.0 382.0 383.0 384.0 385.0 386.0 387.0 388.0 389.0 390.0 391.0 392.0 393.0 394.0 395.0 396.0 397.0 398.0 399.0 400.0 401.0 402.0 403.0 404.0 405.0 406.0 407.0 408.0 409.0 410.0 411.0 412.0 413.0 414.0 415.0 416.0 417.0 418.0 419.0 420.0 421.0 422.0 423.0 424.0 425.0 426.0 427.0 428.0 429.0 430.0 431.0 432.0 433.0 434.0 435.0 436.0 437.0 438.0 439.0 440.0 441.0 442.0 443.0 444.0 445.0 446.0 447.0 448.0 449.0 450.0 451.0 452.0 453.0 454.0 455.0 456.0 457.0 458.0 459.0 460.0 461.0 462.0 463.0 464.0 465.0 466.0 467.0 468.0 469.0 470.0 471.0 472.0 473.0 474.0 475.0 476.0 477.0 478.0 479.0 480.0 481.0 482.0 483.0 484.0 485.0 486.0 487.0 488.0 489.0 490.0 491.0 492.0 493.0 494.0 495.0 496.0 497.0 498.0 499.0 500.0 501.0 502.0 503.0 504.0 505.0 506.0 507.0 508.0 509.0 510.0 511.0 512.0 513.0 514.0 515.0 516.0 517.0 518.0 519.0 520.0 521.0 522.0 523.0 524.0 525.0 526.0 527.0 528.0 529.0 529.0 530.0 531.0 532.0 533.0 534.0 535.0 536.0 537.0 538.0 539.0 539.0 540.0 541.0 542.0 543.0 544.0 545.0 546.0 547.0 548.0 549.0 550.0 551.0 552.0 553.0 554.0 555.0 556.0 557.0 558.0 559.0 559.0 560.0 561.0 562.0 563.0 564.0 565.0 566.0 567.0 568.0 569.0 569.0 570.0 571.0 572.0 573.0 574.0 575.0 576.0 577.0 578.0 579.0 579.0 580.0 581.0 582.0 583.0 584.0 585.0 586.0 587.0 588.0 589.0 589.0 590.0 591.0 592.0 593.0 594.0 595.0 596.0 597.0 598.0 599.0 599.0 600.0 601.0 602.0 603.0 604.0 605.0 606.0 607.0 608.0 609.0 609.0 610.0 611.0 612.0 613.0 614.0 615.0 616.0 617.0 618.0 619.0 619.0 620.0 621.0 622.0 623.0 624.0 625.0 626.0 627.0 628.0 629.0 629.0 630.0 631.0 632.0 633.0 634.0 635.0 636.0 637.0 638.0 639.0 639.0 640.0 641.0 642.0 643.0 644.0 645.0 646.0 647.0 648.0 649.0 649.0 650.0 651.0 652.0 653.0 654.0 655.0 656.0 657.0 658.0 659.0 659.0 660.0 661.0 662.0 663.0 664.0 665.0 666.0 667.0 668.0 669.0 669.0 670.0 671.0 672.0 673.0 674.0 675.0 676.0 677.0 678.0 679.0 679.0 680.0 681.0 682.0 683.0 684.0 685.0 686.0 687.0 688.0 689.0 689.0 690.0 691.0 692.0 693.0 694.0 695.0 696.0 697.0 698.0 699.0 699.0 700.0 701.0 702.0 703.0 704.0 705.0 706.0 707.0 708.0 709.0 709.0 710.0 711.0 712.0 713.0 714.0 715.0 716.0 717.0 718.0 719.0 720.0 721.0 722.0 723.0 724.0 725.0 726.0 727.0 728.0 729.0 729.0 730.0 731.0 732.0 733.0 734.0 735.0 736.0 737.0 738.0 739.0 739.0 740.0 741.0 742.0 743.0 744.0 745.0 746.0 747.0 748.0 749.0 749.0 750.0 751.0 752.0 753.0 754.0 755.0 756.0 757.0 758.0 759.0 759.0 760.0 761.0 762.0 763.0 764.0 765.0 766.0 767.0 768.0 769.0 769.0 770.0 771.0 772.0 773.0 774.0 775.0 776.0 777.0 778.0 779.0 779.0 780.0 781.0 782.0 783.0 784.0 785.0 786.0 787.0 788.0 789.0 789.0 790.0 791.0 792.0 793.0 794.0 795.0 796.0 797.0 798.0 799.0 799.0 800.0 801.0 802.0 803.0 804.0 805.0 806.0 807.0 808.0 809.0 809.0 810.0 811.0 812.0 813.0 814.0 815.0 816.0 817.0 818.0 819.0 819.0 820.0 821.0 822.0 823.0 824.0 825.0 826.0 827.0 828.0 829.0 829.0 830.0 831.0 832.0 833.0 834.0 835.0 836.0 837.0 838.0 839.0 839.0 840.0 841.0 842.0 843.0 844.0 845.0 846.0 847.0 848.0 849.0 849.0 850.0 851.0 852.0 853.0 854.0 855.0 856.0 857.0 858.0 859.0 859.0 860.0 861.0 862.0 863.0 864.0 865.0 866.0 867.0 868.0 869.0 869.0 870.0 871.0 872.0 873.0 874.0 875.0 876.0 877.0 878.0 879.0 879.0 880.0 881.0 882.0 883.0 884.0 885.0 886.0 887.0 888.0 889.0 889.0 890.0 891.0 892.0 893.0 894.0 895.0 896.0 897.0 898.0 899.0 899.0 900.0 901.0 902.0 903.0 904.0 905.0 906.0 907.0 908.0 909.0 909.0 910.0 911.0 912.0 913.0 914.0 915.0 916.0 917.0 918.0 919.0 919.0 920.0 921.0 922.0 923.0 924.0 925.0 926.0 927.0 928.0 929.0 929.0 930.0 931.0 932.0 933.0 934.0 935.0 936.0 937.0 938.0 939.0 939.0 940.0 941.0 942.0 943.0 944.0 945.0 946.0 947.0 948.0 949.0 949.0 950.0 951.0 952.0 953.0 954.0 955.0 956.0 957.0 958.0 959.0 959.0 960.0 961.0 962.0 963.0 964.0 965.0 966.0 967.0 968.0 969.0 969.0 970.0 971.0 972.0 973.0 974.0 975.0 976.0 977.0 978.0 979.0 979.0 980.0 981.0 982.0 983.0 984.0 985.0 986.0 987.0 988.0 989.0 989.0 990.0 991.0 992.0 993.0 994.0 995.0 996.0 997.0 998.0 999.0 1000.0 1001.0 1002.0 1003.0 1004.0 1005.0 1006.0 1007.0 1008.0 1009.0 1009.0 1010.0 1011.0 1012.0 1013.0 1014.0 1015.0 1016.0 1017.0 1018.0 1019.0 1019.0 1020.0 1021.0 1022.0 1023.0 1024.0 1025.0 1026.0 1027.0 1028.0 1029.0 1029.0 1030.0 1031.0 1032.0 1033.0 1034.0 1035.0 1036.0 1037.0 1038.0 1039.0 1039.0 1040.0 1041.0 1042.0 1043.0 1044.0 1045.0 1046.0 1047.0 1048.0 1049.0 1049.0 1050.0 1051.0 1052.0 1053.0 1054.0 1055.0 1056.0 1057.0 1058.0 1059.0 1059.0 1060.0 1061.0 1062.0 1063.0 1064.0 1065.0 1066.0 1067.0 1068.0 1069.0 1069.0 1070.0 1071.0 1072.0 1073.0 1074.0 1075.0 1076.0 1077.0 1078.0 1079.0 1079.0 1080.0 1081.0 1082.0 1083.0 1084.0 1085.0 1086.0 1087.0 1088.0 1089.0 1089.0 1090.0 1091.0 1092.0 1093.0 1094.0 1095.0 1096.0 1097.0 1098.0 1098.0 1099.0 1099.0 1100.0 1101.0 1102.0 1103.0 1104.0 1105.0 1106.0 1107.0 1108.0 1109.0 1109.0 1110.0 1111.0 1112.0 1113.0 1114.0 1115.0 1116.0 1117.0 1118.0 1119.0 1119.0 1120.0 1121.0 1122.0 1123.0 1124.0 1125.0 1126.0 1127.0 1128.0 1129.0 1129.0 1130.0 1131.0 1132.0 1133.0 1134.0 1135.0 1136.0 1137.0 1138.0 1139.0 1139.0 1140.0 1141.0 1142.0 1143.0 1144.0 1145.0 1146.0 1147.0 1148.0 1149.0 1149.0 1150.0 1151.0 1152.0 1153.0 1154.0 1155.0 1156.0 1157.0 1158.0 1159.0 1159.0 1160.0 1161.0 1162.0 1163.0 1164.0 1165.0 1166.0 1167.0 1168.0 1169.0 1169.0 1170.0 1171.0 1172.0 1173.0 1174.0 1175.0 1176.0 1177.0 1178.0 1179.0 1179.0 1180.0 1181.0 1182.0 1183.0 1184.0 1185.0 1186.0 1187.0 1188.0 1189.0 1189.0 1190.0 1191.0 1192.0 1193.0 1194.0 1195.0				

表12 林田地区遺物觀察表7

Fig No.	建物 名	出土地点 地図 番号	剖面	部品	部品 名	部品 寸法	部品 形状	特徴			色調			備考	
								内面	外面	地主	内面	外面	地主		
17	121	ST 2	出生土器	便	便	-	25	-	32	内面(裏)ナデ 外面(裏)タキのちハケ 底部は低い平底で、内面を出す。	黒灰 10YR4/1	黒灰 10YR4/1	に高い 7SYR5/3		
17	122	ST 2	1	出生土器	便	便	-	87	-	32	内面(裏)ノダゲ 外面(裏)タキのちハケ 底部は低い平底で、内面を出す。	に高い 7SYR6/4	に高い 10YR8/5	灰 SY4/1	庄内系?
17	123	ST 2	出生土器	便	便	11様	230	55	-	内面(裏)ハケのちハラギ 内面(裏)細ハケ のちヨナダ 口縁は反して上方に立ち上がる。口唇は上方 に断続・三角形の唇子と斜柱で構成する。下方 は直線で、腹は外側に傾いて円錐形である。 腹面には横筋及び、台唇に有る鉛鉢を表さ れる。足跡なし。	に高い 7SYR6/3	に高い 7SYR6/4	灰黄2SY6/2	外縁にシリテ ブ?	
17	124	ST 2	出生土器	便	便	11様	188	49	-	内面(裏)ヨコヨダ(1)ハラギのちヨナダ 外面(裏)ヨナダ(1)ハラギのちヨナダ 口縁は反して斜め上に立ち上がる。口唇は直 立と断続で構成され、外側に心把頭を 有する。腹は直線で、口唇に有る鉛鉢を表 れる。足跡なし。	に高い 5YR6/4	に高い 10YR7/4	灰黄 2SY4/1		
17	125	ST 2	出生土器	便	便	脚部	-	246	277	-	内面(裏)脚部(横合部)、脚部(ナタ)脚部(ヘ ナダ)、爪痕、外面(裏)タキのちハケ 底部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	浅青灰 10YR8/3	に高い 10YR7/3	灰灰 10YR5/1	赤褐色土塗 否?
17	126	ST 2	出生土器	脚	脚	-	110	62	-	内面(裏)直角のハラギ(腰状?)、外面(裏) ハラギ(ハラギ)、内面(裏)直角のハラギ(腰 状?)、外面(裏)直角のハラギ(腰状?)、足跡 底部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	相 2SYR6/8	相 7SYR7/6	青 2SY5/3	底面に保付看 板?	
17	127	ST 2	1	出生土器	脚	脚	-	24	-	内面(裏)直角のハラギ(腰状?)、外面(裏) ハラギ(ハラギ)、内面(裏)直角のハラギ(腰 状?)、外面(裏)直角のハラギ(腰状?)、足跡 底部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	に高い 10YR3/5	相 5YR6/6	暗灰 2SY5/2		
17	128	ST 2	出生土器	台付脚	脚	124	69	-	内面(1)ヨコヨダ(1)ハラギのちヨナダ(2) 外面(1)ヨナダ(1)ハラギのちヨナダ(2) 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	に高い 10YR6/4	相 7SYR6/6	相 7SYR6/6	外縁に黒斑		
17	129	ST 2	頸壺	环	口縁	-	18	-	-	口縁は直線の外方に立ち上がり、脚部は直 線外反する。口唇は丸く修飾する。	灰白 2SY6/1	灰白 2SY7/1	灰白 2SY7/1		
20	130	ST 3	1	出生土器	便	脚部	-	142	250	-	内面(1)ハラギのチナナ 外面(裏)タキのち ナナ 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	に高い 10YR7/4	に高い 10YR4/4	灰灰 10YR5/1	側面外縁に黒 斑
20	131	ST 3	1	出生土器	脚	口付脚	184	96	-	内面(1)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 外面(裏)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	相 5YR6/6	に高い 5YR5/4	灰 SY4/1	外縫側部に黒 斑 172aと同一 個体	
20	132	ST 3	1	出生土器	脚	脚	-	59	-	内面(裏)ハラギ 底部は粘り直後の重心から突出した手延やか な凸面を成す。腹部は内側で外方に立ち立 ぐ。	に高い 7SYR6/4	に高い 10YR6/4	灰灰 2SY5/1	172aと同一 個体	
21	133	ST 4	出生土器	便	便	-	115	159	115	内面(1)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 外面(裏)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	に高い 7SYR6/4	に高い 7SYR6/6	相 5YR5/4	に高い 10YR6/4	
21	134	ST 4	出生土器	便	口面部	150	50	-	内面(1)左上がりハラギのチナナ 外面(裏)左上がりハラギのチナナ 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	に高い 5YR6/4	に高い 7SYR6/4	相 5YR5/1	外縫側面に黒 斑		
21	135	ST 4	3	出生土器	便	11頭脚部	157	68	-	内面(1)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 外面(裏)ヨコヨダ(1)ハラギのチナナ 脚部は直線で、腹は外側に心把頭を有する。 足跡なし。	明褐色 5YR5/6	明褐色 5YR5/6	灰 SY5/1		
21	136	ST 4	1/2	出生土器	便	11頭脚	175	74	-	内面(1)ヨコヨダ(1)直角(1)脚(2)脚(3)脚(4) 外面(裏)ヨコヨダ(1)直角(1)脚(2)脚(3)脚(4) 脚部は直角で、腹は直線で外方に立ち立 ぐ。口唇は外側する腹を成し外側に心把 頭を有する。	に高い 7SYR6/4	に高い 7SYR6/4	灰 SY5/1		
21	137	ST 4	1	出生土器	便	11頭脚	170	87	-	内面(1)ヨコヨダ(1)脚(2)脚(3)脚(4) 外面(裏)ヨコヨダ(1)脚(2)脚(3)脚(4) 脚部は直角で、腹は直線で外方に立ち立 ぐ。口唇は外側する腹を成し外側に心把 頭を有する。	に高い 10YR6/6	に高い 7SYR6/4	灰 10YR4/1	外縫側面の一 部に葉付看 板	
21	138	ST 4	出生土器	便	脚部	-	233	181	-	内面(1)ヨコヨダ(1)脚(2)脚(3)脚(4) 外面(裏)ヨコヨダ(1)ヨコヨダ(1)ヨコヨダ(1) に直る。(脚上にヨコヨダ(1)ヨコヨダ(1)ヨコ ヨダ(1)ヨコヨダ(1)ヨコヨダ(1)ヨコヨダ(1)) 脚部は直角で、腹は直線で外方に立ち立 ぐ。口唇は外側する腹を成し外側に心把 頭を有する。	に高い 10YR3/3	に高い 10YR7/3	灰灰 2SY4/1	側面脚部看 板	

表13 林田地区遺物観察表8

遺物 No.	出土点 地名	器種	形態	部位	法量 (cm)			特徴	色調			備考	
					口径	高さ	側径		内面	外面	底土		
21	139	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	23	-	11	灰	灰	
									内面(底)ハラナダ 外面(側下)ハケ 底部は突出した長い平底。側部は内側向外斜上方に立ち上がる。祭祀壺(ミニチュア上部)?	灰	灰	灰	
21	140	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	37	-	22	灰	灰	
									底部は長い平らな弧を成す。側部は直線的に外上方へ立ち上がる。	灰	灰	灰	
21	141	ST 4	1	佛生土器	甕	底部	-	31	-	40	灰	灰	
									内面丁字なぎ 外面斜ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は直線的に外上方に立ち並び、跡跡が有る。跡跡の可能性?	灰	灰	灰	
21	142	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	36	-	46	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は直線的に外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
21	143	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	9.5	-	36	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ ハラナダ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は直線的に外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
21	144	ST 4	1	佛生土器	甕	底部	-	9.5	-	34	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	145	ST 4	1	佛生土器	甕	底部	-	6.8	-	43	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	146	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	7.0	-	22	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	147	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	7.9	-	22	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	148	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	11.1	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	149	ST 4	2.3	佛生土器	甕	侧部	-	9.2	11.4	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	150	ST 4	2	佛生土器	甕	口縁部	17.8	11.2	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	151	ST 4	2	佛生土器	甕	口縁	17.6	5.7	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	152	ST 4	2.3	佛生土器	甕	口縁	18.6	2.9	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	153	ST 4	2.3	佛生土器	甕	口縁	18.4	5.2	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	154	ST 4	2	佛生土器	甕	縁部	-	6.2	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
22	155	ST 4	2	佛生土器	甕	口縁	-	3.0	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	156	ST 4	3	佛生土器	甕	侧底部	-	19.5	22	57	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	157	ST 4	1	佛生土器	甕	縁部	-	22	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	158	ST 4	2	佛生土器	甕	侧底部	-	40	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	159	ST 4	3	佛生土器	甕	底部	-	39	-	32	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	160	ST 4	2	佛生土器	甕	底部	-	35	-	37	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	161	ST 4	3	佛生土器	甕	口縁	20.5	4.2	-	62	灰	灰	
									内面(底)指顎ナギ 外面(側下)ハケ 底部は長い平らな弧を成す。側部は内側向外上方に立ち並ぶ。	灰	灰	灰	
23	162	ST 4	2	佛生土器	甕	縁部	-	14.1	7.8	-	27	灰	灰

表14 林田地区遺物観察表9

番号	遺物 No.	出土点 遺跡地名	形種	形態	部位	法長 (cm) 高さ 幅員 側径 厚径	等 級	色調			備考				
								内面	外面	軸上					
23	163	ST 4	共生土器	鉢	-	120	65	-	29	内面左上がり縦條状ハガ 外面(リダ)のちハガ 底部は使い平らな面を成す。口縁は内縁欠損で 外方に立ち上がる。13唇は丸く侈る(一部は 削除)。内縁は内縁欠損で外方に立ち上がる。	に赤い黄褐色 10YR5/4	黒褐色 10YR4/1	に赤い黄褐色 10YR5/3	内面底盤に炭 化物 外面底盤に黑 斑	
23	164	ST 4	2	共生土器	鉢	口縁部	139	48	-	内面(1)ヨコハ(体)ハガ(ハガ)のちナギ、崩文のタケ ハラミ(?)キ? 外面(1)タケ(体)ハガ(体)タケ のちハガ、タケ(ミミガ)ハガ(?) 体部は内縁欠損で外方に立ち上がる。口縁下で幅 狭く侈る。内縁は内縁欠損で外方に立ち上がる。 口縁は修理する跡を成す。底盤は 内面(1)ヨコハ(体)ヨリハナナ(体)ハガ(ナギ) 中筋で は右上部よりナギナガが付く。口縁下で幅狭く 侈る。内縁は内縁欠損で外方に立ち上がる。13 唇は外縁修理する跡を成す。縫合付跡。	に赤い黄褐色 7SYR6/4	に赤い橙 7SYR6/4	に赤い黄褐色 10YR7/4		
23	165	ST 4	2	共生土器	鉢	口縁部	150	76	-	内面(1)ヨコハ(体)ヨリハナナ(体)ハガ(ナギ) 中筋で (体)タケ(ミミガ)ハガ(?) 内縁(1)ヨコハ(体)ヨリハナナ(体)ハガ(ナギ) 外面(1)ヨテハガ 底部は底筋状のやや突起した面を成す。底盤から口 縁は内縁欠損で外方に立ち上がる。13唇は外縁 修理する跡を成す。内縁は内縁欠損で外方に 立ち上がる。底盤は外縁修理する跡を成す。	に赤い黄褐色 10YR6/4	に赤い黄褐色 10YR6/4	暗赤褐 2SY5/2		
23	166	ST 4	3	共生土器	鉢	-	96	38	-	内面ヨコハ(底)縦條状? 外面ナギ(底)凸凹面 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤から口 縁は内縁欠損で外方に立ち上がる。13唇は外縁 修理する跡を成す。内縁は内縁欠損で外方に 立ち上がる。底盤は外縁修理する跡を成す。	灰褐色 10YR6/2	黒褐色 10YR4/1	に赤い褐 7SYR5/4	内面に縫合 着	
23	167	ST 4	2	共生土器	鉢	底部	-	28	-	内面(1)ヨコハ(底)ハガ(?) 外面(1)ヨコハ(底)ハガ(?) 内縁(1)ヨコハ(底)ハガ(?) 外縁(1)ヨコハ(底)ハガ(?) 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤は内 縁欠損で外方に立ち上がる。蓋	に赤い黄褐色 7SYR6/4	に赤い褐 7SYR5/3	褐 SYR6/6		
23	168	ST 4	2	共生土器	鉢	底部	-	28	-	内面(底)ハガ(?) 外面(底)ハガ(?) 内縁(底)ハガ(?) 外縁(底)ハガ(?) 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤は内 縁欠損で外方に立ち上がる。蓋	に赤い黄褐色 10YR6/4	に赤い黄褐色 10YR6/4	灰 10YR4/1		
23	169	ST 4	2	共生土器	鉢	底部	-	21	-	内面(底)ハガ(?) 外面(底)ハガ(?) 内縁(底)ハガ(?) 外縁(底)ハガ(?) 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤は内 縁欠損で外方に立ち上がる。蓋	に赤い褐 5YR6/4	に赤い褐 5YR6/4	オリーブ褐 10Y3/1		
23	170	ST 4		共生土器	鉢	底部	-	43	-	内面(底)ハガ(?) 外面(底)ハガ(?) 内縁(底)ハガ(?) 外縁(底)ハガ(?) 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤は内 縁欠損で外方に立ち上がる。蓋	に赤い褐 7SYR7/4	褐 7SYR6/6	灰 7SY4/1		
23	171	ST 4	1	共生土器	鉢	底部	-	28	-	内面(底)ハガ(?) 外面(底)ハガ(?) 内縁(底)ハガ(?) 外縁(底)ハガ(?) 底盤は底筋状のやや突起した面を成す。底盤は内 縁欠損で外方に立ち上がる。蓋	褐 2SYR6/6	褐 2SYR6/6	に赤い黄褐色 10YR6/4	内面に縫合 着	
23	172	ST 4	3	土鍛器	窓坏	脚部	-	40	-	内面(脚)ナギ、絞り口 外面(脚)タケヘミガキ 脚部は内縁修理による痕跡がある。脚部は中空。脚 は外反して、八の字状に開く。脚部は内縁修理によ る。内面(脚)窓坏(窓)ナギ(脚)ハニガキ 外面(脚)タ ケヘミガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ	に赤い黄褐色 10YR7/4	に赤い黄褐色 10YR7/4	灰 7SY5/1		
23	173	ST 4		土鍛器	窓台	脚部	-	26	-	内面(脚)窓坏(窓)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 脚は八の字状で大きく開く。総約1mの円孔 を底盤に穿つ。焼結部は	に赤い褐 7SYR6/4	に赤い褐 7SYR6/4	黒褐 2SY5/1		
23	174	ST 4		高文土器	浅鉢	底部	-	17	-	内面(脚)窓坏(窓)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 脚部は底盤で底盤を成す。内縁は内縁欠損で外 方に立ち上がる。蓋	に赤い黄褐色 10YR4/3	に赤い黄褐色 10YR5/4	底盤 10YR4/2		
23	175	ST 4	3	共生土器	続縫草	-	全長 53	全幅 53	厚さ 09	重量 18.4g	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理による痕跡で内縁を削除する。縫合は研磨 によりかなりかなづかれて削除不能。φ 4 mmの内 面孔は内縁より穿つ。	黒褐色 2SY4/1	に赤い褐 5YR6/4	灰 SY4/1	
23	176	ST 4	3	共生土器	続縫草	-	全長 55	全幅 55	厚さ 06	重量 20.8g	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理による痕跡で内縁を削除する。中間に φ 4 mmの内孔を穿つ。蓋	黒褐色 10YR5/2	褐 7SYR6/6	是オリーブ褐 2SYG3/1	
25	177	ST 5	3	共生土器	裏	-	119	161	128	21	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理はやかで。口縁はやや外反して、外方に 立ち上がる。13唇は外縁修理による痕跡を成す。部分的に は外縁修理のやや修理が見られる。	褐 5YR6/6	に赤い褐 7SYR7/4	に赤い黄褐色 10YR7/4	外縫合部下部 の一部に黒斑
25	178	ST 5	3	共生土器	裏	口縁部	143	77	-	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理はやかで。口縁はやや外反して、外方に 立ち上がる。13唇は外縁修理による痕跡を成す。部分的に は外縁修理のやや修理が見られる。	に赤い黄褐色 10YR6/4	褐 7SYR6/6	明褐 7SYR5/6		
25	179	ST 5	3	共生土器	裏	口縁部	168	57	-	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理はやかで。口縁はやや外反して、外方に 立ち上がる。13唇は外縁修理による痕跡を成す。中間に φ 4 mmの内孔を穿つ。蓋	褐 5YR6/6	に赤い褐 7SYR6/4	黒褐 2SY3/1	内面口縁の一 部に縫合着	
25	180	ST 5	3	共生土器	裏	口縁部	127	29	-	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理による痕跡がやや多い。内縁は内縁欠損で 外方に立ち上がる。13唇は丸く直進的に外 方に立ち上がる。口縁は丸く侈る。蓋	に赤い黄褐色 10YR5/3	に赤い褐 7SYR5/3	に赤い黄褐色 10YR5/3		
25	181	ST 5	3	共生土器	裏	口縁部	112	81	-	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理による痕跡がやや多い。内縁は内縁欠損で 外方に立ち上がる。13唇は丸く直進的に外 方に立ち上がる。口縁は外縁修理による痕跡を成す。中間に φ 4 mmの内孔を穿つ。蓋	明小褐 5YR5/6	褐 5YR6/6	从オリーブ 脚部中段の一 部に縫合着		
25	182	ST 5		土鍛器	裏	口縁部	156	39	-	内面(1)ヨコハ(脚)ナギ(脚)ハニガキ(脚)ハニ ガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ(脚)ハニガキ 内縁修理による痕跡がやや多い。内縁は内縁欠損で 外方に立ち上がる。13唇は丸く直進的に外 方に立ち上がる。口縁は外縁修理による痕跡を成す。中間に φ 4 mmの内孔を穿つ。蓋	に赤い褐 7SYR6/4	に赤い黄褐色 7SYR6/4	古墳時代前期		

表15 林田地区遺物觀察表10

表16 林田地区遺物觀察表11

表17 林田地区遺物観察表12

番号 No.	遺物 No.	出土点 遺構 地 点	器種	形態	部位	法長 (cm) 口縁 背高 側径 底径	特徴	色 調			備考	
								内面	外面	底土		
31	225	SK1	共生土器	鉢	-	102 49 - 25	内面(体)ヨコハマ(底)「螺旋状」ハケ 外面(体)ナガ、押住痕 押し出した平底で付属の鉢を残す。体部は外側に上方へ立ち上る。口唇は部分的に立ちくぼみ、中盤の僅んだら底も残す。	明黄褐色 10YR7/6	明黄褐色 10YR6/6	灰 5Y4/1		
31	226	SK1	共生土器	鉢	-	132 69 -	内面(体)タケミラミガキ 外面(体)ミミガキ風 ハゲナガ(底)ハバナ 底部は粘付底で底丸。体部は内側で上方に立ち上る。口唇は丸味を持ったやや斜めする面を成す。	に近い黄褐色 10YR6/3	明黄褐色 10YR6/6	黄褐色 25Y3/3		
31	227	SK1	共生土器	鉢	-	180 66 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(ナガ)の跡 押住痕、外面(1)ヨコボコテ(体)ナガ 底部は粘付底のある底丸。体部から口縁は内側で上方に立ち上る。口唇は丸味を持ったやや斜めする面を成す。	に近い黄褐色 10YR7/4	橙 7.5YR7/6	灰黃褐色 10YR5/2	外縁帯付に集 中盤	
31	228	SK1	共生土器	鉢	-	220 78 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は粘付底の丸味とやや凹凸感。体部は内側で上方に立ち上る。口唇は外側する面を成す。	橙 25YR6/6	橙 25YR6/6	に近い橙 2.5YR7/4	体部外縁の消 落が激しい	
31	229	SK1	共生土器	鉢	口縁	- 43 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(ナガ)の跡 押住痕 外縁(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は粘付底の丸味とやや凹凸感。体部は内側で上方に立ち上る。口唇を外側する面を成す。	灰褐色 7.5YR4/2	黑褐色 10YR4/1	灰褐色 7.5YR4/2		
31	230	SK1	共生土器	鉢	底部	- 210 109 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は粘付底の丸味とやや凹凸感。口縁は曲線で脚状を成す。底部は丸味を持った外縁する面を成す。	明黄褐色 25YR5/6	橙 25YR6/6	赤 10R5/6		
31	231	SK1	共生土器	鉢	底部	- 56 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。口唇を外側する面を成す。	橙 7.5YR6/6	橙 7.5YR6/6	褐オリーブ 5Y4/2	底部外縁黒斑	
31	232	SK1	共生土器	鉢	底部	- 38 -	内面(底)はやや突出した使い底で織ぐ面を成す。 外縁(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	明黄褐色 5YR5/6	橙 5YR5/6	に近い黄褐色 10YR5/3		
31	233	SK1	共生土器	鉢	底部	- 122 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	に近い黄褐色 10YR7/4	に近い黄褐色 10YR6/4	に近い黄褐色 10YR7/4	外縁帯付中位 に黒斑	
31	234	SK2	土師質土器	环	底部	- 24 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁を成す。体部は外上方に立ち上る。筋部は筋状で丸味を成す。	浅黄褐色 10YR6/3	浅黄褐色 10YR6/3	浅黄褐色 10YR8/3		
31	235	SK2	土師質土器	小皿	底部	- 13 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁を成す。体部は外上方に立ち上る。筋部は筋状で丸味を成す。	に近い橙 8YR7/4	に近い橙 8YR7/3	淡黄 7.5YR8/3		
31	236	SK2	I 瓦質土器	三足鍋	糊	全長 9.8 9.0 21	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁を成す。体部は外上方に立ち上る。筋部は筋状で丸味を成す。	-	灰白 5Y8/2	灰白 5Y7/2		
35	237	SX7	1 陶器	擂鉢	口縁	330 48 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。口縁は扁平後脚付で丸味を成す。外縁は丸味を成す。	明黄褐色 25YR3/4	に近い中褐色 2.5YR3/4	灰白 5Y7/		
35	238	SX7	陶器	鉢	底部	- 47 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	明黄褐色 25YR3/4	に近い中褐色 2.5YR3/4	灰白 5Y7/		
35	239	SX7	土師質土器	环	底部	- 18 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	浅黄 25Y8/2	暗黄 2.5Y5/2	暗黄 2.5Y8/2		
35	240	SX7	1 土師質土器	环	底部	- 22 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	浅黄 25Y8/2	暗黄 2.5Y5/2	暗黄 2.5Y8/2		
35	241	SX8	土師質土器	环	-	120 33 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で下方に立ち上る。	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4		
35	242	SX9	土師質土器	环	底部	- 19 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	浅黄 5YR6/6	浅黄 5YR6/6	灰 5Y8/6		
35	243	SX9	土師質土器	环	底部	- 29 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4		
35	244	SX	土師質土器	环	底部	- 16 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 底部は丸味を持った外縁で上方に立ち上る。	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4	に近い橙 7.5YR7/4		
35	245	SX12		土鉢	-	全長 36 14 -	重量 55g 内面部は半らな面を成す。φ5×4.5cmの構造孔 を有す。	黄灰 25Y5/1	黄灰 2.5Y5/1	黄灰 2.5Y5/1		
35	246	SX13	瓦質土器	網	口縁	- 45 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 内面は外縁気に上方へ立ち上る。	灰 NS/	灰 NS/	灰白 10YR8/1	外縁の一部に 保有者	
35	247	SDN	土師器	甕	口縁	356 51 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 内面は外縁気に上方へ立ち上る。	明黄褐色 10YR7/4	に近い黄褐色 10YR5/3	灰白 5Y7/1		
35	248	SDN	土師器	甕	口縁	346 18.0 -	内面(1)ヨコボコテ(底)「螺旋状」ハケ(底) ナガ、押住痕 内面は外縁気に上方へ立ち上る。口唇は丸味を持った外縁で下方に立ち上る。	灰褐色 10YR5/2	灰褐色 10YR5/2	灰 5Y8/1		

表18 林田地区遺物観察表13

Fig. No.	遺物 No.	出土地點 遺跡	形態	部位	法長 (cm)	高さ (cm)	幅 (cm)	特徴	特徴			色調 内面	色調 外面	色調 軸土	備考		
									内面	外面	軸土						
35	249	SDN	陶器	罐鉢	口縁	298	64	-	内面回転ナデ、一端は口唇を施したのちにナデ、外面回転ナデ。体部は直筒で、口唇は扁圓形で、内方に立ち上がる。口唇は細狭のちには膨らみ、口唇より上方に立ち上がる。軸土を押り落し又是粘付することで外側に肥厚する。底部は内縫縫をなす。口径は4~8毫米の1単位とする。	縦	縦	縦	7.5YR7-6 2.5YR6-6	7.5YR7-6 2.5YR6-6	7.5YR7-6 2.5YR6-6	-	
36	250	SDN	陶器	罐鉢	口縁	195	51	-	内面(1)回転ナデ、外面(1)回転ナデ。外縫縫をなすと上方に立ち上がる口唇は扁圓形で、内方に肥厚し、内縫縫より上方へ倒立する。縫縫は丸く斜め。4~8毫米の1単位。脇部を削除して縫縫で口唇に接する。	灰 N6/	灰白 N7/	灰 5YR5/1	-	-	-	-	
36	251	SDN	白磁	瓶	口縁	158	27	-	内面ナデ、口唇が厚く垂れ下がる。脇部を削除して縫縫で口唇に接する。口唇は丸く斜め。三角形に成して外側に肥厚する。	灰白 7.5YR7-1	灰白 7.5YR7-1	灰白 7.5YR7-1	-	-	-	-	
36	252	SDN	陶器	鉢	底部	-	32	-	内面(底)緑縫、裏面(底)の一部の移行?が付着する。底部は平らで盛り高め。外縫縫をなすと上方に立ち上がる。10mmは底面に三角形に成して外側に肥厚する。	灰オリーブ 5Y4/2	灰赤 2.5YR4/2	黄赤 2.5YR6/1	-	-	-	-	
36	253	SDN	土雞質土器	环	底部	-	1.6	-	底部は平らで盛り高め。体部はやや外反して外上方へ向かう。筋軸部。	浅黄褐 7.5YR6-6	浅黄褐 7.5YR6-4	浅黄褐 7.5YR6-4	-	-	-	-	
36	254	SDN	土雞質土器	环	底部	-	1.8	-	49 内面ナデ、外縫縫をなすと上方に立ち上がる。底部は平らで盛り高め。外縫縫をなすと上方に立ち上がる。筋軸部。ロクロは右側。	縦 7.5YR7-6	縦 7.5YR7-6	縦 7.5YR7-6	-	-	-	-	
36	255	SDN	土雞質土器	环	底部	-	1.9	-	内面ロクロ口、外縫縫(底)の切り痕。底平。底部は内縫縫で外縫縫のちに倒立して外上方に立ち上がる。筋軸部。ロクロは右側。	浅黄褐 10YR6/3	浅黄褐 10YR6/3	浅黄褐 10YR6/3	-	-	-	-	
36	256	SDN	土雞質土器	环	底部	-	2.7	-	内面ロクロ口、外縫縫(底)のちナデ。底平。体部は外縫縫で内縫縫に立上る。縫縫を行ひて内縫縫を後退して抉れる。	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	赤色部が一部に残る	-	-	-	
36	257	SDN	虫食器	环	环底部	-	3.0	-	内面ロクロ口、外縫縫ナデ。底部は平らで盛り高め。内縫縫のうち環底部から脚は後退して下方に向かう。	灰 N5/	灰 N5/	灰 N5/	6世紀後半から7世紀前半	-	-	-	
36	258	SDN	土錐	全縁	全縁	42	20	1.8	重量 12.5kg ナデや細かい網目。底部は平底面を成し6mmの内縫縫をなす。網目は斜め。	-	縦 7.5YR6-6	-	-	-	-	-	-
36	259	SD3	土鍍器	筒	底部	-	1.6	-	52 内面(底)ナデ、外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫の両面を黏付する。体部は内縫縫で外方に立上る。	浅黄褐 7.5YR6-6	浅黄褐 10YR8/6	浅黄褐 10YR8/6	-	-	-	-	
36	260	SD4	土雞質土器	环	底部	-	1.8	-	内面ナデ(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外上方に立上る。	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/2	-	-	-	-	
36	261	SD5	土雞質土器	环	口縁	146	26	-	内面ナデ(底)ナデ。外縫縫ロクロ口。口唇は丸く斜め。白釉。直筒。	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	-	-	-	-	
36	262	SD5	土鍍器	筒	底部	-	1.0	-	68 内面(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫の両面を黏付する。縫縫?	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	-	-	-	-	
36	263	SD5	土雞質土器	环	底部	-	1.1	-	内面ロクロ口(底)外縫縫(底)の切り痕。底平。底部は内縫縫で外縫縫の切り痕。	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	-	-	-	-	
36	264	SD5	土雞質土器	环	底部	-	1.2	-	39 底部は平底でやや内凹。縫縫は丸く斜め。直筒。	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	-	-	-	-	
36	265	SD6	土雞質土器	小皿	底部	-	1.1	-	内面(底)ロクロ口のちナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと突出した平底。	浅黄 2.5YR8/3	浅黄 2.5YR8/3	浅黄 2.5YR8/3	-	-	-	-	
36	266	SD9	土雞質土器	环	底部	-	2.2	-	74 内面ロクロ口(底)外縫縫(底)の切り痕。底平。底部は内縫縫で外縫縫をなすと突出して内縫縫を後退する。体部は外反して外上方に立上る。筋軸部。底部は丸く斜め。直筒。	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	-	-	-	-	
36	267	SD9	土雞質土器	环	口縁	119	32	-	内面(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと上方に立上る。10mmは丸く斜め。直筒。	灰黄 2.5YR7/2	灰黄 2.5YR7/2	灰黄 2.5YR7/2	-	-	-	-	
36	268	SD9	土雞質土器	环	口縁	-	28	-	内面(底)ナデ。内縫縫ナデ。外縫縫ナデ。口唇は丸く斜め。直筒。	灰黄 2.5YR7/2	灰黄 2.5YR7/2	灰白 2.5YR7/1	-	-	-	-	
36	269	SD9	土雞質土器	小环	口縁	68	13	-	内面(底)ロクロ口(底)回転ナデ。外縫縫ロクロ口。内縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと上方に立上る。10mmは丸く斜め。直筒。	灰黄 2.5YR7/4	灰黄 2.5YR7/4	灰黄 2.5YR7/4	-	-	-	-	
36	270	SDW	土雞質土器	环	底部	-	1.6	-	内面(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと上方に立上る。筋軸部。底部は丸く斜め。直筒。	淡黄 2.5YR8/4	淡黄 2.5YR8/4	淡黄 2.5YR8/4	-	-	-	-	
36	271	SDW	土雞質土器	环	底部	-	1.5	-	内面(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと上方に立上る。底部は高台状に丸く斜め。直筒。	淡黄 2.5YR7/4	淡黄 2.5YR7/4	淡黄 2.5YR7/4	-	-	-	-	
36	272	SDW	土雞質土器	环	底部	-	1.1	-	78 内面(底)ナデ。外縫縫(底)の切り痕。底平。筋軸部。ロクロは右側回転?	淡黄 2.5YR8/3	淡黄 2.5YR8/3	淡黄 2.5YR8/3	-	-	-	-	
37	273	P100	土雞質土器	环	-	122	37	-	48 内面(底)ナデ。外縫縫ナデ。底部は内縫縫で外縫縫をなすと上方に立上る。10mmは丸く斜め。直筒。	灰 7.5YR7/6	灰 7.5YR7/6	灰 7.5YR7/6	-	-	-	-	
37	274	P136	土雞質土器	环	口縁	128	35	-	内面ナデ。器表面が薄い。外縫縫ロクロ口のちナデ。器表面が薄い。内縫縫ナデ。底部は丸く斜め。直筒。	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4	-	-	-	-	
37	275	P142	土雞質土器	环	底部	-	12	-	内面ナデ。外縫縫ナデ。底部は丸く斜め。直筒。	灰 N4/	灰 N4/	灰 N4/	-	-	-	-	
37	276	P182	虫食器	制	制	全縁	102	20	内面ナデ。外縫縫ナデ。底部は丸く斜め。直筒。	灰 7.5YR6/3	灰 7.5YR6/3	灰 7.5YR6/3	-	-	-	-	
37	277	P223	土雞質土器	环	-	126	38	-	内面ロクロ口。外縫縫ロクロ口のちナデ。ロクロ口の底は丸く斜め。底部は丸く斜め。直筒。	縦 7.5YR7/6	縦 7.5YR7/6	縦 7.5YR7/6	-	-	-	-	

表19 林田地区遺物観察表14

遺物 No.	出土点 遺構	形種	形態	部位	法量 (cm)			特徴	色調		備考	
					口径	高さ	側径		内面	外面		
37 278 P225	土器	青磁	碗	底部	-	18	-	64	内面青磁釉、斜化紋、外面部青磁釉やや広く平らな底。高台は微削輪台形で傾出している。口部内面は浅く凹上げる。	青オリーブ灰 5GY7/1	青オリーブ灰 5GY7/1	(露胎) 75YR6/3
37 279 P225	土器	土器質土器	环	口縁	11縫	128	26	-	口縁は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。一部は丸く削り取った面がある。胎土粗糙。	75YR7/4	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4
37 280 P226	土器	土器	碗	口縁	224	43	-	44	内面(1)ナメ 外面ナメ、押切。口縁は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。一部は丸く削り取った面がある。胎土粗糙。	75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4	灰 75Y7/1
37 281 P227	土器	土器質土器	环	-	117	44	-	64	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)ロウ目 平底。体部は高台は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	75YR8/4	浅黄褐 75YR8/4	にぶい橙 75YR7/4
37 282 P240	土器	土器質土器	环	-	110	38	-	60	内面(1)ナメ ロウ目(ナメ) ナメ 外面(1)直線的アーチ状の押切。口縁は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4	橙 SYR7/6
37 283 P253	土器	土器質土器	环	底部	-	18	-	73	内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)ロウ目。底盤は直線的に外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。口部は丸く削り取った面がある。	25YR3/3	淡黄 25YR3/3	灰白 25Y7/1
37 284 P258	染付	碗	底部	-	26	-	16	16	外面部鋸目による花枝、崩落、3条縱隔壁と斜筋一枚。高台は直線的で外方に立ち上がる。胎土は白色から暗青灰。	灰白 SB/ SB/	灰白 SB/	灰白 SB/
37 285 P259	土器	土器質土器	小皿	-	61	15	-	60	内面ナメ ロウ目(ナメ)。底盤は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4
37 286 P259	土器	土器質土器	小皿	-	82	17	-	60	内面ナメ 外面直線ナメ 平底。口縁は直線的で外方に立ち上がる。11縫	75YR6/6	にぶい橙 75YR7/4	橙 75YR6/6
37 287 P266	土器	土器質土器	环	11縫	108	33	-	60	内面ナメ 外面(1)ロウ目 口縁は直線的で外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	75YR6/6	にぶい橙 75YR7/4	橙 75YR6/6
37 288 P269	土器	青磁	碗	13縫	158	22	-	60	内面織かし入人、外面織進背紋、入人。口縁は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	25YR6/4	にぶい黄 25YR3/3	灰白 25Y7/1
37 289 P273	土器	白磁	碗	13縫	134	36	-	60	内面(1)明礬、気泡が丸く残る。口縁は直線的で外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	75Y7/1	灰白 75Y7/1	灰白 75Y7/1
37 290 P277	土器	土器質土器	环	底部	-	22	-	64	内面(1)ナメ(ヘリナメ) 外面(1)直線切り瓶。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線切り瓶。胎土は直線的に外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	25Y7/2	にぶい橙 75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4
37 291 P285	乳生土器	甕	底部	-	31	-	58	内面(1)ナメ(ヘリナメ)。外面(1)直線切り瓶。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線切り瓶。胎土は直線的に外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	10YR8/2	灰白 75YR4/2	灰白 75YR4/2	
37 292 P297	土器	土器質土器	环	底部	-	18	-	40	内面(1)ロウ目 外面ナメ。胎土は直線的に外方に立ち上がる。口縁は直線的で外方に立ち上がる。胎土は直線的に外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。	75YR6/6	根 75YR6/6	根 75YR6/6
37 293 P301	土器	土器質土器	环	-	112	42	-	48	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。底盤は直線的に外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。口部は丸く削り取った面がある。ロウ目は右回転。	75YR7/6	根 75YR7/6	根 75YR7/6
37 294 P329	土器	土器質土器	环	11縫	97	27	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線切り瓶。底盤は直線的に外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。口部は丸く削り取った面がある。ロウ目は右回転。	10YR6/4	にぶい黄 10YR6/4	にぶい黄 10YR6/4
37 295 P336	土器	土器質土器	小皿	-	67	13	-	40	内面ナメ 外面(1)直線切り瓶。平底。口縁は直線的で外斜方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4	浅黄褐 10YR8/4
37 296 P349	土器	土器質土器	环	-	112	47	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。底盤は直線的に外方に立ち上がる。口部は丸く膨らむ。口部は丸く削り取った面がある。ロウ目は右回転。	75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4
37 297 P354	土器	土器	碗	底部	-	16	-	62	内面(1)ナメ 外面(1)直線切り瓶。底盤は直線的に断面輪台の窓台に付着する。胎土は直線的に外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	10YR6/2	灰灰 10YR6/2	灰白 75Y7/1
38 298 P370	陶器	陶器	体部	-	53	-	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線切り瓶。胎土は直線的に外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	25YR5/6	明示周 25YR5/6	明示周 25YR5/6
38 299 P370	陶器	陶器	口縁	-	52	-	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。口縁はやや丸く外反して外斜方に立ち上がり、端部は上に削り取る。	25YR5/6	明示周 25YR5/6	明示周 25YR5/6
38 300 P371	陶器	土器質土器	环	11縫	152	31	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線切り瓶。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線切り瓶。胎土は直線的に外方に立ち上がる。11縫は丸く膨らむ。	5YR8/3	浅黄 5YR8/3	浅黄 5YR8/3
38 301 P375	陶器	青磁	碗	底部	-	12	-	28	内面青磁、外表面(1)直線(1)窓台(窓)。窓部は(1)窓(?)7により破り内面を流す。堆積に沈没した時の内部。	25GY6/1	オーラーク灰 25GY6/1	灰白 N7/
38 302 P380	土器	土器質土器	环	11縫	156	34	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線ナメ 外面(1)直線ナメ。下縫はナメナメ。	5YR8/3	浅黄 5YR8/3	浅黄 5YR8/3
38 303 P386	土器	土器	环	底部	-	16	-	70	内面ナメ(底) 亂毛(底) 有り直角底盤は直線的に断面窓台を形成。白色系。	25YR8/1	灰白 25YR8/1	灰白 25YR8/1
38 304 P388	土器	土器質土器	环	底部	-	19	-	40	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線ナメ。内面(1)ロウ目(ナメ)。外面(1)直線ナメ。胎土は直線的に外方に立ち上がる。ロウ目は直線的。	75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4	にぶい橙 75YR7/4
38 305 P389	土器	土器質土器	环	底部	-	26	-	42	内面(1)ロウ目(ナメ) 外面(1)直線ナメ。底盤は直線的で外斜方に立ち上がる。内面(1)直線ナメ(1)直線窓台(窓)。	10YR8/4	にぶい橙 10YR8/4	にぶい橙 10YR8/4
38 306 P398	土器	土器	碗	11縫	182	49	-	40	内面(1)直線ナメ(1)直線窓台(窓)。胎土は直線的に外斜方に立ち上がる。内面(1)直線ナメ(1)直線窓台(窓)。	10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3	浅黄褐 10YR8/3

表20 林田地区遺物觀察表15

番号	造形	出土地点 遺跡名	基盤	器形	部位	寸幅 跡高	量差 跡高	特徴	色・調			備考		
									内面	外周	施土			
38	307	P-208	土師質 土器	环	底部	-	10	S6	内面(底)ロクヨ目 外面(底)アスリ目 底部は平底で、凹凸部を成す。口部は右回転。	浅黄褐 10YR8-4	浅黄褐 10YR8-4	浅黄褐 10YR8-4		
39	308	-	I 開文土器	深鉢	口縁	-	42	-	内面(底)外丸底 内面(底)外丸底に内側に凹凸部が立上がり口縁でやや内側へと押す形となる。底部深鉢。	灰黄褐 10YR5-2	灰黄褐 10YR5-2	黑褐 10YR3-1		
39	309	-	I 土師器	鉢	-	10.3	7.1	-	内面(底)、浅い凹面を有する 外面(底)がややタマゴのちめき 底部は実腹。底部から内側へと立て上がる。 口唇はくびれる形。	にじむ青 10YR6-4	にじむ青 10YR6-4	にじむ青 10YR6-4		
39	310	-	I 土師器	碗	底部	-	23	61	内面(底)平底 底部は平底で内側に凹面や突出し凹面を成す。 底部は全体に削り出された形。	浅黄褐 2.5YR7-4	浅黄褐 2.5YR8-4	浅黄褐 10YR8-4		
39	311	-	I 絹毛器	鉢	底部	-	34	126	内面(底)ハラナギ目(輪状ナギ) 底部は織目からなる平面を呈す。青白はハラの字紋 内側に斜めに縦筋を有する。底辺はやや外側へと押す形となる。	灰白 NT/-	灰白 NT/-	灰白 NT/-	8世紀後半?	
39	312	-	I 絹毛器	碗	口部底	12.8	5.8	-	内面(底)ハラナギ目(輪状ナギ) 底部は織目で内側に斜めに直線的に外方にへ立ち上がる。口唇はくびれる形。	灰白 5Y7/1	灰白 5Y7/1	灰 5Y6/-1	内面に赤色層 粘付着	
39	313	-	I 青磁	碗	底部	-	57	52	内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部	明暦灰 10GY7/1	明暦灰 10GY7/1	明暦灰 10GY7/1	明暦灰 10GY7/1	灰白 5Y8/-1
39	314	-	I 青磁	碗	口縁	12.3	42	-	外周ロクヨ目 底部は内側へと立ち上がり口縁は斜く外張る。 外周上部に立上る。口唇は丸く侈める。青磁 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部	経灰 7.5GY6-1	経灰 7.5GY6-1	経灰 7.5GY6-1	経灰 7.5GY6-1	灰白 5Y8/-1
39	315	-	I 青磁	碗	口縁	16.0	24	-	内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部 内面青磁斑：斑端部に黒褐色の斑端部	灰オリーブ 7.5Y5/2	灰オリーブ 7.5Y5/2	灰白 5Y8/-1		
40	316	ST 1	4	石器	叩石	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。無孔に小瓶				泥質砂岩	
40	317	ST 1	4	石器	叩石	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。無孔に小瓶				砂岩?	
40	318	ST 1	2	石器	磨石?	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。無孔に小瓶					
40	319	ST 1	3	石器	叩石	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。無孔に小瓶				泥質砂岩	
40	320	SDN	石器	砾石	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。表面には規則				泥質砂岩		
40	321	SDN	石器	叩石	全长	全幅	全厚	長軸方向に歪形の傾斜がある。表面には規則				泥質砂岩		
40	322	-	I 石製品	磨石?	全长	全幅	全厚	長軸方向に歪形の傾斜がある。表面には規則				泥質砂岩		
41	333	ST 4 (P)	石器	白石	全长	全幅	全厚	平面円錐形の扁平な石器を用いる。無孔に小瓶				泥質砂岩		

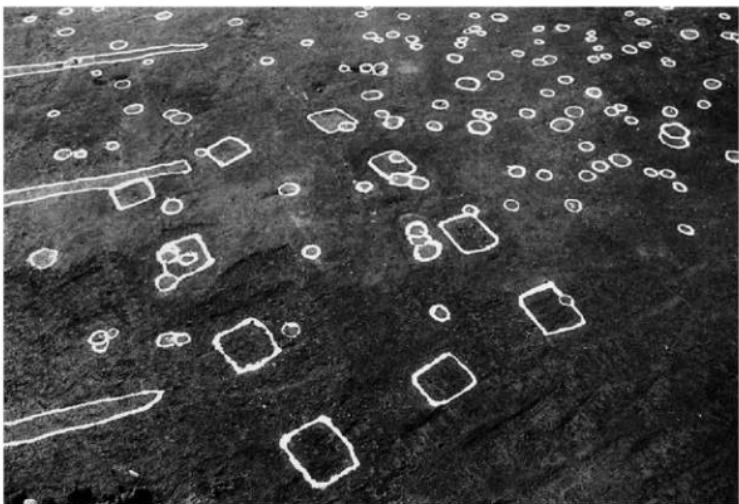
写 真 図 版



調査区東方（西から）



調査区南方（北から）



SB1 検出状態（南東から）



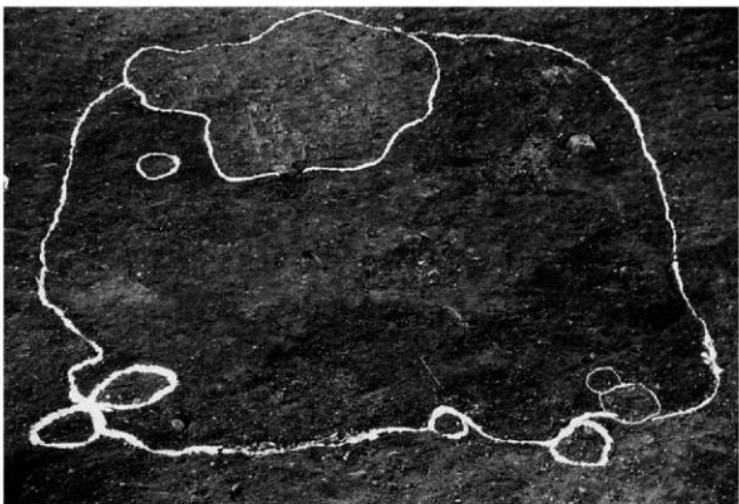
同 完掘状態（東から）



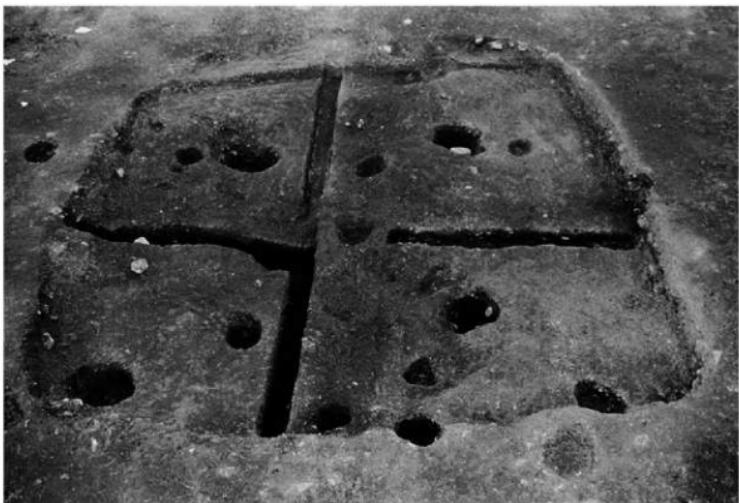
ST 1 検出状態（南から）



同 検出状態（西から）



ST 2 検出状態（東から）



同 完擺状態（東から）



ST3 半截状態（北から）



SB1 P3 半截状態（南から）



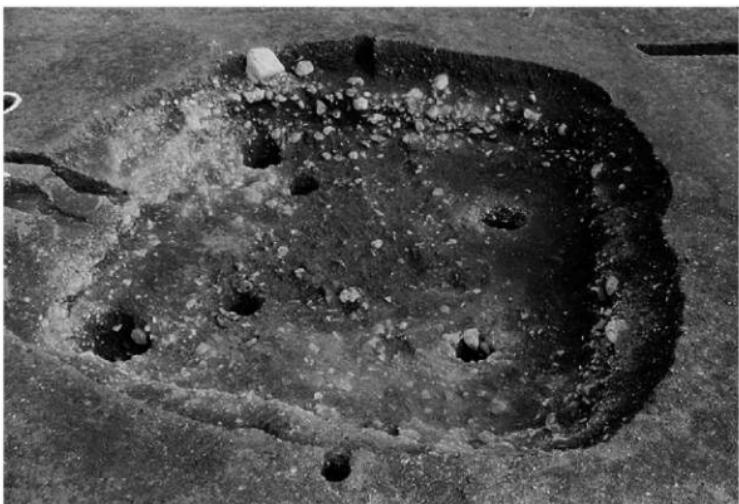
ST 4 半斂状態（東から）



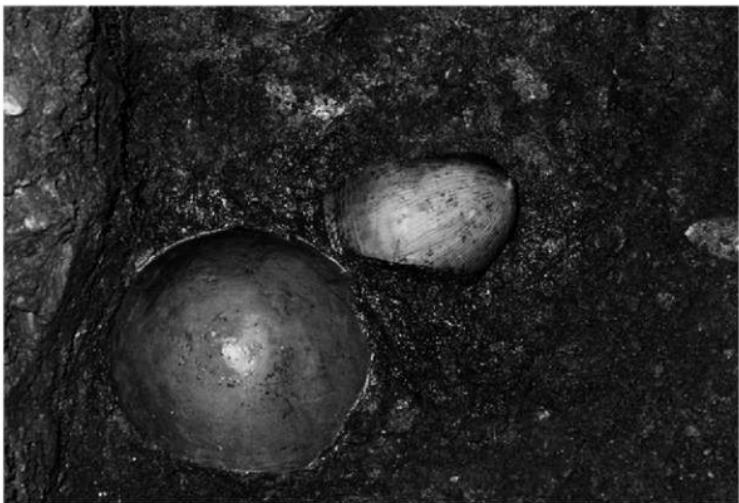
同 完掘状態（東から）



ST 5 半掘状態（南から）



同 完掘状態（西から）



ST 1 遺物出土状態



SK 1 遺物出土状態（東から）



A墓地 検出状態（東から）



同 半截状態（西から）



SD-N 東壁セクション（西から）



手前がSD-N、奥の林が久次土居城跡（南西から）



14



49



53



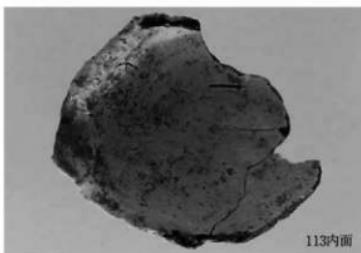
83



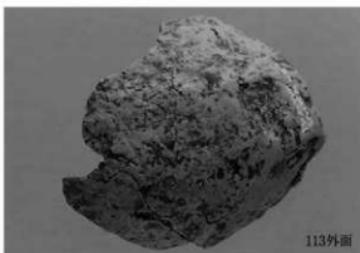
80



88



113 内面



113 外面



128



133



136



138



150



162



163



177



193



200



209



211



212



225

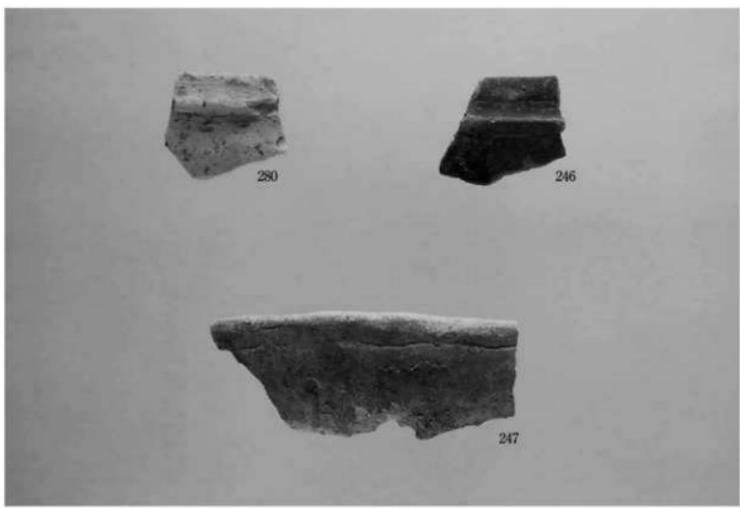
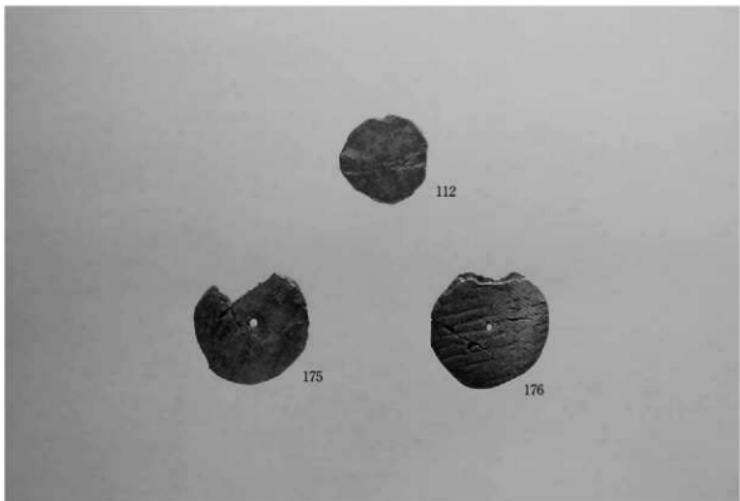


226



227







1993年12月6日

報告書抄録

ふりがな 書名	ひさつぎいせき はやしだちく 久次遺跡 林田地区							
副書名	新改西部地区県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
卷次								
シリーズ名	土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第18集							
編著者名	藤方正治							
編集機関	財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター							
所在地	〒783-0006 高知県南国市篠原1437-1 TEL 088-864-0671							
発行年月日	2004年12月24日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
市町村	遺跡番号	○	×	○	×	○	×	○
ひさつぎいせき 久次遺跡	こうちけん 高知県 かぬくにん 香美郡 こうみぐん 土佐山田町 とさやまだちょう ひさつぎ 久次 はやしだ 林田	39323	190209	33° 36° 45°	133° 40° 2°	1993年 10月1日 1993年 12月11日	4,100	新改西部地区県営圃場整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
久次遺跡	集落	弥生時代後期末 から古墳時代前期初頭、鎌倉時代、室町時代	竪穴住居跡 土坑	弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、陶器、白磁、青磁				

土佐山田町埋蔵文化財発掘調査報告書第18集

久次遺跡 林田地区

新改西部地区県営圃場整備事業に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成16年12月24日

編集・発行 土佐山田町教育委員会

高知県香美郡土佐山田町岩積365-1

TEL 0887-53-3111（代表）

印刷 有限会社西村謄写堂